

国際要素移動が国内の政策的選好に与える影響

51-238036 宮田皓生

目次

1. イントロダクション.....	4
2. 先行研究.....	6
2-1. 国際要素移動の経済面.....	6
2-2. 国際要素移動と規制政策.....	8
2-2-1. 国際資本移動.....	8
2-2-2. 国際労働移動.....	10
2-3. 国際要素移動と貿易政策.....	12
2-4. 国際要素移動とポピュリズム.....	13
2-4-1. ポピュリズム.....	13
2-4-2. 政府への不信.....	16
2-5. 先行研究のまとめ.....	18
3. モデル.....	20
3-1. アイデア.....	20
3-2. モデル.....	21
4. データと仮説.....	25
4-1. データ.....	25
4-2. 仮説.....	26
5. 検証.....	30
5-1. ANES.....	30
5-2. WVS.....	36
5-3. まとめ.....	39
6. 結論.....	41
7. 補遺.....	44
7-1. 変数.....	44
7-1-1. 従属変数.....	44
7-1-2. 説明変数.....	48
7-1-3. その他の説明変数.....	48
7-1-4. 国の分類.....	54
7-2. 調査結果.....	56
7-2-1. モデル 1—ANES.....	56

7-2-2. モデル 2—ANES	63
7-2-3. モデル 3—ANES	65
7-2-4. モデル 4—ANES	67
7-2-5. モデル 1—WVS	69
7-2-6. モデル 2—WVS	72
8. 参考文献.....	75

1. イントロダクション

冷戦後のグローバル化の中で、国際政治経済の研究も目覚ましい発展を遂げた。特に、国際経済と国内政治の関連性には著しい注目が集まってきた。国際経済活動から生じた移民の存在やグローバルな格差の問題は、急進右派政党の拡大やポピュリズムの展開など、21世紀の特徴的な政治展開を説明するにあたって、大きな役割を果たした。こうした中で、後に2章で確認するように、各研究はある政策的選好を説明するにあたって、国際的な生産要素の移動（以下、国際要素移動）を説明変数にとることが多くなった。それらの中には、経済的な利害が政策的選好に反映されるという見方も、またそれ以外の文化・感情といった非経済的な経路によって政策的選好が生じるという見方もあったが、いずれにせよ国際要素移動が政策的選好に影響するという観点を共有していた。

その一方で、説明変数に注目した研究、すなわち特定の政策領域に関する研究は存在していたものの、独立変数に注目した研究、すなわち国際要素移動の持つ影響を体系的に捉える試みは少なかった。その結果、国際要素移動が政策領域を超えて有する共通のメカニズムが見過ごされてきた。また、独立変数として取る要素の種類も限定的であり、その結果国際要素移動同士の相乗効果も見過ごされてきた。研究手法としても、丁寧に国内比較を行う研究では比較的短期間かつ狭い地域の研究にとどまり、グローバル化という長期・世界的な現象を十分捉えきれなかったり、逆に国際比較等で研究する場合に、細かな条件統一などが難しくなったりといった限界を抱えていた。

本研究は、こうした流れの中で、「国際要素移動が人々の政策的選好に与える影響は何か」という問いを探究するものである。本研究は、もっぱら経済的な説明を念頭に置きつつ、独立変数の側に注目して、国際要素移動と政策的選好に関するモデルを構築する。この点で、複数の政策分野に分断されていた諸研究に対し、統一的・体系的な視野を提供する。また、このようなモデルを実証するため、American National Election Studies (ANES) と World Value Survey (WVS) を用いた回帰分析を行う。この点で、グローバル化という長期にわたる変化の全体を捉えつつ、国内での地域的な比較と国際的な比較を両立する。また、これらの回帰分析は政策領域を横断して実施されるが、同時に過去の研究に対し、新たな分析結果から検証を行うものでもある。

本研究は以下のように展開される。まず、第2章で先行研究のレビューを行う。先行研究は、国際要素移動が国内の政策的選好に与える影響というような形でまとまっているわけではなく、政策領域ごとの研究動向に分断されている。そこで、研究レビューとしても、大まかには2-1の経済モデル、2-2の国際要素移動の規制政策、2-3の貿易政策、2-4のポピュリズムに分かれる。うち、2-2については資本移動規制(2-2-1)と移民規制(2-2-2)に、2-4については近年のポピュリズム研究(2-4-1)と伝統的な政府への不信の研究(2-4-2)に分かれる。2-5のまとめで言及されるように、これらの先行研究は特定の領域や事例の研究として優れているものの、体系的な独立変数同士の相互作用、研究手法としての長期性・広

範性に欠ける場合が多く、本研究が解決すべき課題を有していた。

次に、第3章でモデルの構築を行う。3-1では、モデルを構築するにあたり必要となる考え方を述べる。これは、Hiscox(2001)による貿易理論の統一を参考にしつつ、国際要素移動特有の考慮すべき事情を総括する。これを受け、3-2では労働と資本がそれぞれ流入・流出する場合ごとに、それぞれの要素がどのような政策的選好を有するようになるかをまとめる。

第4章では、第3章で扱ったモデルを検証するためのデータと仮説を準備する。4-1では使用したデータの特性を振り返る。特に、ANESは時系列での比較に、WVSは国際比較に適するデータであった。なお、全ての変数について説明すると煩雑になるため、各変数の詳細については補遺の7-1に掲載している。そして、4-2では回帰分析において使用する数式的なモデルを扱う。ここでは、単純な回帰分析と他変数の挿入モデル、Two-way fixed effectsモデル、Fixed effectsモデル、ラグ変数モデルの4つが展開され、それぞれのモデルにおいて係数がどのようなようになるかの仮説を構築する。

第5章では、検証の結果をモデルごとに述べる。ただし、多数の回帰分析の結果表を本文中に掲載すると非常に煩雑であるために、詳細な結果表は補遺7-2に掲載し、第5章ではそれらの結果が仮説と一致する結果になっていたのか、反対の結果だったのか、それとも有意でなかったのかを検証する。5-1、5-2の最後ではそれぞれANES、WVSの回帰分析結果がどの程度仮説と一致していたかを振り返り、5-3では分析結果全体からモデルの適合度を検証する。

第6章では、本論文の結論を述べる。本論文の持つ意義を改めて振り返るとともに、本論文の有する課題についても検証を行う。

2. 先行研究

本章では、国際要素移動が有権者の政策的選好に与える影響を論じた先行研究をまとめる。研究動向については、以下の分類でまとめる。

第1に、国際要素移動については、多くの経済的研究が存在している。ここでの経済的研究とは、国際要素移動がどのような経済的影響を持つか、どのようなメカニズムから生じたかについてなど、もっぱら経済に関連する内容を研究したものを指す。本研究は政治変動に主眼を置いているが、その説明となる経済的影響についても概観する。

第2に、国際要素移動によって生じる、国際要素移動そのものに対しての政治的影響を研究するものがある。すなわち、「移民の存在によって、受け入れ国の移民政策に対する選好がどのように影響されるか」などの研究を指す。この種の研究は、労働移動にも資本移動にも存在しているものの、労働移動においてより研究が多い。

第3に、国際要素移動によって生じる、貿易政策への影響を研究するものがある。この研究は主に、経済的研究の中で重視されてきた「国際要素移動と貿易は代替的である」という理論から派生したものである。研究の量としては、資本移動の場合により多い。

第4に、国際要素移動によって生じる、ポピュリズムへの影響を研究するものがある。このタイプのものは近年執筆されたものが多く、労働移動に注目するものがほとんどである。移民政策への選好とも密接に関わっているほか、ポピュリズム概念の多様さに合わせ、左右対立と絡めるもの、貿易政策に絡めるものなど、多様な研究が行われてきた。

以上の4類型に基づき、以下、先行研究をまとめていく。

2-1. 国際要素移動の経済面

国際要素移動の経済面については、特に本研究との関連から、2つの重要なテーマが研究されてきた。第1は国際要素移動にストルパー・サミュエルソン定理を適用することの是非であり、第2は要素移動が国内の賃金や産業に対してどのように影響するかである。

まず、第1点について見ていく。原点となったのは、Mundell (1957)による国際要素移動と貿易の関係の研究である。Mundell が想定したモデルは、2国間で労働と資本を要素として2財を生産するものであった。もし要素が国際的に移動できない場合、貿易によって2国間の要素価格が一致する点まで、労働集約的産業と資本集約的産業の間で国内的な要素移動が行われる。これに対し、もし貿易が不可能な場合、2国間の要素価格が一致するまで、2国間で直接に要素移動が行われる。したがって、最も極端なケースを考えれば、国際要素移動なく貿易のみが行われるか、貿易なく国際要素移動のみが行われる。現実の世界ではこの中間になるわけだが、貿易と国際要素移動の間には代替関係が存在することになる (pp. 321-324)。このことを指して、Mundell は「貿易障壁が要素移動を刺激し、要素移動の障壁

が貿易を刺激する (an increase in trade impediments stimulates factor movements and an increase in impediments to factor movements stimulates trade)」(p331) と述べる。

このような代替関係が存在するかについては、長らく議論が行われてきた。代表的な議論を、Guo (2023)の先行研究レビューを基に概観する。Guo によれば、研究の潮流を大きく分けると、Mundell (1957)に始まる代替論と、Krugman (1995)や Collins et al. (1997)に代表される補完論、すなわち貿易と要素移動が補完的關係にあるという議論が対立してきたという。Krugman は規模の経済が増大する場合に、貿易も要素移動も増大しうると主張した。また、Collins らは歴史的に貿易と要素移動が相互補完的だったことを示した。中立的な立場も存在しており、例えば Svensson (1984)は、貿易されている財とされていない財の間に「協力的」な関係がある場合には代替的になるが、そのような関係がない場合には補完的になるとしている (pp. 8-9。なお、Guo は Svensson を代替論側にグルーピングしているが、上述のように Svensson が行ったのは場合分けであり、この判断には疑問がある。Svensson, 1984, p. 376 参照)。Guo 自身は、中国から欧州への派遣労働者と貿易によってデータ分析を行い、代替論を支持している (p. 13)。

また、労働と資本という 2 財モデルを変更する試みもある。Ghose (2002)は、貿易と要素移動の間に補完性を想定しつつ、労働の側に高技能労働者と低技能労働者を想定した。この場合、先進国と途上国で貿易が行われると、先進国へ高技能労働者が移住する一方、低技能労働者の移動は妨げられるので、全体として移民の数への影響は曖昧になる (p. 3)。

このように、現状では代替論・補完論いずれの側からも研究が出ており、決定的な結論は出ていない。

第 2 点の、要素移動が国内経済に与える影響については、要素価格がどのように変化するか注目した研究が多い。要素移動そのものへの政治的影響と重なる部分も大きいので、ここでは移民に注目した代表的な研究を 2 つ挙げる。

移民の存在が現地における賃金を低下させるという立場を取るのが、Borjas (2003)である。Borjas は 1980 年から 2000 年までのアメリカの事例を用いて、実証研究を行なった。その結果、移民によって 11%の労働供給が増加したのに対し、現地労働者の賃金は 3.2%低下しており、特に高校中退者では 8.9%低下していたという。さらに、現地住民の移動によって、賃金への悪影響の 2/3 は見えなくなっているとする (p. 36)。現地住民の国内移動の影響については、Borjas (2006)において 1960 年から 2000 年までのアメリカのデータを用いた追加的な調査を行なっている。それによると、ある州に移民が 10 人入るごとに、その州に対する 2 人の国内入移民が減少し、その州から 3-6 人の国内出移民が生じるという。この国内移動の存在により、移民による賃金への影響について、地域レベルに注目した研究では悪影響がないという結果が出る一方、国レベルに注目した研究では悪影響があるという結論になりやすいとする (p. 255)。Borjas はまた、福祉プログラムの受給についても調査を行っており、現地住民の福祉受給率は 14.1%であるのに対し、移民世帯では 20.7%であり、受給期間も長くなる傾向があることを示している (Borjas and Hilton, 1996, p. 602)。

これに対し、賃金への影響がほとんどないとするのが Card (2001)である。Card は、1990 年のアメリカのデータを用いて、移民の大量流入にも関わらず国内移動には変化があまり生じていなかったこと、移民を受け入れた都市において、低技能労働者の雇用の減少は 1-3%にとどまり、賃金の低下も 3%未満であったことを示した (pp. 56-57)。また、Card (2005) では、移民の流入により高校中退者の労働供給が増える一方、高校中退者と高校卒業者の賃金格差はほぼ一定であり、移民の流入が低学歴の現地労働者の機会を奪った証拠は乏しいとする (p. 321)。

このように、移民の存在が賃金に与える影響は、それが国内移民を誘発するかどうかについてを含めて、真っ向から対立する議論が生じている。こちらの問題についても、現状では決定的ではない。

2-2. 国際要素移動と規制政策

次に、国際要素移動によって、どのような国際要素移動への政策的選好が生じるかについての先行研究をまとめる。大きく分けると、国際資本移動について論じたものと、国際労働移動について論じたものが挙げられる。

2-2-1. 国際資本移動

国際資本移動の規制に関する最もシンプルな議論としては、Schuknecht (1999)が挙げられる。Schuknecht は資本を、他の財やサービスと同じく取引可能なものとして捉え、貿易制限の延長として資本制限を論じることができるとした。すなわち、資本流入に対して関税や数量制限をかけることによって、国内の資本所有者はレントを得ることができるため、資本保有者は保護を求めたロビーイングを行うインセンティブを有する。ここでは、国内の資本は一体のものとして捉えられており、ストルパー・サミュエルソン定理と親和的である。

これと類似の視点で分析が行われているのが Dorobantu (2010)である。Dorobantu は、FDI によって国内の労働要素に対しては賃金上昇の影響がある一方、資本要素に対しては競合により収益性を低下させる傾向にあるとして、貿易政策における生産要素の理論と同様の視座で分析を行なっている。その上で、1989 年から 2008 年までの移行経済国のデータを用い、ある国で資本流入の規制が緩和されるか否かは、労働を代表する民主的な政府であるか、資本を代表する非民主的な政府であるかによって決まると論じる (pp. 254-255)。

Pandya (2007) も同じく生産要素に注目している。Pandya は FDI を垂直的 FDI と水平的 FDI に分類する。国家間の生産コストの差を裁定取引するために行われる垂直的 FDI は、現地において雇用を創出するため、労働需要を増加させる一方、地元投資家との競争を生

む。このため、左派政権は垂直的 FDI に反対しない。これに対し、地元市場に参入する目的で行われる水平的 FDI は、労働・資本いずれに対しても競争をもたらすので、広範な反対を受ける (p41)。したがって、労働の側では異なる反応が生じるものの、資本側は基本的に流入に反対することになる。

Pandya と近い議論を行なったのが Ro (2022) である。Ro の枠組みは Pandya と非常に類似しているが、生産要素ではなく業界に注目した点が異なる。Ro は FDI を M&A とグリーンフィールド投資に分類しており、M&A は技術移転や株価上昇を伴う点で国内生産者にとって脅威とならない一方、グリーンフィールド投資は競合相手として参入することになるので、国内生産者に打撃を与える (pp. 21-23)。ここでいう国内生産者は、貿易理論で言うところのリカード・ワイナーモデルのように業界を指しており、労働も資本も含むと考えられる。

資本の流入が労働側に与える影響に注目した研究も多い。このような研究の多くは、労働者のスキルの違いに注目している。例えば、Pandya (2010) は、ラテンアメリカのデータを用いて、FDI に対する労働者の選好を調べた。それによると、多国籍企業は地元企業よりも技術的に卓越しているため、FDI は熟練労働者に対する需要を強める。その結果、熟練労働者の方が非熟練労働者よりも FDI を支持するようになる。Rommel (2023) も、同様の視座で FDI が権威主義体制への支持に与える影響を調査した。非熟練労働者は FDI によって賃金が低下し、熟練労働者は賃金が上昇するという仮説からモデルを構築し、アフリカの権威主義国家における体制支持のデータ分析から検証している。Owen (2013) と Owen (2015) についても、労働組合の存在によって労働全体では FDI に反対するものの、熟練労働者は賃金が上昇し、非熟練労働者は賃金が低下するという認識は共有している。

ただし、こうした見方に対する一定の反論も存在している。Li & Zeng (2017) は中国の事例を用いて、技能レベルごとの FDI への反応を検証した。それによると、熟練労働者は高技能集約型の FDI を、非熟練労働者は低技能集約型の FDI を好むはずだが、実際には技能レベルと FDI の種類は相関していないことがわかった。すなわち、個人レベルでの経済的影響よりも、国家や地域レベルでの社会経済的影響に対する懸念が主要な決定要因だとされている。

また、経済的側面のみに注目することに対する反論も存在する。Linsi (2016) は、FDI の存在が国内的にどのように受容されていたかに注目した。Linsi によると、1960 年代から 1970 年代までは、国際主義者であっても FDI の流入に対し警戒的であったのに対し、80 年代から 90 年代には競争力の象徴として FDI が解釈されるようになった。そして、このような認識の変化が、FDI に対する世論を大きく変えてきたという (pp. 283-284)。

以上をまとめると、いくつかの重要な反論もあるものの、国際資本移動に対しては、基本的には資本側は規制志向であり、労働側は規制志向の非熟練労働者と緩和志向の熟練労働者が存在している、という議論が主流である。

2-2-2. 国際労働移動

国際労働移動、すなわち移民に対する規制については、非常に長い論争の歴史が存在する。大まかな研究の流れとしては、経済的影響に注目するものと、非経済的影響、特に文化などに注目するものがある。これらは、先行研究が指摘するように、必ずしも排他的な関係となるわけではない (Milner & Tingley, 2011; Mayda, 2006 など)。文化的説明が成立するかどうかは、経済的説明の有効性に直接は影響しない。そこで、本研究の視座から、もっぱら文化的な説明が妥当するかどうかについて研究したものは、言及の対象外とする。経済的説明が妥当するかどうかの文脈の中で文化的説明を行なったものについては、言及の対象とする。

伝統的な経済的説明としては、資本の場合と同様に、移民によって国内労働者の賃金が低下し、それによって移民規制的な意見が広まるというものになる。このような視点で議論が行う場合には、労働を単体の生産要素として扱うのではなく、労働内部に熟練・非熟練労働者の区別を置き、それぞれに対する経済的説明が妥当するかで検証することが多い。例えば、Mayda (2006)は、International Social Survey Programme (ISSP)や World Value Survey (WVS)のデータを分析し、国際的な個人レベルの分析を行なった。その結果、安全への懸念や文化・国民統合への懸念、不法移民・難民への懸念などの非経済的説明も重要であったとしつつも、労働市場の影響もまた重要だったことに注目している。すなわち、現地人の方が移民よりも技能が高い場合には、ヘクシャー・オーリン説の予測するように、高技能労働者の方が移民導入を支持する傾向にあるという。非経済的説明と経済的説明では、前者の方がより重要であったものの、非経済的説明だけで全てが説明されるわけではないとする (pp. 526-527)。

同じく Scheve & Slaughter (2001)も、National Election Studies (NES)を用いて技能と移民政策の関係を調査しており、こちらでも高技能労働者ほど移民制限を支持する確率が低い、という結果が出ている。さらに、このような結果は労働市場に参加している人たちの間でのみ見られるため、労働市場における技能の影響が大きい。Scheve らは、このような相関は移民が多い地域ほど弱まっている可能性があるとしているものの、全体としては労働市場での動向を主な説明としており、地域レベルの研究に対して反論を行ったものと解することができる (pp. 17-19)。

労働市場だけではなく、福祉に注目する例もある。Facchini & Mayda (2006)は、ISSP と European Social Survey (ESS)の実証分析を通じて、労働市場における説明と、福祉を通じた説明を行なっている。移民が非熟練労働者である場合、福祉国家にとって負担になるため、高所得者が移民に反対するようになる。一方、移民が熟練労働者である場合には、福祉国家に貢献する存在として捉えられるので、この逆になる。一方で、労働市場においては、(低技能の移民に対しては) 高技能労働者の方が賛成する。所得と技能は比例するため、実際にはこれら2つのメカニズムは相殺し合うことになる (p. 31)。

Dustmann & Preston (2007)も、同様に福祉に注目する。Dustmann らは、福祉、技能、民族の3つの経路を想定し、それぞれが持つ影響を British Social Attitudes Survey (BSAS) に基づいて調査した。結果としては、高学歴層の間では福祉への懸念が最も重要であり、西インド系とアジア系の移民については人種・文化的説明も当てはまっていた一方、低学歴層の間では労働市場・福祉はあまり重要でなく、欧州からの移民を含め、人種・文化が重要であったという (pp.23-25)。したがって、Dustmann らは、福祉と文化については重要である一方、労働市場での懸念が移民への反対につながった証拠はなかったと結論づけている (pp.26-27)。Dustmann, Kastis & Preston (2023)においては、賃金への影響について1975年から2015年の英国の事例を用いて検証しているが、こちらにおいても移民の存在は賃金にほとんど影響を与えていないとしており、労働市場による説明を否定して文化的説明を支持している点で共通する。ただし、英国の場合移民は財政に貢献する側であり、不利益を与える原因になっていないとしており、福祉の面についても消極的な評価を与えたという意味では、経済的影響を否定する後述の研究に接近したと言う見方もできるだろう (pp.47-48)。

一方で、経済的影響を否定する研究もある。最も有名なものとしては、Hainmueller & Hiscox (2010)が挙げられる。Hainmueller らは、独自にランダムサンプリングによる調査を行い、伝統的な労働市場と福祉による説明に反論を行った。調査によると、回答者の技能水準や労働参加の有無に関わらず、低技能移民よりも高技能移民が好まれており、また高技能者ほどいずれの移民にも賛成していた。また、財政負担の面からも、所得に関わらず高技能移民が好まれており、高所得者の間では、低技能移民の多い州ほど低技能移民への反対が弱かった。これらの結果は、伝統的な経済的説明とは明らかに矛盾している。ただし、財政負担の大きい州では、低技能労働者が低技能移民に反対する傾向があり、公共サービスの過密化に対する懸念は説明として成り立ちうるという。全体としては、経済的説明の影響は強くなく、教育によって人種的な寛容さや文化的多様性への選好が育まれることの影響が大きいとしている (p.79)。

このような研究動向をまとめようとする試みとしては、Milner & Tingley (2011)がある。これは、1979年から2006年までの米下院における移民政策に関する投票を、労働市場や財政といった経済的説明とイデオロギー的説明の2つから実証しようとしたものである。結論としては、経済的説明とイデオロギー的説明は、移民立法の領域ごとに当てはまる度合いが異なっており、例えば社会保障に関係する政策では財政面の説明がよく当てはまるという。そして、Hainmueller & Hiscoxの研究に対しては、政策領域を考えることで説明が可能になるとする (pp.26-28)。この研究におけるイデオロギーはもっぱら保守・リベラルの対立を指すので、文化的説明とは完全には一致しないものの、経済的説明と非経済的説明を架橋する指摘として注目に値する。

以上を概観すると、移民の流入が移民政策への態度に与える影響は、反論もあるものの、労働市場、福祉、文化の各説明を明確に否定する材料は薄いと考えられる。Hainmueller &

Hiscox (2010)のように明確に経済的説明に反する実証結果を持ち出す少数の例外を除けば、多くの研究は各説明の中でどれがよりよく当てはまるかの濃淡を論じているか、その延長として、強く当てはまった説明とほとんど説明力がなかったものを分類していると捉えることができる。すなわち、最大限としてその研究ではある説明の効果が確認できなかった、ということまでは言えても、明らかに説明と矛盾する証拠にはなっていないのである。Milner & Tingley (2011)のように、政策領域ごとの違いを指摘することもできる。少なくとも全体としては、労働市場、福祉、文化の3つの説明を可能性のある候補として捉えておくべきだろう。

2-3. 国際要素移動と貿易政策

国際要素移動が貿易政策に与える影響については、2-1 で論じたように、伝統的な経済モデルでは貿易と国際要素移動が代替的であると論じられてきたのにしたがって、国際要素移動が活発になるにつれて、企業の保護貿易主義が弱まると論じられてきた。つまり、国際要素移動によって国家間の要素価格が一致するまで裁定取引されるので、理論上は国際要素移動が強まるほど貿易が減少していき、保護主義も自由貿易主義も政治的重要性を失うことになる。実際の研究では、企業の保護貿易主義が弱まる点に注目が集まってきたが、基本的な理論枠組みとしては同様のロジックで議論されている。例えば、Bhagwati (1991)は FDI が関税を乗り越えるためではなく、本国に輸出する目的で行われる場合には、保護主義が投資を妨害することになるので、多国籍企業が自由貿易を求めてロビーイングを行うようになると論じている (p. 330)。Milner (1988)も、1920 年代と 1970 年代の米国企業を比較し、国際経済から切り離された企業ほど増加する輸入に対して保護貿易政策を求めるが、国際的な生産網を有する多国籍企業は国内外の市場をさらに開放することを求めている、と結論づけた (p. 365)。同様に、Helleiner (1977)も、多国籍企業が国際的な企業内資源の移動コストを低下させるために、自由貿易を支持すると論じた (p. 108)。

しかし、経済モデルにおいて貿易と国際要素移動が代替的であるかについて疑念が呈されているのと同様に、政策的帰結としても、国際要素移動が上記のようなメカニズムを生じさせるかについては一定の修正を試みる議論が存在している。例えば、Hiscox (2004)は、国内で完結する資本・労働と国際移動する資本の3要素を用いて、2つの財を生産する経済モデルから上記の議論に反論を投げかけた (p. 257)。すなわち、国際要素移動によって貿易政策への関心が薄まるかは、産業間の要素移動性に依存しているというのである (p. 262)。Hiscox の議論を要約するために、次のような場合を考えてみる。すなわち、ある産業（仮に産業 A とする）における資本の国際要素移動性が高かったとしよう。しかし、産業 A と別の産業 B の間では、国内的な資本移動性が低いとする（労働は産業 A と B の間で移動できる）。このとき、産業 A の資本所有者にとっては、関税を導入しても外国資本が流入して

しまうため、ロビーイングによってレント収入を得る効果が緩和される。したがって、貿易政策への関心は薄まることになる。その一方、産業 B においては、産業 A が関税を導入すると、産業 A に対し労働者が移動するため、産業 B の収益性は低下する。つまり、産業 B にとっては、産業 A の国際資本移動性が高いと、貿易政策が重要になる。また、労働者については、いずれにせよ賃金が上昇するため、産業 A の国際資本移動性が高いと、保護貿易を支持するインセンティブが強くなる。このようなメカニズムは、他の資本や労働の国際要素移動を考えても同じ結果となる (pp. 259-261)。まとめると、Hiscox は、産業間の要素移動性が低い場合に、国際要素移動性がある産業で高いと、その産業では伝統的な「国際要素移動と貿易政策は代替的である」という関係が成り立つが、別の産業や別の生産要素ではその逆の関係が生じうると論じ、伝統的議論の拡張と修正を行なっている。

以上をまとめると、「国際要素移動が貿易政策と代替関係にある」という結論を国内全体に対し認めるべきかについては議論があるものの、少なくとも「国際要素移動が生じた場合に、その直接当事者となる集団においては貿易政策との代替関係が生じる」という側面は共通してきた。また、いずれの議論も、少なくとも経済的な因果関係の存在については共有してきたと言える。

2-4. 国際資本移動とポピュリズム

2-4-1. ポピュリズム

ポピュリズムの概念については、その曖昧さゆえに定義をめぐる議論が展開されてきた。例えば Hawkins & Kaltwasser (2017) は、ポピュリズムの定義を、反エリート主義や反多元主義のような善悪二元論的価値観、近視眼的な経済政策、階級をめぐる構造主義的なアプローチ、カリスマ的アウトサイダーによる大衆運動の 4 つに分類した (p. 3)。Hawkins らは、ラテンアメリカの研究を通じて、第 1 の定義を支持している。一方、Norris (2020) は、ポピュリズムの定義をイデオロギー、アイデア、レトリックの 3 つに分類した。このうち、イデオロギーとしてのポピュリズムについては、理論的な中核を欠いているとして否定的であり、またアイデアとしてのポピュリズム（これには Hawkins らの立場も含まれる）についても、多くのイデオロギーは善悪二元論的な判断が含まれるとして、懐疑的である。Norris はポピュリズムを、多元主義に対置される、国民の意思を正当性の源泉としエスタブリッシュメントを敵とするレトリックとして定義している。

本研究では、ポピュリズムが純粋に政治家の間のレトリックに過ぎないのか、一定の内容を伴うアイデアなのかといった論争には立ち入らない。なぜなら、いずれの場合においても、有権者の側でポピュリズムへの支持が広がるためには、そういったエリートの動きへの「需要」が必要だからである。これらの論争はエリート側の「供給」の性質を論じたものにすぎない。Hawkins らにせよ、Norris にせよ、いずれにしても反エリート主義や反多元主

義的な側面を使って定義を試みている点では変わらない。本研究が注目するのはあくまで、国際的な要素移動によって社会の側にどのような影響が生じるかである。そこで、ポピュリズムを示す指標としては、反エリート主義と反多元主義を採用する。一方、Guiso, Herrera, Morelli & Sonno (2017)が採用するような、移民と自由貿易に対する保護主義としてのポピュリズム (p. 2) については、2-2 や 2-3 ですでに言及しているため、本研究では採用しない。ただし、ポピュリスト政党と反移民主義や保護主義との結びつきは、先行研究でも指摘されているように広く見られる現象であり、必ずしも明確に分けられない点は注意を要する。

国際要素移動とポピュリズムの関係については、特に移民とポピュリズムの関係という形で議論されてきた。例えば、Halla, Wagner & Zweimüller (2017)は、オーストリア自由党の事例を研究し、移民の存在が極右政党への支持増加に影響していたと結論づけた。Hallaらによると、低～中技能移民の増加は極右政党への支持につながっていたが、高技能移民の存在は影響していなかった。また、移民の影響は、現地人の失業率が高かったり、移民との労働市場での競争が激しかったりする地域では強かった。したがって、労働市場における競争や移民の存在による負の外部性が懸念に繋がり、極右政党への支持につながったという (pp. 41-42)。

Barone, D'Ignazio, de Blasio & Naticchioni (2016)も同様に、移民の存在が経済を通じてポピュリズムに与える影響を論じている。Barone らの扱った事例は 2001 年から 08 年までのイタリアにおける中道右派連合であり、一見するとポピュリズムとは関連がない。しかし、ベルルスコーニのメディア統制の存在や法の支配の曖昧さ、連合内の反移民政党やネオファシストの系統に属する政党の存在などが指摘されており (p. 2)、先述のポピュリズムの指標からすると、ポピュリズムに関連した研究に位置付けることができる。この研究で注目すべきは、有権者側で移民の存在が中道右派連合への支持を拡大させた経路の分析である。Barone らは文化的脅威、労働市場での競争、公共サービスの競争、犯罪の脅威の 4 つの経路を検証しており、いずれも重要だったとしている (pp. 10-11)。

一方で、移民の存在は経済的経路だけでポピュリズムに影響するわけではない。例えば、急進右派政党の拡大の原因を研究する論文についてレビューを行った Arzheimer (2018)は、反移民感情や失業、犯罪といった要因を認めている。この場合の反移民感情は失業や犯罪との関連で論じられるよりも、もっぱら文化的な意味合いでの反移民感情として論じられている。また、同じくポピュリズムに対する経済的影響についてレビューを行った Margalit (2019)も、移民の経済的影響については小規模であるとし、文化的な説明を重視している (pp. 159-163)。

Mehic (2019)も反移民感情を重視している。すなわち、スウェーデン民主党への支持の研究によると、若年男性の難民が流入した場合、すでに移民が多かったり犯罪率が高かったりする自治体では右派ポピュリスト政党の支持が拡大した一方、移民に好意的で労働力を必要とする都市部などでは逆の結果になった。したがって、潜在的な反移民感情が最も重要で

あるという (pp. 23-24)。ただし、Mehic はそもそも、移民の影響と労働市場における失業を分けて論じており (p. 21 など)、移民の持つ経済的影響を十分論じていないため、経済の説明を否定する議論にまではなっていないと考えられる。Harmon (2018) も、デンマークの事例を通じて、移民の割合が 1% 増加すると民族主義政党の議席割合が 0.9-2.0% 増加すると推計しているが、その経路については特定の政治問題ではなく、全体的な選好やイデオロギーの変化によるとしている (pp. 3-4)。また、ハンブルクの事例を研究した Otto & Steinhardt (2014) は、移民が反移民政党の拡大に与える影響について、労働市場の影響を排除していないものの、地区レベルの分析では通勤等の人の移動が存在するので、失業率と移民の間に相関関係がなかったとしている (pp. 74-75)。

入移民ではなく出移民に注目する研究もある。Dancygier, Dehdari, Laitin, Marbach, & Vernby (2024) は、スウェーデンの事例を研究し、出移民の増加が急進右派ポピュリスト政党への支持を拡大させると論じた。すなわち、出移民はコスモポリタンの教育・経済機会を求める傾向にあるため、残されるのはより教育水準が低く現地志向な人々になること、またそのような働き盛りの人口が流出することで、地元の生活水準が低下することがその原因だとされる。

以上のように、ポピュリズムに対する移民の経済的影響を考察する文献は数多く存在する。一方で、資本移動そのものの影響を、例えば統計分析するなどして扱った論文はあまりない。ただし、グローバル化の中で広がった格差の存在をポピュリズムと結びつける議論は存在しており、この意味では国際資本移動の文脈にポピュリズムを位置付けることができる。

このような文献の例としては、Inglehart & Norris (2017) が挙げられる。Inglehart らによると、ポピュリズムへの支持が拡大した直接の理由は、第二次世界大戦後 35 年間の経済成長によって広まった脱物質主義的価値観と外国人の流入に対し、文化的な反発が広まったことだという。確かに、個人レベルにおいては、所得や失業などの経済要因は予測能力が低い。その一方で、経済的に不安定な時期には文化的な反発が生じやすいので、経済は全体傾向として過去よりもポピュリズムが強い理由を説明できる。実際、米国においては CEO などのごく一部の人々を除けばどの学歴層でも実質賃金が停滞していたが、中国やインドなどの途上国に住む人々の 40% は、20 年で実質所得の 80% の増加を経験していたという。Inglehart らは、このような格差の拡大が、権威主義的なポピュリスト政党への支持につながったとしている。

Bayerlein & Metten (2023) も、グローバリズムによる経済的な損害とポピュリズムの関連を論じている。Bayerlein らは、そのような損害がポピュリズムへの支持を予測する能力が弱いことについて、反グローバリゼーション的な態度と損害を区別し、損害を受けていない層でも、実存的不安 (国家が守ってくれないという感覚) が強い場合にポピュリスト政党への投票が強まるとしている (p. 3)。また、Kaya (2023) も、グローバリズムとの関係でポピュリズムの拡大を捉えている。Kaya によると、右派ポピュリスト運動の支持者はグローバ

リズムの流れに脅威を感じており、特に世界金融危機と欧州難民危機の中で生じた貧困が自国中心主義や反多文化主義、反イスラム主義に繋がったとしている。

以上から、国際要素移動とポピュリズムの関係に関する研究動向としては、入移民、出移民、グローバル化（先進国の場合、あえて言えば資本の対外進出）がポピュリズムの拡大に繋がった、とまとめることができる。このうち、出移民については文献が少ないため、まとまった反論も存在しない。入移民については、2-1 で扱ったように、そもそも入移民が経済的に悪影響を有するかを含めて議論があるため、文化的説明を重視する議論や、個人レベルでの影響については否定する議論もある。しかし、経済的経路かどうかを抜きにすれば、最低でも入移民の存在がポピュリズムの拡大に繋がっているという議論は支配的である。また、文化説をとる研究にしても、明確に経済的影響を否定するというよりは、文化的影響に比べて経済的影響は小さい、という形をとるものが多い。グローバル化については、個人レベルに直接に影響するというよりも、全体的なポピュリズム支持の土壌を作るという見方が多いようである。

2-4-2. 政府への不信

ポピュリズムと密接に関連するのが政府への不信である。確かに、政府への不信はポピュリスト政党の支持そのものとは異なる。Pew Research Center (2022)によれば、ワシントン政府が常に、またはほとんどの場合正しいことをすると答えたアメリカ人は、わずか 21%に過ぎなかった (p. 1)。「連邦政府は一部の人に対し、他の人よりも不正に多くの利益を与えている」という設問についても、「極めて」「非常に」「ある程度」を合計すると 75%に上った (p. 3)。また、政府への信頼はアメリカの場合、大統領が自分の党派と同じかで変化する傾向があり、トランプ政権期には共和党支持者の方が政府を信頼していたが、バイデン政権期には民主党支持者の方が政府を信頼していた (p. 2)。こうした状況を考えると、ポピュリズムへの支持そのものと政府への不信を同一視することは難しい。一方で、本研究が採用するポピュリズムの定義からすると、政府への不信はポピュリズムを構成する重要な要素である。それがレトリックであるにせよ、きちんとした信念体系であるにせよ、政府や一部のエリートに対する不信の言説に対し、有権者の側で需要があることはポピュリズムの拡大の前提条件となる。そこで、本節では政府への不信に関する研究動向を述べる。このような研究は 1970 年代以前まで遡る膨大な研究史があるが (Citrin & Luks, 2001, p. 9 などを参照)、ここでは経済面の影響に限定して論じる。

政府への不信に対する経済的要因の影響を述べた古典的な研究としては、Citrin & Green (1986)が挙げられる。この研究は、レーガン政権の誕生とともに政府への信頼が回復した要因を調べたものである。主要な要因としては、レーガンの個人的な魅力、すなわち強力なリーダーシップを発揮する能力が超党派的に作用したとされるが、経済的要因、すなわちレー

ガン政権下のインフレや失業の回復も、政府への信頼を高めていた。収入や職業といった比較的固定的な経済的要素は政府への信頼をあまり説明しないが、特に短期的な経済状況の変化は政府への信頼との結びつきが強いという (pp. 437-438)。Citrin & Luks (2001)でも同様に、経済状況と政府への信頼の結びつきが確認されている (p. 17)。また、Chanley, Rudolph & Rahn (2000)も、1980年代から1990年代の米国の事例において、経済への期待、犯罪、国際情勢、スキャンダルなどを検証しており、経済や犯罪が有意だったとしている (pp. 249-251)。

一方、レーガン政権後期の信頼の低下を調査したのが Borrelli & Miller (1991)である。経済的状況と政府への信頼の相関は、この研究でも確認されている。もっとも、経済的状況は1984年から1986年にかけての信頼の低下に対しては説明力が低かった (p. 163)。そのため、結論的にはレーガン大統領の評価が、リーダーシップのある人物としてから、思いやりのない人物としてのものに変化したことや、外交政策や税制改革などの政策への不満が高まったことが大きかったとしている (p. 168)。Hetherington (1998)も、全体的には政治的信頼の変動を理解する上で経済が重要であるとしているが (p. 800)、1994年から1996年にかけての変化を説明する上では、経済は有意でなかったとしており (p. 802)、同様の結論となっている。

近年では、欧州懐疑主義についての研究も登場している。例えば、Foster & Frieden (2017)は、国家や欧州への不信について、経済的理由を中核に置いている。Foster らの推計によると、失業率が1%上昇するごとに、国家政府を信頼する確率が7%、EUを信頼する確率が5%低下する。さらに、構造調整プログラムの対象となった国の間では、EUを信頼する確率が36%低下し、援助の対象となった国の間では10%低下していた。また、個人レベルでも、教育や職業の影響は大きかった。これらの結果から Foster らは、経済が政府への信頼の決定的要因であり、特に失業率の予測性が高かったとしている。

McLaren (2007)も経済的利害を議論に含めている。ただし、McLaren はマクロ経済的な動向ではなく、EUの政策による個人的利害を重視している。それによると、排他的なナショナルアイデンティティといった要素は、EUに対する不信感に影響するものの、EU加盟によって個人的に利益を得たという認識によって緩和できるため、EUが市民の望むものを提供することで、支持を買うことができる。一方、職業や教育といった要素は、EUから利益を得ているかどうかの認識自体についてはあまり影響していないという。

以上をまとめると、全体としては政府への信頼について、経済的な要因の影響を認める議論が主流である。短期的な変動についての説明力があるかについては争いがあるものの、最低でも中長期的な相関については認めるものが多い。ただし、以上に見てきた論文に国際要素移動を扱ったものがないように、国内的な経済状況を説明変数にとる研究が主流である。しかし、今まで見てきたように、移民や資本移動の存在が国内の経済状況にも影響を与えるとすれば、国際要素移動も政府への信頼に影響すると考えて良いだろう。

2-5. 先行研究のまとめ

これまで見てきたように、先行研究では国際要素移動の政治的影響をめぐって、多様な議論が展開されてきた。その結果をまとめると、表 2-1 のようになる。

(表 2-1 先行研究のまとめ)

	移民の拡大			資本移動の拡大		
	資本	熟練労働	非熟練労働	資本	熟練労働	非熟練労働
資本移動規制	?	?	?	○	×	○
移民規制	?	×	○	?	?	?
貿易制限	○?	×	×	×	○?	○?
ポピュリズム	?	○	○	?	○	○

表 2-1 の結果は、経済説を採用する研究の主流意見をまとめたものである。少数意見や非経済的説明を重視する研究もあるが、それらについては十分反映できていない。表中の「○」は、各行の政策事項について各列の主体が賛成に傾くことを示し、「×」は反対に傾くことを示している。全体的には、ストルパー・サミュエルソン定理に基づいた説明が中心となっている。

先行研究の特徴としては、以下の 3 点を挙げることができる。

第 1 に、先行研究は、国際資本移動や移民といった原因に注目するのではなく、移民の制限やポピュリズムといった、国内の政治変動という結果に注目するものが多かった。したがって、研究の動向としても、各政策分野について、それに影響する要因をリストアップするか、単発の「原因対結果」という組み合わせについて仮説を立て、それが有効であるか検証するものが多かった。それ自体は有効な研究を生むために重要な措置ではあったが、国際要素移動という原因の視野で調査する研究が少なくなり、さまざまなモデルや結果が乱立することになった。また、結果をベースに研究をまとめる以上、「経済説」と「文化説」を対置し、どちらがより当てはまるかを論じるというような形の研究潮流も生まれ、経済的影響そのものの是非を論じる研究も少なくなった。一言で言えば、経済的影響という視点で政治への影響全体を体系的にまとめた研究がなかったのである。

第 2 に、先行研究は、国際要素移動について、移民と資本移動を体系的に捉えてこなかった。確かに、単発の「原因対結果」の組み合わせを検証する上では、移民か資本移動のどちらかに限定した方が議論は明確になりやすい。しかし、生産要素が（最低でも）労働と資本によって構成されている以上、いずれか片方のみを論じるだけでは不十分である。特に、Inglehart & Norris (2017) が指摘するように、格差の存在が政治に大きな影響を与えており、かつ、そのような格差が生産要素間で存在するのであれば、労働と資本の動向は一種の「相乗効果」を有しているはずであり、労働と資本を一体的に捉える必要性が高い。また、現実

としても、ここ数十年にわたるグローバル化の中で、移民・資本移動のいずれもが活発になってきた。したがって、経済的影響を体系的に捉えるためには、国際要素移動全体について体系的に捉える必要がある。

第3に、先行研究の研究手法としては、比較的短期の研究が多かった。すなわち、長くても10年以内程度の範囲で世論調査を取り上げ、それについて回帰分析するものが主流だった。確かに、比較的短期でもある程度の変化を捉えることができる場合もあるが、グローバル化の流れ自体は数十年にわたるものであり、できるだけ長い期間を調査対象に含めることが望ましい。また、比較的短期に設定することで、対外的な資本・労働の移動を捉えることも難しくなっていた。国際要素移動の性質上、国際的に活躍する企業の出発地を特定の地域に帰属させることは難しいし、労働の場合も、国際的に移動する前に国内的に移動する場合などがあり、出発地を定義することは難しい。したがって、「国内の〇〇州からの資本移動はN%増加し……」というような統計は存在しないばかりか、そもそも議論してもあまり意味がないのである。すると、国内で複数の地域に分けて比較するのは難しいので、国家間で比較するか、一国について時間変化を追うことになる。だが、国家間の比較はあまりにも条件が違う場合が多く、難も多い。短期間の研究だけでは、対外的な要素移動の影響を捉えることは難しくなるのである。先行研究において、対外的な移動を説明変数に取っていたのが、Milner (1988)のような多国籍企業に注目する議論や、Dancygier, Dehdari, Laitin, Marbach, & Vernby (2024)のような出移民に注目するものなど、ごく一部にとどまっていたのは偶然ではない。

本研究では、以上に見てきた先行研究の結果を生かしながら、先行研究の限界も超えられるようにモデル設定を行う。以下、モデルと仮説を見ていく。

3. モデル

3-1. アイデア

数多くの研究がある中で、それらをまとめられるようなモデルにはどのようなものがあるだろうか。ここで、貿易政策の研究の歴史を振り返ってみたい。

30 年以上前、貿易政策の分野ではある論争が存在した。すなわち、貿易政策は産業間の対立と連衡によって決定されるのか、それとも階級間の対立と連行によって決定されるのか、というものである。これに対して 1 つの統一的なモデルを示したのが、Hiscox (2001) であった。Hiscox の作り出したモデルは以下のようなものだった。すなわち、産業間で要素移動が可能な場合（ストルパー・サミュエルソン定理型）、輸入の増加によってある財の国内価格が低下し、賦存量の低い要素をより使う産業で各要素への需要が下がると、賦存量の低い要素が供給過剰になり、要素価格が低下する。賦存量の多い要素については、輸出の増加によりこの逆のメカニズムが働き、要素価格が上昇する。したがって、同じ要素の所有者の間では同じ選好が共有され、階級内での連合と階級対立が生じる。これに対し、産業間で要素移動ができない場合（リカード・ワイナーモデル型）では、ある産業内で価格の変化が完結するため、輸出入による利害は産業ごとに形成される。そこで、同じ階級であっても選好が一致せず、政治的な連合は産業レベルで生じることになる (p. 3-4)。このモデルは論争を生みながらも、今日に至るまで決定的な反証はなされないまま来ている。

このモデル自体は、国際要素移動の場合に直接当てはめることはできない。しかし、このモデルが前提としている考え方は重要である。すなわち、①ある経済的変動から同じ影響を受ける主体は、共通の選好を有する。②共通の選好を有する主体は、共通の政治行動を取る。③ある属性を共有していても、異なる選好で分裂している場合、その属性での政治行動は曖昧なものになる。このような仮定はかなり強力なものであり、特に②③については、当然に自明のものとは言えない。しかし、貿易政治の研究では、これらの仮定は有効なものであった。

では、国際要素移動の経済的経路による政治的影響は、どのように考えるべきだろうか。国際要素移動の場合、国内での要素移動と異なる点は 3 つある。第 1 に、国境を超えた移動を伴うため、国内での政治変動に与える影響は違った形となるはずである。特に、国内の場合は結果として捉えられている政治的変動と要素移動の生じる範囲が一致しているために、国全体で見れば要素の移動は産業間の違いを無視できた。しかし、国際要素移動の場合政治的変動は国内で見ているのに対し、要素移動は国際レベルになるので、国家間の違いを無視できないのである。つまり、ある国においては一方的に資本が流出したり、逆に労働が一方的に流入したりする事態が予測される。第 2 に、国内移動の場合と異なり、国際要素移動の度合いは、もっぱら規制による影響が大きい。Hiscox の研究では、国内の要素移動を規定する条件は、規制緩和や技術革新による国内の地理的制約からの解放、産業革命による単純労働の増加による移動性の上昇が挙げられていた (pp. 10-12)。そのうち、決定的に重

要だったものは、3 番目の産業化の段階に応じた変化だったとされている (p. 37)。これに対し、国際要素移動の場合には、何にも増して規制が重要である。特にここ数十年の場合には、移民や資本の移動を妨げてきたのは明らかに国境という存在であって、技術的な制約などではなかった。したがって、国際要素移動と規制という観点では、内生性が生じることになる。第 3 に、国際要素移動にとって規制が重要である以上、労働と資本で同じ移動性を想定する必要がない。つまり、例えば資本だけが移動を活発化させたような状況が生じうるし、第 1 の点と合わせて言えば、労働と資本で流出・流入の関係が逆になる場合も考えられる。

以上に挙げた要素と変更点を考慮に入れながら、以下、国際要素移動が政治に与える影響を予測するモデルを構築する。

3-2. モデル

モデルを構築する前に、議論を簡潔にするための 2 つの重要な仮定を導入する。①まず、生産要素は労働 (L) と資本 (K) の 2 つから構成されると仮定する。既存の研究では、特に労働について、熟練労働と非熟練労働に分けるものが少なくなく、本来的には 3 要素を考える拡張も十分考えうる。しかし、議論の単純化や後に触れるデータの性質から、ここでは 2 要素を扱うものとする。②次に、産業間の要素移動は完全であるとする。すなわち、国内の要素移動については、ストルパー・サミュエルソンモデルの通りになるとし、産業ごとではなく階級ごとの動きが生じるものとする。これも、本来であれば国内の要素移動が高いかどうかで場合分けするべきだろうが、モデルが複雑になると、やはりデータの性質上区別が難しいため、産業間の対立については考慮せず、もっぱら階級的なモデルに絞って議論をする。

それでは、メカニズムを見ていく。以下、表 3-1 から表 3-5 まで、特に断りがなければ「流入」がその要素が流入している場合の効果を、「流出」がその要素が流出している場合の効果を表す。また、表中の記号については、(資本, 労働) の順でそのような制限に対する選好が表現されており、「◎>○>△>×」の順で制限への志向が強い。

表 3-1 は、移民制限に対する選好を表す。入移民が拡大した場合、労働側にとっては労働の要素価格が低下するため、移民制限に賛成する。資本にとっては、労働の要素価格が下がった方が収益性が高まるため、移民制限に反対する。ただし、資本が流出する場合、国内資本にとってこのような恩恵の重要性は相対的に下がるため、反対の度合いは弱まる。また逆に、資本が流入する場合、雇用の創出の可能性が高まるため、労働側の賛成の重要性は相対的に下がる。出移民が拡大した場合、労働側にとっては要素価格が上昇するため、移民制限に反対する。資本側は、要素価格の上昇が収益を圧迫するため、移民制限に賛成する。ただし入移民の場合と同様の理由で、資本が流出する場合は資本側の賛成の度合いが弱まり、資

本が流入する場合には労働側の反対の度合いが弱まる。まとめると、表 3-1 となる。

(表 3-1 移民制限)

		労働	
		流出	流入
資本	流出	(○, ×)	(△, ◎)
	流入	(◎, △)	(×, ○)

資本移動規制 (表 3-2) については、これと正反対のロジックが働く。資本流入の拡大は、国内資本にとって収益性を低下させるため、規制への賛成を生じさせる。労働にとっては、賃金の拡大につながるため、規制への反対を生む。ただし、労働が流出する場合、このような国内の動向は労働者にとっては相対的に重要でなくなる。労働が流入する場合、資本にとっては賃金低下の恩恵があるため、資本移動規制の重要性は低下する。一方、資本流出の拡大は、国内資本の収益性を拡大させるため、規制への反対を生じさせる。労働にとっては賃金低下による規制への賛成が生まれる。ただし、労働の流出・流入については上記と同じようなメカニズムで重要性を低下させる。

(表 3-2 資本移動規制)

		労働	
		流出	流入
資本	流出	(×, ○)	(△, ◎)
	流入	(◎, △)	(○, ×)

貿易政策 (表 3-3) については、より曖昧な議論となる。特に、資本の流入・流出が最終製品を当該国で組み立てる目的なのか、生産ラインの一部として再輸出入を目的に行われるのかにより、かなり議論が変わってくるだろう。しかし、議論の単純化のために、ここでは伝統的な理論に従って、単に要素の移動によって収益性・賃金に生じる変化に注目する。この場合、要素の流入はその要素の賦存量が低い場合に、要素の流出はその要素の賦存量が高い場合に生じるので、要素価格の大小が均等化する。そこで、貿易制限や貿易拡大による追加のレントシーキングは効果を縮小することになるので、貿易政策の重要性が減少する。従って、元々賦存量が多い要素は自由貿易志向、賦存量が少ない要素は保護貿易志向だとすると、それとは逆の方向に選好が移動することになる。ただし、現実には国際的な生産ラインを構築する場合も含まれるため、このモデルが予測するよりもずっと曖昧な効果をもたらすことになるだろう。

(表 3-3 貿易制限)

		労働	
		流出	流入
資本	流出	(○, ○)	(○, ×)
	流入	(×, ○)	(×, ×)

ポピュリズムについては、表 3-4 の通りとなる。3-1. モデルと仮説で見たように、共通の利害を受ける主体は共通の政治行動を取るようになり、対立する利害があると対立する政治行動を取るようになる。すると、ポピュリズムへの支持は労働と資本の流入・流出関係が逆の時に最大となる。特に、移民が流入し、資本が流出している状況においては労働側が不利な形で格差が生じるため、「一部のエリートだけが得をし、大衆は疎外されている」という感覚が労働の側に生じやすい。一方、資本が流入し、労働が流出する状況ではむしろ、資本側が危機感を感じ、資本の側に権威主義への支持が広がりやすい。いずれにせよ、本研究が採用するポピュリズムの定義に合致する結果が生じる。ただし、前者の場合には反エリート主義的な側面が強いのに対し、後者の場合には反多元主義的な側面が強くなる、というように、結果的に現れるポピュリズムの側面は異なるものになると考えられる。一方、労働も資本も同じ動きを示す場合には、このような形での格差は生じないため、ポピュリズムへの支持は生じにくい。ただし、資本も労働も流出する局面よりも、資本も労働も流入する局面の方が、賃金や利益の低下による国内での不満が生じやすい。そのため、流出局面よりも流入局面の方が相対的にはポピュリズムが広がりやすいはずである。

(表 3-4 ポピュリズム)

		労働	
		流出	流入
資本	流出	(△, △)	(×, ◎)
	流入	(◎, ×)	(○, ○)

以上の推論をまとめると、表 3-5 のようになる。

(表 3-5 国際要素移動の政治的影響)

		労働	
		流出	流入
資本	流出	自要素を開放、他要素を制限 貿易政策の希薄化 リベラリズム	K は開放志向、L は規制志向 貿易政策の希薄化 反エリート主義
	流入	K は規制志向、L は開放志向 貿易政策の希薄化 権威主義	自要素を制限、他要素を開放 貿易政策の希薄化 一定の不満

4. データと仮説

4-1. データ

3-2 で扱ったモデルを検証するために、用いるデータを検討する。世論の政策的選好を調べる方法としては、世論調査その他の手法により世論の動向を直接に把握する方法と、選挙結果や当該地域を代表する議員の投票行動などを用いて間接的に世論を把握する方法があるが、今回は世論調査を用いて検証を行う。世論調査を用いる手法は、多国間で同一の質問を用いるデータセットの場合、比較が容易であることや、質問対象者が多いため豊富なデータ数を利用できるメリットがある。

今回世論の政策的選好を示すデータとしては、American National Election Studies (2022) と Haerpfer et al. (2022) を用いる。前者(以下、ANES)はアメリカの選挙研究で広く用いられるデータベースである。特徴として、1948 年から 2020 年までの長期にわたるデータが存在していること、調査の間隔が比較的短いこと（1948 年から 1956 年までと、2004 年から 2020 年までは 4 年おき、1956 年から 2004 年までは 2 年おき）、サンプルサイズについても年度により差があるものの、概ね 1500 から 2000 程度が利用可能であること（特に、直近 3 回については 2012 年が 5914、2016 年が 4270、2020 年が 8280 と大きい）が挙げられる。アメリカに注目する利点としては、先行研究が豊富であり、経済指標などについても質の高いデータを長期にわたって利用できること、国内に 50 の州があることで、同一の国家という条件を共有しながら比較ができることなどが挙げられる。

一方、後者(以下、WVS)は多国間の比較のために用いられるデータセットである。こちらは、ANES よりも短期かつ間隔もやや広いものの、1981 年以降調査が存在しているため、冷戦後のグローバル化に伴う変化を追うことができる。また、特徴として多数国（最大で 108）で共通する質問を行なっている点が挙げられ、ANES が縦（時間軸）の比較に適しているとする、WVS は横（国際）での比較に適していると言える。

ただし、世論調査を用いる手法には大きな制約もある。まず、世論調査で調査の対象となる人々の多くは、資本所有者というよりは労働者に近いと考えられるため、資本側での意向を調査することが難しい。したがって、本研究で検証するのは労働側の動向のみとなる。次に、世論調査の質問項目に制約される。ANES の場合、資本移動規制に関する質問項目は存在しなかったほか、WVS については、資本移動規制と貿易制限に関する質問が存在しなかった。したがって、各世論調査の調査項目の範囲内でしか検証ができない。さらに、質問の調査期間等による制約も存在した。例えば、WVS は実施間隔が長く、一つの国あたりで最高でも 7 回分、平均的には 3 回程度しか調査が存在しないため、fixed effects モデル等を用いても有意な結果が得られなかった。また、後述するように、WVS の調査に含まれていた国の中では、「移民も資本も流出する」というパターンの国が 2 カ国しか存在しなかったため、このパターンについての検証も行えなかった。以上のような制約に留意しつつ、モデルの検証を行う。

説明変数となるのは、移民と資本移動のデータである。ANES については、州ごとの比較を可能とするため、入移民については、年ごと・州ごとのデータを用意した。今回使用したデータセットのうち、1970 年、1980 年、1990 年、2000 年については Gibson & Jung (2006) から、2010 年、2012 年、2016 年、2020 年については United States Census Bureau (2010)、同(2012)、同(2016)、同(2020)を使用した。これらについて、総人口 (Total) に占める移民 (Foreign Born) の割合を計算し、入移民率として指標化した。一方、対外 FDI については、州ごとを論じても無意味であるため、国単位・年度ごとのデータを United Nations Conference on Trade and Development (2024) から用意した。1990 年から 2020 年まではストック統計が利用できたが、90 年以前についてはフロー統計しか確認できなかったため、使用していない。各年度について、GDP に占める対外 FDI のストックを変数にとった。

WVS については、各国の入移民・出移民のデータを United Nations, Department of Economic and Social Affairs, Population Division (2020) から用意した。これを、同 (2024) の人口データで割り、人口あたりの移民割合を求めた。一方、FDI の統計については、ANES と同じく United Nations Conference on Trade and Development (2024) を用いた。

各変数の詳細については、7. 補遺を参照のこと。

4-2. 仮説

表 3-5 に述べたモデルを検証するために、以下のような数式で回帰分析を行う。

<モデル 1：単純な回帰分析と他変数の挿入モデル>

$$(1) Y_{ijt} = \Phi(\beta_0 + \beta_1 fdi_{jt} + \beta_2 migration_{jt} + \beta_3 fdi_{jt} \times migration_{jt} + x_{ijt} + u_{ijt})$$

$$(2) Y_{ijt} = \Phi(\beta_0 + \beta_1 fdi_{jt} + x_{ijt} + u_{ijt})$$

$$(3) Y_{ijt} = \Phi(\beta_0 + \beta_1 migration_{jt} + x_{ijt} + u_{ijt})$$

$$(4) Y_{ijt} = \Phi(\beta_0 + \beta_1 fdi_{jt} + \beta_2 migration_{jt} + x_{ijt} + u_{ijt})$$

Y に入るのが世論調査結果のダミー変数である。右辺には FDI の GDP 比と移民率（それぞれ、入・出はモデルによる）が入り、プロビット推定を行う。移民と資本移動の相乗効果を検証するために、(1)には交差項が挿入されている。 x_{ijt} には、その他の変数として、例えば収入や失業といった指標が用いられる。その他の変数については、質問の実施年度が異なるため、全てを同時に入れるのではなく、一つずつ挿入して係数の変化を見る。

<モデル 2：Two-way Fixed effects モデル>

$$(5) Y_{ijt} = \Phi(\beta_0 + \beta_1 fdi_{jt} + \beta_2 migration_{jt} + \beta_3 fdi_{jt} \times migration_{jt} + \sum_{j=2}^J \delta_j I_j + \sum_{t=2}^T \pi_t I_t + u_{ijt})$$

$$(6) Y_{ijt} = \Phi(\beta_0 + \beta_1 fdi_{jt} + \sum_{j=2}^J \delta_j I_j + \sum_{t=2}^T \pi_t I_t + u_{ijt})$$

$$(7) Y_{ijt} = \Phi(\beta_0 + \beta_1 migration_{jt} + \sum_{j=2}^J \delta_j I_j + \sum_{t=2}^T \pi_t I_t + u_{ijt})$$

$$(8) Y_{ijt} = \Phi(\beta_0 + \beta_1 fdi_{jt} + \beta_2 migration_{jt} + \sum_{j=2}^J \delta_j I_j + \sum_{t=2}^T \pi_t I_t + u_{ijt})$$

これらのモデルでは、時間(t)・地域(j)の効果を統制するために、各地域・年度を表すダミー変数が挿入される。

<モデル 3：Fixed effects モデル>

$$(9) \sqrt{n_{jt}}(\bar{Y}_{jt} - \bar{Y}_j) = \sqrt{n_{jt}}\beta_1(\bar{fdi}_{jt} - \bar{fdi}_j) + \sqrt{n_{jt}}\beta_2(\overline{migration}_{jt} - \overline{migration}_j) + n_{jt}\beta_3(\bar{fdi}_{jt} \times \overline{migration}_{jt} - \bar{fdi}_j \times \overline{migration}_j) + \sqrt{n_{jt}}(\bar{u}_{jt} - \bar{u}_j)$$

$$(10) \sqrt{n_{jt}}(\bar{Y}_{jt} - \bar{Y}_j) = \sqrt{n_{jt}}\beta_1(\bar{fdi}_{jt} - \bar{fdi}_j) + \sqrt{n_{jt}}(\bar{u}_{jt} - \bar{u}_j)$$

$$(11) \sqrt{n_{jt}}(\bar{Y}_{jt} - \bar{Y}_j) = \sqrt{n_{jt}}\beta_2(\overline{migration}_{jt} - \overline{migration}_j) + \sqrt{n_{jt}}(\bar{u}_{jt} - \bar{u}_j)$$

$$(12) \sqrt{n_{jt}}(\bar{Y}_{jt} - \bar{Y}_j) = \sqrt{n_{jt}}\beta_1(\bar{fdi}_{jt} - \bar{fdi}_j) + \sqrt{n_{jt}}\beta_2(\overline{migration}_{jt} - \overline{migration}_j) + \sqrt{n_{jt}}(\bar{u}_{jt} - \bar{u}_j)$$

このモデルでは、各年度・地域ごとに変数の平均値を求めることで、パネルデータを作成する。これを fixed effects モデルで回帰することにより、地域ごとの差異を統制することができる。

<モデル 4：ラグ変数モデル>

$$(13) \sqrt{n_{jt}} \times \bar{Y}_{jt} = \sqrt{n_{jt}}\beta_1 \bar{fdi}_{jt} + \sqrt{n_{jt}}\beta_2 \overline{migration}_{jt} + n_{jt}\beta_3 \bar{fdi}_{jt} \times \overline{migration}_{jt} + \sqrt{n_{jt}}\beta_4 \bar{Y}_{jt-1} + \sqrt{n_{jt}} \times \bar{u}_{jt}$$

$$(14) \sqrt{n_{jt}} \times \bar{Y}_{jt} = \sqrt{n_{jt}}\beta_1 \bar{fdi}_{jt} + \sqrt{n_{jt}}\beta_2 \bar{Y}_{jt-1} + \sqrt{n_{jt}} \times \bar{u}_{jt}$$

$$(15) \sqrt{n_{jt}} \times \bar{Y}_{jt} = \sqrt{n_{jt}}\beta_1 \overline{migration}_{jt} + \sqrt{n_{jt}}\beta_2 \bar{Y}_{jt-1} + \sqrt{n_{jt}} \times \bar{u}_{jt}$$

$$(16) \sqrt{n_{jt}} \times \bar{Y}_{jt} = \sqrt{n_{jt}}\beta_1 \bar{fdi}_{jt} + \sqrt{n_{jt}}\beta_2 \overline{migration}_{jt} + \sqrt{n_{jt}}\beta_3 \bar{Y}_{jt-1} + \sqrt{n_{jt}} \times \bar{u}_{jt}$$

このモデルでは、モデル 3 と同じように変数ごとの平均値を求め、パネルデータを作成する。右辺には 1 期前の独立変数 $\overline{Y_{jt-1}}$ が挿入されており、政策が持つ内生性を統制した上で、移民や FDI の持つ効果を確認することができる。

これらの数式の各係数について、表 3-5 のモデルから、表 4-1 のような仮説が成り立つ。表のうち、「+」は係数が正になること、「-」は係数が負になること、「△」は係数が有意にならないことを示している。

全てを文章で説明すると煩雑になるため、ANES で検証するアメリカを例にとって説明しよう。図 4-1、4-2 にアメリカの移民・資本移動の推移を示した。注目すべきは、比率そのものよりも、国内に入る動きと国外へ出る動きのどちらに偏っているかである。図 4-1 のように、移民については明らかに入移民だけが拡大し、出移民の変化は微々たるものだった。従って、アメリカは表 4-1 で言うと、労働が流入しているケースに当たる。これに対し、図 4-2 に示したように、資本移動については対内・対外ともに増加している。アメリカのように資本移動が拡大した先進国においてはしばしば、単に資本の流出が拡大するだけでなく、国際的な生産網の拡大や投資の拡大の中で、自国への投資も同時に増加するケースが存在する。この場合、自国内の資本賦存量が高いために対外進出も可能になると同時に、国内に流入もしているので、基本的には資本流出のパターンに当たると考えるべきである。

アメリカが資本流出・労働流入のパターンだとすると、以下のようなロジックで係数が決まる。まず、移民規制については、表 3-1 より、入移民の増加は資本の動向に関わらず移民規制への支持を高めるため、係数が正になる。資本移動については、移民の動向によって効果が変わるため、係数は有意でなくなる可能性もあるが、入移民の増加局面では移民規制への支持を高めるため、係数は正になる可能性もある。いずれにせよ、入移民の増加も資本流出の増加も移民規制の支持を高めるため、交差項の係数も正になる。

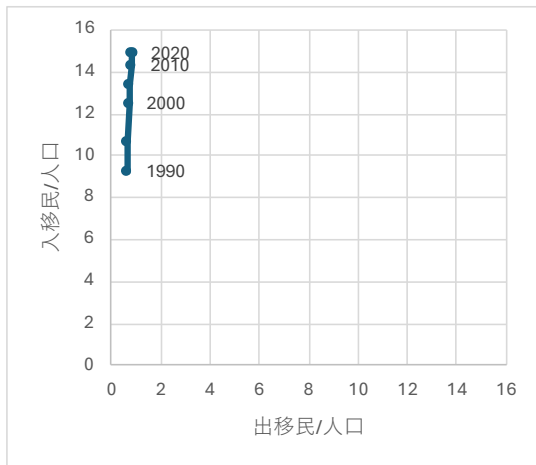
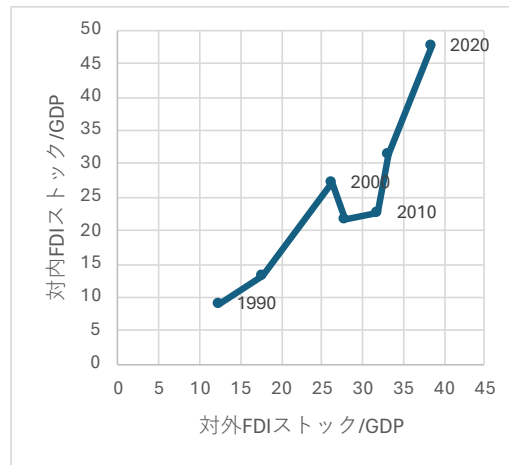
貿易政策については、表 3-3 より、移民の流入によって符号が決まるため、移民の係数は負となる。資本移動については有意でない可能性が高いが、移動によって貿易が縮小する傾向があるなら、係数が負になる可能性もある。貿易政策に関し、移民と資本移動の相乗効果は薄いため、交差項の係数は有意でない。

反エリート主義と反多元主義については、表 3-4 より、移民の流入・資本の流出ともに反エリート主義を増大させ、反多元主義を弱める。したがって、反エリート主義のモデルではいずれも係数が正となり、反多元主義のモデルではいずれも係数が負となる。また、交差項の係数については、反エリート主義のモデルで正になり、反多元主義のモデルで負となる。

以下、ANES を用いて資本流出・労働流入の場合の検証を行い、WVS を用いて国のパターン別の結果を見ていく。

(表 4-1 係数の仮説)

			労働					
			流出			流入		
			交差項	資本	移民	交差項	資本	移民
資本	流出	移民	—	$\Delta \sim -$	—	+	$\Delta \sim +$	+
		貿易	Δ	$\Delta \sim +$	+	Δ	$\Delta \sim -$	—
		反エリ	Δ	+	—	+	+	+
		反多元	Δ	—	+	—	—	—
	流入	移民	Δ	$\Delta \sim +$	—	Δ	$\Delta \sim -$	+
		貿易	Δ	$\Delta \sim +$	+	Δ	$\Delta \sim -$	—
		反エリ	—	—	—	Δ	—	+
		反多元	+	+	+	Δ	+	—

(図 4-1 アメリカの移民率の推移¹⁾)(図 4-2 アメリカの FDI 比率の推移²⁾)

¹ United Nations, Department of Economic and Social Affairs, Population Division (2020)、同 (2024)をもとに作成。単位はそれぞれ%。

² United Nations Conference on Trade and Development (2024)をもとに作成。単位はそれぞれ%。

5. 検証

5-1. ANES

本章では、回帰分析の結果をまとめる。非常に量が多いため、ここでは係数の数値などの詳細については触れず、符号や仮説との適合についての記述が主となる。詳細な結果については、7-2 に別途まとめてあるので、適宜参照されたい。

表 5-1 に、ANES をモデル 1 で検証した結果をまとめた。表は、政策領域・説明変数ごとに、その係数が正であった指標、有意でなかった指標、負であった指標の数を表している。括弧内の数字は、4-2 で挙げた数式を表している。結果の詳細は、表 7-2-1 から 7-2-4 を参照されたい。

(表 5-1 ANES—モデル 1 の結果)

政策領域	説明変数	符号		
		正で有意	有意でない	負で有意
移民規制	(1)交差項	1	1	0
	(2)資本移動	0	0	2
	(4)資本移動	0	0	2
	(3)移民	0	0	2
	(4)移民	0	0	2
貿易制限	(1)交差項	0	1	0
	(2)資本移動	0	0	1
	(4)資本移動	0	0	1
	(3)移民	0	0	1
	(4)移民	0	0	1
反エリート主義	(1)交差項	3	1	1
	(2)資本移動	4	1	0
	(4)資本移動	4	0	1
	(3)移民	5	0	0
	(4)移民	1	0	4
反多元主義	(1)交差項	1	4	1
	(2)資本移動	0	0	6
	(4)資本移動	0	0	6
	(3)移民	0	0	6
	(4)移民	0	0	6

表 5-1 から、全体的には表 4-1 に示した仮説が当てはまっていたと言える。特に、貿易制限については、指標が一つしかないものの、仮説通りの結果となった。また、反多元主義については、交差項の係数が有意でないものが多かったものの、それ以外については仮説通りの結果となった。反エリート主義もほとんどが仮説通りだったものの、資本移動と移民を同時に説明変数として取ると、移民の係数が負になってしまった。これに対し、移民規制については、仮説通りの結果となったのは交差項の係数のみで、それ以外の指標は仮説に反し全て負となっていた。いくつかの例外はあるものの、基本的には貿易制限、反エリート主義、反多元主義についてはほぼ仮説の予測通りになったと言える。

他変数を統御した場合にも、以上のような結果にはあまり変化が見られなかった。表 5-2 には、他変数を加えた結果、もともと仮説通りの結果だったものが、有意でなくなったか逆の結果に変化した従属変数の数を、係数別に表したものである。なお、1つの項目でいくつかの変数の結果をまとめて表しており、例えば「(4)移民」の「価値観」は反多元主義で 2 つが有意でなくなっているとあるが、このうち価値観に関わる「liberal」「conservative」で変化したのは 1 つのみで、「liberal_lean」は 2 つ変化し、「conservative_lean」では変化はなかった（詳細は、表 7-2-5 から 7-2-9 を参照）。

（表 5-2 ANES—他変数により変化した係数）

	(1)交差項	(2)資本移動	(4)資本移動	(3)移民	(4)移民
年齢	-	-	-	-	-
性別	-	-	-	-	-
人種	-	-	-	反エリ 1	反エリ 1 反多元 2
教育	-	-	反多元 1	-	-
収入	反エリ 1	-	-	-	反エリ 1
階級	反エリ 2 反多元 1	反エリ 1 反多元 2 貿易 1	反エリ 1 反多元 1 貿易 1	-	反エリ 1
失業	-	-	-	反エリ 1	-
経済観	-	-	-	反エリ 2	-
教会参加	-	-	反多元 1	反エリ 1	-
野党支持	-	-	-	-	-
政党支持	-	-	-	-	反多元 1
価値観	-	-	反多元 1	反エリ 1	反多元 2
伝統	反エリ 2	反多元 1	反多元 1 貿易 1	反エリ 2	反多元 1

変化の大半は、経済的変数、特に階級や収入といった格差に関連するものと、価値観に関連する変数、特に伝統的価値観の有無に集中している。その他の変化は、特定の従属変数が多くの変数で変化しているものが多い。すなわち、「(4)資本移動」の「anti_abortion」、「(3)移民」の「untrust_gov」、「(4)移民」の「untrust_gov」、「too_equal」、「anti_affirmative」の5つの場合を除けば、残りの変化は全て、階級、収入、伝統の3つのみで生じている。このことから、一部の例外はあるものの、経済的経路（特に要素ごとの違い）と文化的経路の2つによって政策的選好の変化が生じており、それが係数を有意でなくしたと推定される。これは、先行研究において繰り返し指摘されていた、経済的説明と文化的説明の存在とも整合的であり、本研究からはいずれの説明も排除されないことになる。

(表 5-3 ANES—モデル 2 の結果)

政策領域	説明変数	符号		
		正で有意	有意でない	負で有意
移民規制	(5)交差項	1	1	0
	(6)資本移動	0	0	2
	(8)資本移動	0	0	2
	(7)移民	0	1	1
	(8)移民	0	1	1
貿易制限	(5)交差項	0	0	1
	(6)資本移動	0	0	1
	(8)資本移動	0	0	1
	(7)移民	0	1	0
	(8)移民	0	1	0
反エリート主義	(5)交差項	1	4	0
	(6)資本移動	4	1	0
	(8)資本移動	3	1	1
	(7)移民	0	4	1
	(8)移民	1	4	0
反多元主義	(5)交差項	1	4	1
	(6)資本移動	0	0	6
	(8)資本移動	0	0	6
	(7)移民	3	3	0
	(8)移民	2	4	0

モデル 2 については、モデル 1 よりも仮説通りの結果にならない場合が増えたが、それ

でも一定の範囲で仮説は維持された。表 5-3 に、モデル 2 での結果をまとめた。表の見方は、表 5-1 と同じである（詳細は、表 7-2-10 から 7-2-13 を参照）。

モデル 1 の結果から変化した点は、反エリート主義と反多元主義における移民の係数である。これらはモデル 1 の場合は正で有意だったが、モデル 2 の反エリート主義は有意でなく、反多元主義は半分ほどが正で有意になるなど、仮説の予測とは異なる結果になった。また、反エリート主義の交差項についても、有意でなくなった。一方、移民規制と貿易制限ではそれぞれ移民の係数が 1 つの従属変数で有意でなくなった以外は変化がなく、反エリート主義、反多元主義でもその他の変化は微々たるものだった。したがって、モデル 2 では、モデル 1 の場合よりも仮説の予測通りになった結果は減ったものの、それでも半分は予測通りの結果になっていた。また、モデル 2 でも、仮説に反する結果になったのは、モデル 1 の場合に加えて、反多元主義の移民のみだった。

（表 5-4 ANES—モデル 3 の結果）

政策領域	説明変数	符号		
		正で有意	有意でない	負で有意
移民規制	(9)交差項	1	1	0
	(10)資本移動	0	0	2
	(12)資本移動	0	0	2
	(11)移民	0	0	2
	(12)移民	0	1	1
貿易制限	(9)交差項	0	1	0
	(10)資本移動	0	0	1
	(12)資本移動	0	0	1
	(11)移民	0	1	0
	(12)移民	1	0	0
反エリート主義	(9)交差項	1	4	0
	(10)資本移動	4	0	1
	(12)資本移動	4	1	0
	(11)移民	4	1	0
	(12)移民	0	3	2
反多元主義	(9)交差項	3	2	1
	(10)資本移動	0	0	6
	(12)資本移動	0	3	3
	(11)移民	0	0	6
	(12)移民	0	6	0

モデル3についても、モデル2と類似した結果となった。モデル3の結果は、表5-4にまとめた。こちらもモデル1から大きく変化した点は限定的である。貿易制限で(12)の数式の移民の係数が正になったこと、反エリート主義で交差項の係数が有意でなくなったこと、反多元主義で(12)の数式の移民の係数が有意でなくなったことである。反多元主義の交差項については、正で有意になったようにも見えるが、半数は有意でないか負で有意であり、判然としない。

(表 5-5 ANES—モデル4の結果)

政策領域	説明変数	符号		
		正で有意	有意でない	負で有意
移民規制	(13)交差項	1	1	0
	(14)資本移動	0	0	2
	(16)資本移動	0	0	2
	(15)移民	0	0	2
	(16)移民	0	0	2
貿易制限	(13)交差項	0	1	0
	(14)資本移動	0	1	0
	(16)資本移動	0	0	1
	(15)移民	1	0	0
	(16)移民	1	0	0
反エリート主義	(13)交差項	2	3	0
	(14)資本移動	4	1	0
	(16)資本移動	4	1	0
	(15)移民	4	1	0
	(16)移民	1	2	2
反多元主義	(13)交差項	1	5	0
	(14)資本移動	0	0	6
	(16)資本移動	0	1	5
	(15)移民	0	0	6
	(16)移民	0	5	1

モデル4については、全体的にモデル3と類似した結果になった。モデル3と比べると、モデル4では貿易制限における移民の係数が予測とは反対の結果になってしまったが、反多元主義における交差項は反対の結果から有意でない結果が増えた。モデル4において注

目すべきは、ラグ変数で有意になったものである。表 7-2-18 から表 7-2-21 を見ると、式 (13)と式(14)の結果では、ラグ変数の有意性ははっきりしない。これに対し、式(15)、すなわち移民を説明変数にとった場合については、ある程度規則性が存在した。反多元主義については一貫した結果がないものの、移民規制と反エリート主義ではラグ変数の係数が正で有意であり、貿易制限では負で有意になった。特に移民規制については、内生性を考慮した結果でも予測と反対になっているため、Hiscox (2010) のような別の説明の必要性を示唆する。

表 5-6 に、ANES を使った回帰分析の結果をまとめた。表 5-6 では、概ね仮説に当てはまっていた結果を「○」、仮説とは反対の結果になっていたものを「×」、それ以外のものを「△」で表している。

(表 5-6 ANES—仮説の検証)

政策領域	説明変数	結果			
		モデル 1	モデル 2	モデル 3	モデル 4
移民規制	交差項	○	○	○	○
	資本移動	×	×	×	×
	資本移動(4,8,12)	×	×	×	×
	移民	×	×	×	×
	移民(4,8,12)	×	×	×	×
貿易制限	交差項	○	△	○	○
	資本移動	○	○	○	△
	資本移動(4,8,12)	○	○	○	○
	移民	○	△	△	×
	移民(4,8,12)	○	△	×	×
反エリート主義	交差項	○	△	△	○
	資本移動	○	○	○	○
	資本移動(4,8,12)	○	○	○	○
	移民	○	△	○	○
	移民(4,8,12)	×	△	△	△
反多元主義	交差項	△	△	×	△
	資本移動	○	○	○	○
	資本移動(4,8,12)	○	○	○	○
	移民	○	×	○	○
	移民(4,8,12)	○	△	△	△

表 5-6 から、ANES を使った回帰分析の結果を総括する。ANES を使った分析では、移民規制に関するものは正反対の結果となったものの、他については概ね仮説に沿った結果になっていた。移民の係数は、特に資本移動と同時に回帰分析した場合には若干結果が曖昧になりやすいが、それでもモデル 1 では他変数を取っても仮説通りの結果となっていた。逆に、資本移動の係数はほぼ一貫してモデルの予測通りとなっていた。

5-2. WVS

次に、WVS の回帰分析結果をまとめる。表 5-7 は、WVS をモデル 1 で回帰した結果である。表は、移民・資本移動が流出・流入いずれであったかで分類し、各政策領域について、係数が正であったか負であったかを表している。記号は、「+」が正で有意であったこと、「-」が負で有意であったこと、「*」が有意でなかったことを示しており、記号の右にある数字が、そのような符号であった係数の数を示している。例えば、「+2-」とある場合、正で有意であった従属変数が 2 個、負で有意であった従属変数が 1 個あることを指している（詳細は、表 7-2-22 から表 7-2-33 を参照）。

(表 5-7 WVS—モデル 1 の結果)

			移民									
			流出					流入				
			(1) 交差	(2) 資本	(4) 資本	(3) 移民	(5) 移民	(1) 交差	(2) 資本	(4) 資本	(3) 移民	(5) 移民
資本 移動	流 出	移民	データ不足により非検証					+	+	+	+	+
		反エリ						-2	+-	+-	-2	-2
		反多元						+3	-3	-3	+2-	+2-
	流 入	移民	*	+	+	-	-	+	+	+	+	+
		反エリ	-2	+-	+-	+-	+-	-*	+-	+-	+-	-2
		反多元	+3	+2	+-*	+2*	+2-	+2-	-3	+2-	-3	-3

まず、資本流出—移民流入の類型については、移民規制については仮説通りとなったものの、反エリート主義・反多元主義については資本の係数を除いて逆の結果となっていた。資本の係数については、反エリート主義のものは結果が曖昧である。反多元主義の資本係数については、仮説の予測通りの結果となった。

資本流入—移民流出の類型については、曖昧な結果も一部あったものの、概ね仮説の予測通りだった。反エリート主義の資本・移民の係数が正負両方の結果が 1 つずつ出ているのと、反多元主義の資本の係数がバラバラであるのを除けば、全て仮説通りの結果となった。

最後に、資本流入—移民流入の類型では、結果はまちまちであった。交差項についてはいずれも有意でなくなると予測していたが、有意になった指標もある一方、正負両方の結果が出るものなど、曖昧なものもあった。資本の係数については、移民規制では仮説と反対の結果となったが、反多元主義では式 2 の場合仮説と反対となり、式 4 の場合仮説と近い結果になった。反エリート主義では曖昧だった。移民の係数については、移民規制と反多元主義では仮説通りだったが、反エリート主義では仮説と反対の結果と、曖昧な結果が混在した。

仮説の適合度については、表 5-8 にまとめた。概ね仮説に当てはまっていた結果を「○」、仮説とは反対の結果になっていたものを「×」、それ以外のものを「△」で表している。

(表 5-8 WVS—モデル 1 の仮説の検証)

			移民									
			流出					流入				
			(1) 交差	(2) 資本	(4) 資本	(3) 移民	(5) 移民	(1) 交差	(2) 資本	(4) 資本	(3) 移民	(5) 移民
資本 移動	流 出	移民	データ不足により非検証					○	○	○	○	○
		反エリ						×	△	△	×	×
		反多元						×	○	○	×	×
	流 入	移民	△	○	○	○	○	△	×	×	○	○
		反エリ	○	△	△	△	△	○	△	△	△	×
		反多元	○	×	△	○	○	○	×	○	○	○

(表 5-9 WVS—モデル 2 の結果)

			移民									
			流出					流入				
			(1) 交差	(2) 資本	(4) 資本	(3) 移民	(5) 移民	(1) 交差	(2) 資本	(4) 資本	(3) 移民	(5) 移民
資本 移動	流 出	移民	データ不足により非検証					-	-	-	*	+
		反エリ						*2	+2	+2	-2	-2
		反多元						+3	+3	+3	-*2	-3
	流 入	移民	+	+	+	-	+	+	-	-	+	+
		反エリ	-2	+-	+-	+-	-*	-*	+2	+2	-2	-2
		反多元	+3	-*2	-*2	+-*	+*2	+*2	-*2	+-*	+2*	+2*

モデル 2 については、表 5-9 にまとめた（詳細は、表 7-2-34 から表 7-2-45 を参照）。表の見方は表 5-7 と同じである。モデル 2 の結果はモデル 1 よりも仮説通りでないものが増えるが、仮説通りになった結果も増加しており、全体としてはそれほど変わっていない。

まず、資本流出—移民流入の類型については、移民政策に関する資本や交差項の係数や、反多元主義に関する資本の係数がモデル 1 とは反対の結果になるなどした。その一方で、版エリート主義に関する資本の係数や反多元主義に関する移民の係数は仮説通りの結果に変化していた。

資本流入—移民流出の類型については、あまり変化がなく、仮説通りの結果が多いままだった。一部変化した点として、式 5 の移民の係数や式 2 の資本の係数が仮説と反対の結果になったことが挙げられる。ただし、前者については式 3 での係数が正であり続けていることや、後者についてはもともと式 4 の資本の係数が仮説と反対の結果であり、全体としては結論にあまり変わりがなかった。

そして、資本流入—移民流入の類型については、反エリート主義・反多元主義の資本・移民の係数が全体的に仮説と反対の結果になった。その一方で、移民規制についての資本の係数は仮説通りの結果に変化しているため、移民規制については仮説通りの結果にかなり近づいた。

仮説の適合度については、表 5-10 にまとめた。表の見方は、表 5-8 に同じである。

(表 5-10 WVS—モデル 2 の仮説の検証)

			移民									
			流出					流入				
			(1) 交差	(2) 資本	(4) 資本	(3) 移民	(5) 移民	(1) 交差	(2) 資本	(4) 資本	(3) 移民	(5) 移民
資本 移動	流 出	移民	データ不足により非検証					×	×	×	△	○
		反エリ						△	○	○	×	×
		反多元						×	×	×	○	○
	流 入	移民	△	○	○	○	×	△	○	○	○	○
		反エリ	○	△	△	△	○	○	×	×	×	×
		反多元	○	×	×	△	○	○	×	△	×	×

なお、WVS については、モデル 3 とモデル 4 の分析を実施しなかった。WVS のデータは、国ごとの比較には優れるものの、実施回数の問題上、時間での比較を行うには適さない。WVS のデータを用いて年度・国ごとの平均値を求めようとする、サンプルサイズが極端に小さくなってしまいうのである。パネルデータを用いた分析は、ANES の結果から考察する。

5-3. まとめ

今回行った回帰分析の結果を、表 5-11 にまとめた。

(表 5-11 仮説の検証結果)

			労働					
			流出			流入		
			交差項	資本	移民	交差項	資本	移民
資本	流出	移民	データ不足により非検証			○ (○5×1)	× (○2 ×10)	△~× (○3×8 △1)
		貿易				○ (○3△1)	○ (○7△1)	△ (○2×3 △3)
		反エリ				○~△ (○2×1 △3)	○ (○10 △2)	△ (○3×5 △4)
		反多元				△~× (△3×3)	○ (○10× 2)	○~△ (○6×3 △3)
	流入	移民	△ (△2)	○ (○4)	○ (○3×1)	△ (△2)	△ (○2×2)	○ (○4)
		貿易	データ不足により非検証					
		反エリ	○ (○2)	△ (△4)	○~△ (○1△3)	○ (○2)	× (×2△2)	× (×3△1)
		反多元	○ (○2)	× (×3△1)	○ (○3△1)	○ (○2)	△~× (○1×2 △1)	△ (○2×2)

表の各マスのうち、上段が最終的な仮説の是非を、下段が参考値としてこれまで表 5-6、表 5-8、表 5-10 で言及した仮説の適合度の数を表している。多くのマスは下段を見れば上段の妥当性を判別できるだろうが、一部に特別な判断を下したものもあるので、それらについてのみ簡単に説明する。資本流出—移民流入の移民政策の移民の係数については、「×」の方が多いが、結論としては「×~△」としている。これは、「×」の結果が ANES にのみ存在し、「○」の結果が WVS のみに存在する、というように二極化しており、今回の分析結果からは判断を下せないためである。同様に、資本流出—移民流入の反エリート主義の移

民の係数についても、「×」が集中しているのは WVS であり、ANES については「○」の方が多かったため、保留としている。ただし、多国間の比較としてどうしても結果の解釈が難しくなる WVS よりも、同一の国内で比較している ANES の結果の方を重視すべきであるとすれば、やや「○」よりも解釈しても良いのではないか。同様の理由で、「○」と「×」の数が同じだった資本流出—移民流入の反エリート主義の交差項の係数も、ANES の結果である「○」よりも解釈している。

全体としては、仮説通りの結果となったものが多かった。資本流入—労働流入の類型ではやや予測と異なる結果が多かったものの、それでも明確に反対の結果となったのは 2 項目のみであった。以上から、完璧ではないものの、概ねモデルと外れない結果になったと結論づける。

6. 結論

本論文では、国際要素移動が政治的選好に与える影響について、先行研究で出される多様な結果をまとめつつ、経済的説明を中心とするモデルを構築した。すなわち、労働要素と資本要素が国際的な移動をすることを通じて、要素移動の規制政策、貿易政策、ポピュリズムといった政策領域への選好が変化するというものであった。

本論文の貢献する点としては、5点が挙げられる。第1に、本論文は国際要素移動について新たな視座を提供した。先行研究では、国際要素移動はそれ自体が注目されるというよりは、国内の政治的変動の一要因として注目されるに過ぎず、その地位は副次的なものに過ぎなかった。ゆえに、国際要素移動が持つ因果関係について総合的に捉える試みはほとんどなかったと言って良い。これに対し、本論文では政策領域を横断し、国際要素移動という独立変数側に注目した議論を行うことによって、国際要素移動の与える影響について体系的に捉えることに成功した。特に重要な点としては、先行研究で議論が交わることがほとんどなかった、政策領域ごとのメカニズムが共通するものであることを示した点である。先行研究で指摘されることはなかったが、実際には国際要素移動をめぐる研究は、経済的説明という共通の視座を共有していた。本研究は、理論的にだけでなく、データ分析を通じた実証面でも、この経済的説明を示すことに成功した。こうした発見は、他の政策領域、例えば国際要素移動が外交政策に与える影響など、新たな研究への道を開くものである。

第2に、本研究は、労働と資本を統合的に捉えることの重要性を確認した。先行研究では、労働か資本、いずれかの要素のみに注目する研究が多く、仮に両方を扱うとしても、一方の要素を主として、他方の要素は従属的に扱う研究が多かった。特に、国際要素移動については、移民も資本移動もいずれも視野に入れる研究はほとんどなかったと言って良い。したがって、移民と資本移動の間にある関係性に注目が集まることはなかった。現実には、30年以上にわたるグローバル化の中で、労働も資本も国際的な移動が活発化してきたにも関わらず、である。これに対し、本研究では、労働と資本が同時に変化することを前提に、それらの変化の相互作用としての国内政治への影響がどのようなものであるか、モデル構築と実証分析を行なった。モデルや交差項の検証から分かるように、労働と資本は独立に議論するのみでは不十分であり、いずれも説明変数として考慮することの重要性が明らかになった。このことは、将来の研究の方向性にも影響を与えうる発見と言える。

第3に、研究手法上の特性として、時間・地域を広く視野に入れる研究が可能となった。従来の研究では、ごく短い期間の変化や特定の地域といった、狭い範囲での事象を扱うケースが多く、普遍性や長期的動向などを視野に含めにくかった。これに対し、本研究では移民と資本移動いずれをもモデルに組み込んで分類することにより、先進国も途上国も視野に入れた議論が可能となった。また、2種類の世論調査データを用いることにより、長期の変化を比較するタイプの検証と、比較的短い期間で比較するタイプの検証を行

うことができ、また、国内の地域レベルでの比較と国レベルでの比較のいずれも実施することができた。これらの結果、本研究ではモデルの対象を、時間・地域いずれの面でも広く取ることに成功した。

第4に、同じく研究手法上の特性として、国際要素移動と各政策への選好の間に存在する内生性の問題に対処することに成功した。パネルデータのラグ変数を用いた分析を行うことで、国際要素移動が国内の選好に与える因果関係のみを抽出することができた。結果としては、ラグ変数を取ったとしてもほとんどの変数は有意なままであり、モデルの説明力に大きな変化はなかった。

第5に、本研究は既存の研究で論争となっていた、個々の政策領域における影響の議論にも新たな検証を加えることになった。要素移動の規制政策については、既存の研究で主流だった、「要素移動がその要素における規制政策への支持を高める」という見解を支持する結果が概ね確認できた。貿易では、貿易政策と国際要素移動の代替関係について論争が存在したが、本研究では概ね、代替説を支持する結果が確認された。ポピュリズムについては、反エリート主義と反多元主義という2種類の定義について、それぞれ独自の説明を与えることに成功した。これらの結果は、一つ一つの事例を詳細に研究した先行研究よりは緻密さで劣るものの、上述の視点の新しさや対象の広さなどから、独自の地位を持って新たな検証を付け加えることに成功した。

本研究の課題についても3点述べる。第1に、経済説の持つ説明能力に一定の限界を示すことになった。本研究において、経済説の説明はそれなりに妥当したものの、一部の回帰分析においては逆の結果や曖昧な結果を残すものも存在した。また、重要な点として、本研究の結果は経済的説明のみならず、文化的説明を同時に考慮する必要性も示唆している。他変数の統制を行った際、経済と文化の影響が相まって回帰分析の結果が生じていることが示唆されていた。このことは、先行研究において経済説と文化説いずれもが存在していたことと整合している。

第2に、本研究の置いた仮定が一定の限界となっている。例えば、本研究では生産要素を労働と資本に限定しているが、多くの先行研究が高技能労働者と低技能労働者の違いに注目しているように、本来は労働要素の側に区別をつけるべきである。また、国内の要素移動は完全であるという仮定を置いたが、この点についても貿易理論の側からすれば、国内の要素が完全な場合と行われない場合の場合分けを行うべきであっただろう。そのほか、従属変数である政策領域についても、要素移動の規制や貿易、ポピュリズム以外への拡張が考えられる。特に、国際要素移動は国境を超えた活動である以上、外交政策にも影響する可能性は高いため、国際要素移動のパターンによって二国間の関係性に変化が生じることを示すことができれば、国際政治経済学のモデルとしてより完成された形に近づくことになるだろう。ただし、場合分けや拡張を過剰に行うことによってモデルが複雑になりすぎることも考えられるため、将来においても一定の限界は存在するだろう。

第3に、研究手法上の限界が存在した。例えば、本研究においては世論調査を用いた検証

を行ったため、もっぱら労働要素側の検証にとどまり、資本側での選好の変化を検証できなかった。また、世論調査の質問項目や実施年度、実施国の数などの制約にも縛られた。

以上のような限界を有しつつも、本研究は国際要素移動と政治的選好の関係について、統一的な視点を提供することができた。本研究は、近年に至るまで進行したグローバル化について研究した一連の結果に対して、新たな視点を投げかけるものになるだろう。

7. 補遺

7-1. 変数

この節では、データ分析で使用した変数について、その出典を述べる。参考のため、代表的な質問文と回答を載せる(年度による差異などの詳細は参照元となるデータセットを参照)。共通の操作として、空白のデータ(調査が行われていない年度など)は NA としている。

7-1-1. 従属変数

<ANES>

質問は、1、2 が移民政策、3 から 7 が反エリート主義、8 が貿易政策、9 から 14 が反多元主義に関わるものである。それぞれ、より規制的な立場が 1、そうでないものが 0 になるように変数を作った。なお、一部に DK が NA になるか 0 になるかの違いが生じているが、これは元のデータセットで、Valid とされているものを 0、Missing とされているものを NA にしているため生じた差異である。概ね、DK は Valid に分類されている。

変数の選択については、概ね 3 つの制約によって決定した。1 つはそもそもの質問数が少ない場合で、移民政策と貿易政策はこれにより変数が少ない。次に、実施年度による制約の場合で、FDI や移民のデータを利用できた時期とあまり重ならない質問項目は除外されている。最後に、質問項目が政策的選考に関係しない場合は除外した。これらの制約を受けない限りなるべく多くの変数を採用したため、特に反エリート主義と反多元主義は変数の数が多い。

1 decrease_immigrant

VCF0879 を使用。質問文は、「Do you think the number of immigrants from foreign countries who are permitted to come to the United States to live should be increased a little, increased a lot, decreased a little, decreased a lot, or left the same as it is now?」というもの。

「4. Decreased a little 5. Decreased a lot」を 1 とし、「1. Increased a lot 2. Increased a little 3. Same as now 8. DK」を 0、「9. NA」を NA とした。

2 immigrant_job

VCF9223 を使用。質問文は、「How likely is it that recent immigration levels will take jobs away from people already here— extremely likely, very likely, somewhat likely, or not at all likely?」というもの。「1. Extremely likely 2. Very likely」を 1 とし、「3. Somewhat likely 4. Not at all likely」を 0、「-8. DK -9. RF; NA; no Post data」を NA とした。

3 untrust_gov

VCF0604 を使用。質問文は、「People have different ideas about the government in Washington. These ideas don't refer to Democrats or Republicans in particular, but just to government in general. We want to see how you feel about these ideas. How much of the time do you think you can trust the government in Washington to do what is right – just about always, most of the time only some of the time?」 というもの。「1. None of the time/never」を 1 とし、「2. Some of the time 3. Most of the time 4. Just about always 9. DK; depends」を 0、「0. NA; no Post IW」を NA とした。

4 gov_for_few

VCF0605 を使用。質問文は、「Would you say the government is pretty much run by a few big interests looking out for themselves or that it is run for the benefit of all the people?」 というもの。「1. Few big interests」を 1 とし、「2. Benefit of all 9. DK; pro-con; depends; other; refused to choose; both」を 0、「0. NA」を NA とした。

5 gov_crooked

VCF0608 を使用。質問文は、「Do you think that quite a few of the people running the government are crooked, not very many are, or do you think hardly any of them are crooked?」 というもの。「1. Quite a few」を 1 とし、「2. Not many 3. Hardly any 9. DK」を 0、「0. NA」を NA とした。

6 gov_not_care

VCF0609 を使用。質問文は、「Now I'd like to read some of the kinds of things people tell us when we interview them. Please tell me whether you agree or disagree with these statements: 'I don't think public officials care much what people like me think.'」 というもの。「1. Agree」を 1 とし、「2. Disagree 3. Neither agree nor disagree 9. DK; not sure; it depends; can't say; refused to say」を 0、「0. NA」を NA とした。

7 gov_not_care2

VCF0624 を使用。質問文は、「How much do you feel that having elections makes the government pay attention to what the people think, a good deal, some or not much?」 というもの。「1. Not much」を 1 とし、「2. Some 3. A good deal 9. DK; other; depends; can't say」を 0、「0. NA」を NA とした。

8 limit_import

VCF9231 を使用。質問文は、「Some people have suggested placing new limits on foreign

imports in order to protect American jobs. Others say that such limits would raise consumer prices and hurt American exports. Do you favor or oppose placing new limits on imports, or haven't you thought much about this?」というもの。「1. Favor new limits」を1とし、「2. Oppose new limits」を0、「-7. Haven't thought -8. DK -9. RF; NA」をNAとした。

9 too_equal

VCF9014を使用。質問文は、「We have gone too far in pushing equal rights in this country.」というもの。「1. Agree strongly 2. Agree somewhat」を1とし、「3. Neither agree nor disagree 4. Disagree somewhat 5. Disagree strongly 8. DK」を0、「9. NA」をNAとした。

10 intolerant

VCF0854を使用。質問文は、「We should be more tolerant of people who choose to live according to their own moral standards, even if they are very different from our own.」というもの。「4. Disagree somewhat 5. Disagree strongly」を1とし、「1. Agree strongly 2. Agree somewhat 3. Neither agree nor disagree 8. DK」を0、「9. NA」をNAとした。

11 unprotect_homosexuals

VCF0876を使用。質問文は、「Do you favor or oppose laws to protect [homosexuals/gays and lesbians] against job discrimination?」というもの。「5. Oppose」を1とし、「1. Favor 8. DK」を0、「9. NA」をNAとした。

12 homosexuals_not_adoption

VCF0878を使用。質問文は、「Do you think gay or lesbian couples, in other words, homosexual couples, should be legally permitted to adopt children?」というもの。「5. No」を1とし、「1. Yes 8. DK」を0、「9. NA」をNAとした。

13 anti_abortion

VCF0838を使用。質問文は、「There has been some discussion about abortion during recent years. Which one of the opinions on this page best agrees with your view? You can just tell me the number of the opinion you choose.」というもの。「1. By law, abortion should never be permitted. 2. The law should permit abortion only in case of rape, incest, or when the woman's life is in danger. 3. The law should permit abortion for reasons other than rape, incest, or danger to the woman's life, but only after the need for the abortion has been clearly established.」を1とし、「4. By law, a woman should always be able to obtain an abortion as a matter of personal choice. 9. DK; other」を0、「0. NA」をNAとした。

14 anti_affirmative

VCF0867 を使用。質問文は、「Some people say that because of past discrimination blacks should be given preference in hiring and promotion. Others say that such preference in hiring and promotion of blacks is wrong because it gives blacks advantages they haven't earned. What about your opinion— are you for or against preferential hiring and promotion of blacks?」というもの。「5. Against」を 1 とし、「1. For 8. DK」を 0、「9. NA」を NA とした。

<WVS>

1 は移民政策、2、3 は反エリート主義、4 から 6 は反多元主義にあたる。変数の選択につき、移民政策は質問数上の制約によって決定した。反エリート主義は移民よりも質問数上の制約は小さかったものの、質問内容に鑑みて決定した。反多元主義はさらに多くの変数を取ることが可能だったが、Norris (2020) が WVS についてポピュリズムを分析する際に用いた変数を参考に、同性愛、中絶、離婚を指標とした。

1 anti_immig

E143 を使用。質問文は、「How about people from less developed countries coming here to work. Which one of the following do you think the government should do?」というもの。「3 Put strict limits on the number of foreigners who can come here 4 Prohibit people coming here from other countries」を 1 とし、「-1 Don't know 1 Let anyone come who wants to 2 Let people come as long as there are jobs available」を 0、「-5 Missing; Unknown -4 Not asked in survey -3 Not applicable -2 No answer」を NA とした。

2 trust_people

A165 を使用。質問文は、「Generally speaking, would you say that most people can be trusted or that you can't be too careful in dealing with people?」というもの。「1 Most people can be trusted」を 1 とし、「-1 Don't know 2 Can't be too careful」を 0、「-5 Missing; Other -4 Not asked in survey -3 Not applicable -2 No answer」を NA とした。

3 untrust_gov

E069_11 を使用。質問文は、「Please look at this card and tell me, for each item listed, how much confidence you have in them, is it a great deal, quite a lot, not very much or none at all? Government」というもの。「3 Not very much 4 None at all」を 1 とし、「-1 Don't know 1 A great deal 2 Quite a lot」を 0、「-5 Missing; Other -4 Not asked in survey -3 Not applicable -2 No answer」を NA とした。

4 anti_homosexuals

F118 を使用。質問文は、「Please tell me for each of the following statements whether you think it can always be justified, never be justified, or something in between, using this card. Homosexuality」というもの。「1 から 5」を 1 とし、「6 から 10、-1 Don't know」を 0、「-5 Missing: Other -4 Not asked in survey -3 Not applicable -2 No answer」を NA とした。

5 anti_abortion

F120 を使用。質問文は、「Please tell me for each of the following statements whether you think it can always be justified, never be justified, or something in between, using this card. Abortion」というもの。「1 から 5」を 1 とし、「6 から 10、-1 Don't know」を 0、「-5 Missing: Other -4 Not asked in survey -3 Not applicable -2 No answer」を NA とした。

6 anti_divorce

F121 を使用。質問文は、「Please tell me for each of the following statements whether you think it can always be justified, never be justified, or something in between, using this card. Divorce」というもの。「1 から 5」を 1 とし、「6 から 10、-1 Don't know」を 0、「-5 Missing: Other -4 Not asked in survey -3 Not applicable -2 No answer」を NA とした。

7-1-2. 説明変数

説明変数については、本文中に記載の通り。なお、説明変数について、世論調査が実施された年度と同一年度のデータがある場合にはそれを使用した。一方、同一年度のデータが存在しない場合には、データが存在している最も近い年度のデータで代用するという形をとった。例えば、1992 年の ANES の世論調査結果に対し、入移民のデータは 1990 年のものを当てている。

7-1-3. その他の説明変数

<ANES>

各変数について、表 5-2 では、1 が年齢、2 が性別、3 から 5 が人種、6 から 10 が教育、11、12 が収入、18、19 が階級、13、14 が失業、15 が経済感、16、17 が教会参加、24、25 が野党支持、20 から 23 が政党支持、26 から 29 が価値観、30 が伝統としている。

1 age

VCF0101 を使用。質問文は、「What is the month, day and year of your birth?」 というもの。数字のまま年齢を使用した。

2 male

VCF0104 を使用。質問文は、「Respondent gender」というもの。「1. Male」を 1 とし、「2. Female 3. Other」を 0、「0. NA」を NA とした。

3 white

VCF0105b を使用。質問文は、「What racial or ethnic group or groups best describes you? In addition to being American, what do you consider your main ethnic group or nationality group?」 というもの。「1. White non-Hispanic」を 1 とし、「2. Black non-Hispanic 3. Hispanic 4. Other or multiple races, non-Hispanic」を 0、「9. Missing, DK/REF/NA 0. Missing, pre-1966 data」を NA とした。

4 black

使用した質問は上に同じ。「2. Black non-Hispanic」を 1 とし、「1. White non-Hispanic 3. Hispanic 4. Other or multiple races, non-Hispanic」を 0、「9. Missing, DK/REF/NA 0. Missing, pre-1966 data」を NA とした。

5 hispanic

使用した質問は上に同じ。「3. Hispanic」を 1 とし、「1. White non-Hispanic 2. Black non-Hispanic 4. Other or multiple races, non-Hispanic」を 0、「9. Missing, DK/REF/NA 0. Missing, pre-1966 data」を NA とした。

6 educ

VCF0110 を使用。質問文は、「What is highest grade of school or year of college you have completed? Did you get a high school diploma or pass a high school equivalency test? What is the highest degree that you have earned?」 というもの。「3. Some college (13 grades or more but no degree) 4. College or advanced degree」を 1 とし、「1. Grade school or less (0-8 grades) 2. High school (12 grades or fewer, incl. non-college training if applicable)」を 0、「0. DK; NA;」を NA とした。

7 educ_jhs

使用した質問は上に同じ。「1. Grade school or less (0-8 grades)」を 1 とし、「1. Grade school or less (0-8 grades) 2. High school (12 grades or fewer, incl. non-college training if

applicable) 3. Some college (13 grades or more but no degree) 4. College or advanced degree」を 0、「0. DK; NA;」を NA とした。

8 educ_hs

使用した質問は上に同じ。「2. High school (12 grades or fewer, incl. non-college training if applicable)」を 1 とし、「1. Grade school or less (0-8 grades) 3. Some college (13 grades or more but no degree) 4. College or advanced degree」を 0、「0. DK; NA;」を NA とした。

9 educ_scoll

使用した質問は上に同じ。「3. Some college (13 grades or more but no degree)」を 1 とし、「1. Grade school or less (0-8 grades) 2. High school (12 grades or fewer, incl. non-college training if applicable) 4. College or advanced degree」を 0、「0. DK; NA;」を NA とした。

10 educ_coll

使用した質問は上に同じ。「4. College or advanced degree」を 1 とし、「1. Grade school or less (0-8 grades) 2. High school (12 grades or fewer, incl. non-college training if applicable) 3. Some college (13 grades or more but no degree)」を 0、「0. DK; NA;」を NA とした。

11 income_high

VCF0114 を使用。質問文は、「Please look at this card/page and tell me the letter of the income group that includes the income of all members of your family living here in [previous year] before taxes. This figure should include salaries, wages, pensions, dividends, interest, and all other income. What would be your best guess?」というもの。「4. 68 to 95 percentile 5. 96 to 100 percentile」を 1 とし、「1. 0 to 16 percentile 2. 17 to 33 percentile 3. 34 to 67 percentile」を 0、「0. DK; NA; refused to answer; no Pre IW」を NA とした。

12 income_low

使用した質問は上に同じ。「1. 0 to 16 percentile 2. 17 to 33 percentile」を 1 とし、「3. 34 to 67 percentile 4. 68 to 95 percentile 5. 96 to 100 percentile」を 0、「0. DK; NA; refused to answer; no Pre IW」を NA とした。

13 working

VCF0116 を使用。質問文は、「We'd like to know if you are working now, temporarily laid off, or are you unemployed, retired, permanently disabled, or what?」というもの。「1. Working now」を 1 とし、「2. Temporarily laid off 4. Unemployed 5. Retired 6. Permanently disabled 7. Homemaker 8. Student」を 0、「9. RF, NA, DK」を NA とした。

14 ue

使用した質問は上に同じ。「2. Temporarily laid off 4. Unemployed」を 1 とし、「1. Working now 5. Retired 6. Permanently disabled 7. Homemaker 8. Student」を 0、「9. RF, NA, DK」を NA とした。

15 economy_worse

VCF0870 を使用。質問文は、「How about the economy? Would you say that over the past year the nation's economy has gotten better, stayed the same or gotten worse?」というもの。

「5. Worse」を 1 とし、「1. Better 3. Stayed same」を 0、「8. DK 0. NA」を NA とした。

16 church

VCF0130 を使用。質問文は、「Lots of things come up that keep people from attending religious services even if they want to. Thinking about your life these days, do you ever attend religious services, apart from occasional weddings, baptisms or funerals? Do you go to religious services every week, almost every week, once or twice a month, a few times a year, or never?」というもの。「1. Every week (Except 1970: almost every week) 2. Almost every week (no cases in 1970) 3. Once or twice a month」を 1 とし、「4. A few times a year 5. Never (1990 and later: 'No' in filter) 7. No religious preference (1970-1988)」を 0、「8. DK how often/DK if attend 9. NA/RF how often/NA/RF if attend 0. Religion; atheists and agnostics are Inap; short-form 'new' Cross Section INAP. question not used」を NA とした。

17 church_ew

使用した質問は上に同じ。「1. Every week (Except 1970: almost every week) 2. Almost every week (no cases in 1970)」を 1 とし、「3. Once or twice a month 4. A few times a year 5. Never (1990 and later: 'No' in filter) 7. No religious preference (1970-1988)」を 0、「8. DK how often/DK if attend 9. NA/RF how often/NA/RF if attend 0. Religion; atheists and agnostics are Inap; short-form 'new' Cross Section INAP. question not used」を NA とした。

18 class_upper

VCF0148 を使用。質問文は、「There's been some talk these days about different social classes. Most people say they belong either to the middle class or the working class. Do you ever think of yourself as belonging in one of these classes? Which one?」というもの。「6. Upper middle 7. Upper class (VOLUNTEERED)」を 1 とし、「0. Lower class (VOLUNTEERED) 1. Average working 2. Working-NA average or upper working 3. Upper working 4. Average middle 5. Middle class-NA average or upper middle」を 0、「9. DK; NA;

other」を NA とした。

19 class_lower

使用した質問は上に同じ。「0. Lower class (VOLUNTEERED) 1. Average working 2. Working-NA average or upper working 3. Upper working」を 1 とし、「4. Average middle 5. Middle class-NA average or upper middle 6. Upper middle 7. Upper class (VOLUNTEERED)」を 0、「9. DK; NA; other」を NA とした。

20 DEM

VCF0301 を使用。質問文は、「Generally speaking, do you usually think of yourself as a Republican, a Democrat, an Independent, or what? Would you call yourself a strong (REP/DEM) or a not very strong (REP/DEM)? / Do you think of yourself as closer to the Republican or Democratic party?」というもの。「1. Strong Democrat 2. Weak Democrat」を 1 とし、「3. Independent - Democrat 4. Independent - Independent 5. Independent - Republican 6. Weak Republican 7. Strong Republican」を 0、「0. NA/RF initial party identification; Democrat or Republican initial party identification but DK/NA/RF strength; initial party identification independent/no preference/other/DK and followup is DK/NA/RF/other; no Pre IW」を NA とした。

21 DEM_lean

使用した質問は上に同じ。「1. Strong Democrat 2. Weak Democrat 3. Independent - Democrat」を 1 とし、「4. Independent - Independent 5. Independent - Republican 6. Weak Republican 7. Strong Republican」を 0、「0. NA/RF initial party identification; Democrat or Republican initial party identification but DK/NA/RF strength; initial party identification independent/no preference/other/DK and followup is DK/NA/RF/other; no Pre IW」を NA とした。

22 REP

使用した質問は上に同じ。「6. Weak Republican 7. Strong Republican」を 1 とし、「1. Strong Democrat 2. Weak Democrat 3. Independent - Democrat 4. Independent - Independent 5. Independent - Republican」を 0、「0. NA/RF initial party identification; Democrat or Republican initial party identification but DK/NA/RF strength; initial party identification independent/no preference/other/DK and followup is DK/NA/RF/other; no Pre IW」を NA とした。

23 REP_lean

使用した質問は上に同じ。「5. Independent - Republican 6. Weak Republican 7. Strong Republican」を 1 とし、「1. Strong Democrat 2. Weak Democrat 3. Independent – Democrat 4. Independent - Independent」を 0、「0. NA/RF initial party identification; Democrat or Republican initial party identification but DK/NA/RF strength; initial party identification independent/no preference/other/DK and followup is DK/NA/RF/other; no Pre IW」を NA とした。

24 outsider

使用した質問は上に同じ。19、21 をもとに、支持政党が大統領の政党と一致しない場合に 1 を、そうでない場合を 0 とした。

25 outsider_lean

使用した質問は上に同じ。20、22 をもとに、支持政党が大統領の政党と一致しない場合に 1 を、そうでない場合を 0 とした。

26 liberal

VCF0803 を使用。質問文は、「We hear a lot of talk these days about liberals and conservatives. Here is a 7-point scale on which the political views that people might hold are arranged from extremely liberal to extremely conservative. Where would you place yourself on this scale, or haven't you thought much about this?」というもの。「1. Extremely liberal 2. Liberal」を 1 とし、「3. Slightly liberal 4. Moderate, middle of the road 5. Slightly conservative 6. Conservative 7. Extremely conservative 9. DK; haven't thought much about it」を 0、「0. NA」を NA とした。

27 conservative

使用した質問は上に同じ。「6. Conservative 7. Extremely conservative」を 1 とし、「1. Extremely liberal 2. Liberal 3. Slightly liberal 4. Moderate, middle of the road 5. Slightly conservative 9. DK; haven't thought much about it」を 0、「0. NA」を NA とした。

28 liberal_lean

使用した質問は上に同じ。「1. Extremely liberal 2. Liberal 3. Slightly liberal」を 1 とし、「4. Moderate, middle of the road 5. Slightly conservative 6. Conservative 7. Extremely conservative 9. DK; haven't thought much about it」を 0、「0. NA」を NA とした。

29 conservative_lean

使用した質問は上に同じ。「5. Slightly conservative 6. Conservative 7. Extremely conservative」を 1 とし、「1. Extremely liberal 2. Liberal 3. Slightly liberal 4. Moderate, middle of the road 9. DK; haven't thought much about it」を 0、「0. NA」を NA とした。

30 traditional

VCF0853 を使用。質問文は、「'This country would have many fewer problems if there were more emphasis on traditional family ties.'」というもの。「1. Agree strongly 2. Agree somewhat」を 1 とし、「3. Neither agree nor disagree 4. Disagree somewhat 5. Disagree strongly 8. DK」を 0、「9. NA」を NA とした。

31 year

VCF0004 を使用。そのまま実施年として使用した。

32 state

VCF0901b を使用。そのまま州の名前として使用したが、「99. NA」のみ NA とした。

<WVS>

1 year

S020 を使用。そのまま実施年として使用した。

2 country

S009 を使用。そのまま国の名前として使用した。

7-1-4. 国の分類

WVS の分析をするにあたって、各国を資本が流入するか流出するかと、労働が流入するか流出するかで分類した。類型ごとに、回帰モデル内の FDI・移民の流入・流出を変えて分析した。

分類の基準は、以下のとおりである。まず、国ごとに、FDI の対 GDP 比と移民の対人口比について、1990 年と 2020 年の差をとった（1990 年のデータがない場合は、利用可能な最も古い年度をとった。なお、2020 年のデータも使用不能な場合は、そもそも各年度の利用可能なデータ自体が存在しなかった）。次に、FDI については 10%以上増加したものを、移民については 3%以上増加したものを変化が大きかったと認定した。このうち、FDI については、①対内 FDI が 10%未満かつ対外 FDI が 10%以上増加したものか、②対内 FDI も

対外 FDI もいずれも 10%以上増加しており、かつ、両者の違いが 10%を大きく超えない程度のもを資本流出の類型に、それ以外を資本流入の類型に分類した。移民については、①入移民が 3%未満、出移民が 3%以上増加したものか、②入移民も出移民も 3%以上増加し、かつ、両者の差が 1%程度しかないものを、労働流出の類型に、それ以外を労働流入の類型に分類した。

分類の結果は以下のとおりである。

1 資本も労働も流出したもの

HK、VE

2 資本が流出し、労働が流入したもの

AU、AZ、CA、CH、CL、CN、CY、DE、ES、FI、FR、GB、IL、IT、JP、KR、KW、LY、MY、NL、NO、PH、QA、RU、SA、SE、SG、TW、US、ZA

3 資本が流入し、労働が流出したもの

AD、AL、AM、BA、BG、BO、CO、CZ、DO、EC、EE、GE、GT、HR、HT、HU、KZ、LT、LV、MD、ME、MK、MM、MX、PE、PL、PR、RO、SK、TT、UA、UY、ZW

4 資本も労働も流入したもの

AR、BD、BF、BR、BY、DZ、EG、ET、GH、GR、ID、IN、IQ、IR、JO、KE、KG、LB、MA、ML、MN、MO、MV、NG、NI、NIR、NZ、PK、PS、RS、RW、SI、SV、TH、TJ、TN、TR、TZ、UG、UZ、VN、YE、ZM

7-2. 結果

7-2-1. モデル 1—ANES

(表 7-2-1 モデル 1—ANES—交差項)

	Dependent variable:						
	decrease_immigrant	immigrant_job	untrust_gov	gov_for_few	gov_crooked	gov_not_care	gov_not_care2
immigrate	-0.00670* (0.00378)	-0.05214*** (0.00737)	-0.01424 (0.01027)	-0.01793*** (0.00326)	-0.01467*** (0.00398)	-0.00748** (0.00322)	0.00641 (0.00475)
fdiout_s	-0.02048*** (0.00150)	-0.04987*** (0.00323)	-0.01591*** (0.00587)	0.01439*** (0.00138)	0.01384*** (0.00201)	0.00929*** (0.00133)	0.02088*** (0.00189)
immigrate:fdiout_s	-0.00017 (0.00012)	0.00114*** (0.00022)	0.00092** (0.00044)	0.00055*** (0.00011)	0.00044*** (0.00016)	0.00011 (0.00011)	-0.00036** (0.00015)
Constant	0.51477*** (0.04363)	1.41031*** (0.10827)	-1.87502*** (0.11871)	0.31216*** (0.03745)	-0.29514*** (0.04497)	0.03465 (0.03623)	-1.52948*** (0.05812)
Observations	26,426	19,610	16,800	33,027	20,283	27,848	29,536
Note:							*p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01

	Dependent variable:						
	limit_import	too_equal	intolerant	unprotect_homosexuals	homosexuals_not_adoption	anti_abortion	anti_affirmative
immigrate	-0.00285 (0.00496)	-0.00203 (0.00440)	-0.00608 (0.00450)	-0.01006** (0.00440)	-0.02998*** (0.00455)	-0.01741*** (0.00328)	0.00916** (0.00374)
fdiout_s	-0.00475** (0.00189)	-0.01697*** (0.00215)	-0.00485** (0.00200)	-0.02970*** (0.00176)	-0.05342*** (0.00180)	-0.00215* (0.00129)	-0.00420*** (0.00150)
immigrate:fdiout_s	-0.00018 (0.00015)	-0.00011 (0.00018)	-0.00013 (0.00017)	-0.00010 (0.00014)	0.00047*** (0.00014)	-0.00011 (0.00011)	-0.00043*** (0.00012)
Constant	0.49266*** (0.05903)	0.22215*** (0.04936)	-0.52707*** (0.04937)	0.24160*** (0.05166)	1.44327*** (0.05569)	0.37482*** (0.03655)	0.78280*** (0.04297)
Observations	16,655	18,044	21,648	23,948	25,587	31,385	29,164
Note:							*p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01

(表 7-2-2 モデル 1—ANES—FDI)

	Dependent variable:						
	decrease_immigrant	immigrant_job	untrust_gov	gov_for_few	gov_crooked	gov_not_care	gov_not_care2
fdiout_s	-0.02412*** (0.00088)	-0.03547*** (0.00166)	-0.00454 (0.00339)	0.01939*** (0.00080)	0.01691*** (0.00119)	0.00956*** (0.00077)	0.01647*** (0.00109)
Constant	0.48751*** (0.02661)	0.75499*** (0.05603)	-2.04551*** (0.07379)	0.15390*** (0.02306)	-0.40795*** (0.02804)	-0.01808 (0.02245)	-1.45312*** (0.03458)
Observations	26,426	19,610	16,802	33,029	20,285	27,850	29,538
Note:							*p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01

	Dependent variable:						
	limit_import	too_equal	intolerant	unprotect_homosexuals	homosexuals_not_adoption	anti_abortion	anti_affirmative
fdiout_s	-0.00785*** (0.00111)	-0.01933*** (0.00128)	-0.00831*** (0.00119)	-0.03252*** (0.00103)	-0.05070*** (0.00105)	-0.00723*** (0.00075)	-0.00901*** (0.00088)
Constant	0.48742*** (0.03587)	0.22609*** (0.03083)	-0.54273*** (0.03095)	0.17680*** (0.03139)	1.17856*** (0.03324)	0.28949*** (0.02266)	0.87965*** (0.02655)
Observations	16,656	18,046	21,650	23,950	25,591	31,389	29,168
Note:							*p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01

(表 7-2-3 モデル 1—ANES—移民)

	Dependent variable:						
	decrease_immigrant	immigrant_job	untrust_gov	gov_for_few	gov_crooked	gov_not_care	gov_not_care2
immigrate	-0.01699*** (0.00104)	-0.01443*** (0.00124)	0.00509** (0.00234)	0.01629*** (0.00082)	0.00601*** (0.00095)	0.00598*** (0.00081)	0.00551*** (0.00095)
Constant	-0.02056 (0.01410)	-0.24768*** (0.01778)	-2.14500*** (0.02407)	0.35366*** (0.00913)	-0.20086*** (0.01013)	0.06403*** (0.00899)	-1.08198*** (0.01157)
Observations	26,426	19,610	37,064	52,109	36,681	48,281	46,352
Note:							*p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01

	Dependent variable:						
	limit_import	too_equal	intolerant	unprotect_homosexuals	homosexuals_not_adoption	anti_abortion	anti_affirmative
immigrate	-0.01111*** (0.00124)	-0.01024*** (0.00110)	-0.01048*** (0.00117)	-0.02243*** (0.00118)	-0.02275*** (0.00108)	-0.02435*** (0.00084)	-0.00532*** (0.00101)
Constant	0.38625*** (0.01720)	-0.09782*** (0.01323)	-0.63643*** (0.01451)	-0.49631*** (0.01537)	-0.11450*** (0.01486)	0.37773*** (0.01058)	0.67948*** (0.01380)
Observations	17,997	24,226	25,576	25,696	25,587	40,815	30,246
Note:							*p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01

(表 7-2-4 モデル 1—ANES—FDI・移民)

	Dependent variable:						
	decrease_immigrant	immigrant_job	untrust_gov	gov_for_few	gov_crooked	gov_not_care	gov_not_care2
immigrate	-0.01156*** (0.00107)	-0.01454*** (0.00124)	0.00581* (0.00328)	-0.00254** (0.00103)	-0.00451*** (0.00121)	-0.00428*** (0.00104)	-0.00482*** (0.00117)
fdiout_s	-0.02210*** (0.00090)	-0.03560*** (0.00167)	-0.00624* (0.00352)	0.01989*** (0.00083)	0.01813*** (0.00123)	0.01041*** (0.00080)	0.01718*** (0.00110)
Constant	0.56019*** (0.02751)	0.93936*** (0.05840)	-2.06861*** (0.07521)	0.16850*** (0.02379)	-0.38855*** (0.02852)	0.00530 (0.02316)	-1.41869*** (0.03548)
Observations	26,426	19,610	16,800	33,027	20,283	27,848	29,536

Note: *p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01

	Dependent variable:						
	limit_import	too_equal	intolerant	unprotect_homosexuals	homosexuals_not_adoption	anti_abortion	anti_affirmative
immigrate	-0.00843*** (0.00132)	-0.00477*** (0.00129)	-0.00951*** (0.00131)	-0.01293*** (0.00126)	-0.01568*** (0.00111)	-0.02050*** (0.00097)	-0.00330*** (0.00106)
fdiout_s	-0.00653*** (0.00113)	-0.01807*** (0.00132)	-0.00610*** (0.00123)	-0.03066*** (0.00104)	-0.04872*** (0.00106)	-0.00316*** (0.00078)	-0.00839*** (0.00090)
Constant	0.54642*** (0.03711)	0.24698*** (0.03136)	-0.49686*** (0.03157)	0.26876*** (0.03271)	1.30288*** (0.03460)	0.40263*** (0.02337)	0.89921*** (0.02734)
Observations	16,655	18,044	21,648	23,948	25,587	31,385	29,164

Note: *p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01

※以下、表 7-2-5 から表 7-2-9 については、それぞれの従属変数を、移民・資本移動とその他の変数 1 つで回帰分析した結果を表している。煩雑さを避けるため、移民・資本移動の係数のみを抽出して表示している。縦軸が制御した変数の名前を指し、横軸が使用した従属変数を表す。なお、すべての変数を同時に回帰分析しないのは、変数ごとに質問が実施された年度が異なるため、全てを同時に行うとサンプルサイズが極端に小さくなるためである。

(表 7-2-5 モデル 1—ANES—交差項—他変数)

	untrust_gov	gov_for_few	gov_crooked	gov_not_care	gov_not_care2	too_equal	intolerant	unprotect_homosexuals	homosexuals_not_adoption	anti_abortion	anti_affirmative	limit_import	decrease_immigrant	immigrant_job
age	0.00092** (0.00044)	0.00056*** (0.00011)	0.00043*** (0.00016)	0.00012 (0.00011)	-0.00037** (0.00015)	-0.00011 (0.00018)	-0.00013 (0.00017)	-0.00010 (0.00014)	0.00045*** (0.00014)	-0.00010 (0.00011)	-0.00044*** (0.00012)	-0.00017 (0.00015)	-0.00018 (0.00012)	0.00111*** (0.00022)
male	0.00090** (0.00044)	0.00055*** (0.00011)	0.00045*** (0.00016)	0.00011 (0.00011)	-0.00036** (0.00015)	-0.00014 (0.00018)	-0.00015 (0.00017)	-0.00012 (0.00014)	0.00046*** (0.00014)	-0.00012 (0.00011)	-0.00043*** (0.00012)	-0.00018 (0.00015)	-0.00017 (0.00012)	0.00113*** (0.00022)
white	0.00090** (0.00044)	0.00057*** (0.00011)	0.00040*** (0.00016)	0.00012 (0.00011)	-0.00036** (0.00015)	-0.00005 (0.00018)	-0.00012 (0.00017)	-0.00009 (0.00014)	0.00045*** (0.00014)	-0.00010 (0.00011)	-0.00048*** (0.00013)	-0.00017 (0.00015)	-0.00017 (0.00012)	0.00118*** (0.00022)
black	0.00093** (0.00044)	0.00054*** (0.00011)	0.00043*** (0.00016)	0.00012 (0.00011)	-0.00036** (0.00015)	-0.00018 (0.00018)	-0.00016 (0.00017)	-0.00009 (0.00014)	0.00044*** (0.00014)	-0.00011 (0.00011)	-0.00045*** (0.00013)	-0.00017 (0.00015)	-0.00017 (0.00012)	0.00106*** (0.00022)
hispanic	0.00092** (0.00045)	0.00054*** (0.00011)	0.00046*** (0.00016)	0.00012 (0.00011)	-0.00036** (0.00015)	-0.00013 (0.00018)	-0.00012 (0.00017)	-0.00009 (0.00014)	0.00048*** (0.00014)	-0.00009 (0.00011)	-0.00046*** (0.00012)	-0.00017 (0.00015)	-0.00021* (0.00012)	0.00105*** (0.00022)
educ	0.00086* (0.00045)	0.00059*** (0.00011)	0.00039*** (0.00016)	0.00005 (0.00011)	-0.00043*** (0.00015)	-0.00022 (0.00018)	-0.00010 (0.00017)	-0.00011 (0.00015)	0.00048*** (0.00015)	-0.00014 (0.00011)	-0.00041*** (0.00012)	-0.00023 (0.00015)	-0.00020 (0.00012)	0.00108*** (0.00022)
educ_jhs	0.00091** (0.00045)	0.00059*** (0.00011)	0.00046*** (0.00016)	0.00007 (0.00011)	-0.00043*** (0.00015)	-0.00015 (0.00018)	-0.00010 (0.00017)	-0.00010 (0.00015)	0.00047*** (0.00015)	-0.00013 (0.00011)	-0.00039*** (0.00012)	-0.00017 (0.00015)	-0.00016 (0.00012)	0.00113*** (0.00022)
educ_hs	0.00090** (0.00045)	0.00057*** (0.00011)	0.00040*** (0.00016)	0.00008 (0.00011)	-0.00041*** (0.00015)	-0.00018 (0.00018)	-0.00011 (0.00017)	-0.00009 (0.00015)	0.00050*** (0.00015)	-0.00010 (0.00011)	-0.00044*** (0.00012)	-0.00021 (0.00015)	-0.00018 (0.00012)	0.00106*** (0.00022)
educ_scoll	0.00093** (0.00045)	0.00058*** (0.00011)	0.00048*** (0.00016)	0.00011 (0.00011)	-0.00040*** (0.00015)	-0.00014 (0.00018)	-0.00011 (0.00017)	-0.00008 (0.00015)	0.00051*** (0.00014)	-0.00008 (0.00011)	-0.00038*** (0.00012)	-0.00011 (0.00015)	-0.00013 (0.00012)	0.00116*** (0.00022)
educ_coll	0.00090** (0.00045)	0.00055*** (0.00011)	0.00040*** (0.00016)	0.00012 (0.00011)	-0.00038** (0.00015)	-0.00015 (0.00018)	-0.00011 (0.00017)	-0.00006 (0.00015)	0.00055*** (0.00015)	-0.00006 (0.00011)	-0.00045*** (0.00012)	-0.00014 (0.00016)	-0.00012 (0.00012)	0.00118*** (0.00022)
income_high	0.00092** (0.00046)	0.00054*** (0.00012)	0.00023 (0.00017)	0.00001 (0.00012)	-0.00041*** (0.00016)	-0.00007 (0.00018)	-0.00017 (0.00017)	-0.00009 (0.00015)	0.00052*** (0.00015)	-0.00012 (0.00011)	-0.00046*** (0.00013)	-0.00017 (0.00016)	-0.00016 (0.00013)	0.00117*** (0.00023)
income_low	0.00093** (0.00046)	0.00055*** (0.00012)	0.00024 (0.00017)	-0.000004 (0.00012)	-0.00043*** (0.00016)	-0.00007 (0.00018)	-0.00016 (0.00017)	-0.00012 (0.00015)	0.00049*** (0.00015)	-0.00012 (0.00011)	-0.00043*** (0.00013)	-0.00019 (0.00016)	-0.00017 (0.00013)	0.00112*** (0.00023)
working	0.00093** (0.00044)	0.00056*** (0.00011)	0.00043*** (0.00016)	0.00011 (0.00011)	-0.00037** (0.00015)	-0.00012 (0.00018)	-0.00014 (0.00017)	-0.00010 (0.00014)	0.00047*** (0.00014)	-0.00010 (0.00011)	-0.00044*** (0.00012)	-0.00017 (0.00015)	-0.00017 (0.00012)	0.00113*** (0.00022)
ue	0.00092** (0.00044)	0.00056*** (0.00011)	0.00042*** (0.00016)	0.00011 (0.00011)	-0.00037** (0.00015)	-0.00011 (0.00018)	-0.00013 (0.00017)	-0.00010 (0.00014)	0.00046*** (0.00014)	-0.00011 (0.00011)	-0.00044*** (0.00012)	-0.00018 (0.00015)	-0.00017 (0.00012)	0.00115*** (0.00022)
economy_worse	0.00088** (0.00044)	0.00056*** (0.00011)	0.00055*** (0.00016)	0.00010 (0.00011)	-0.00039*** (0.00015)	-0.00008 (0.00018)	-0.00007 (0.00017)	-0.00008 (0.00014)	0.00046*** (0.00014)	-0.00009 (0.00011)	-0.00038*** (0.00012)	-0.00015 (0.00015)	-0.00016 (0.00012)	0.00114*** (0.00022)
church	0.00095** (0.00044)	0.00054*** (0.00011)	0.00043*** (0.00016)	0.00012 (0.00011)	-0.00039** (0.00015)	-0.00013 (0.00018)	-0.00013 (0.00017)	-0.00008 (0.00015)	0.00055*** (0.00015)	-0.00004 (0.00011)	-0.00043*** (0.00012)	-0.00015 (0.00015)	-0.00018 (0.00012)	0.00115*** (0.00022)
church_ew	0.00096** (0.00045)	0.00054*** (0.00011)	0.00043*** (0.00016)	0.00012 (0.00011)	-0.00038** (0.00015)	-0.00015 (0.00018)	-0.00018 (0.00017)	-0.00010 (0.00015)	0.00053*** (0.00015)	-0.00009 (0.00011)	-0.00043*** (0.00012)	-0.00016 (0.00015)	-0.00019 (0.00012)	0.00115*** (0.00022)
class_upper	0.00047 (0.00046)	0.00040** (0.00016)	0.00011 (0.00017)	0.00005 (0.00016)	-0.00007 (0.00024)	0.00007 (0.00018)	-0.00015 (0.00018)	0.00012 (0.00021)	0.00098*** (0.00019)	0.00035** (0.00015)	-0.00012 (0.00017)	0.00023 (0.00025)	-0.00007 (0.00017)	0.00131*** (0.00034)
class_lower	0.00046 (0.00046)	0.00039** (0.00016)	0.00008 (0.00017)	0.00003 (0.00016)	-0.00009 (0.00024)	0.00009 (0.00018)	-0.00014 (0.00018)	0.00012 (0.00021)	0.00097*** (0.00019)	0.00034** (0.00015)	-0.00010 (0.00017)	0.00021 (0.00025)	-0.00007 (0.00017)	0.00123*** (0.00034)
DEM	0.00092** (0.00045)	0.00056*** (0.00011)	0.00045*** (0.00016)	0.00013 (0.00011)	-0.00032** (0.00015)	-0.00003 (0.00018)	-0.00009 (0.00017)	-0.00002 (0.00015)	0.00054*** (0.00015)	-0.00004 (0.00011)	-0.00035*** (0.00013)	-0.00015 (0.00015)	-0.00014 (0.00012)	0.00133*** (0.00022)
DEM_lean	0.00092** (0.00044)	0.00055*** (0.00011)	0.00045*** (0.00016)	0.00013 (0.00011)	-0.00032** (0.00015)	-0.00002 (0.00018)	-0.00008 (0.00017)	-0.00002 (0.00015)	0.00056*** (0.00015)	-0.00004 (0.00011)	-0.00036*** (0.00013)	-0.00013 (0.00015)	-0.00014 (0.00012)	0.00137*** (0.00022)
REP	0.00089** (0.00044)	0.00053*** (0.00011)	0.00042*** (0.00016)	0.00010 (0.00011)	-0.00039** (0.00015)	-0.00001 (0.00018)	-0.00001 (0.00017)	0.00003 (0.00015)	0.00059*** (0.00015)	0.00003 (0.00011)	-0.00031** (0.00013)	-0.00009 (0.00015)	-0.00010 (0.00012)	0.00137*** (0.00022)
REP_lean	0.00090** (0.00044)	0.00054*** (0.00011)	0.00043*** (0.00016)	0.00012 (0.00011)	-0.00037** (0.00015)	0.00006 (0.00018)	0.00003 (0.00017)	0.00003 (0.00015)	0.00061*** (0.00015)	0.00005 (0.00011)	-0.00027** (0.00013)	-0.00010 (0.00015)	-0.00010 (0.00012)	0.00140*** (0.00022)
outsider	0.00090** (0.00044)	0.00053*** (0.00011)	0.00045*** (0.00016)	0.00014 (0.00011)	-0.00033** (0.00015)	-0.00006 (0.00018)	-0.00008 (0.00017)	-0.00009 (0.00014)	0.00047*** (0.00014)	-0.00010 (0.00011)	-0.00041*** (0.00012)	-0.00012 (0.00015)	-0.00017 (0.00012)	0.00120*** (0.00022)
outsider_lean	0.00091** (0.00044)	0.00053*** (0.00011)	0.00047*** (0.00016)	0.00013 (0.00011)	-0.00034** (0.00015)	-0.00002 (0.00018)	-0.00006 (0.00017)	-0.00009 (0.00014)	0.00048*** (0.00014)	-0.00010 (0.00011)	-0.00042*** (0.00012)	-0.00009 (0.00015)	-0.00017 (0.00012)	0.00121*** (0.00022)
liberal	0.00093** (0.00045)	0.00053*** (0.00011)	0.00037** (0.00016)	0.00013 (0.00011)	-0.00033** (0.00015)	-0.00014 (0.00018)	-0.00013 (0.00017)	-0.00004 (0.00015)	0.00048*** (0.00015)	-0.00006 (0.00011)	-0.00037*** (0.00012)	-0.00017 (0.00015)	-0.00016 (0.00012)	0.00112*** (0.00022)
conservative	0.00096** (0.00045)	0.00053*** (0.00011)	0.00039** (0.00016)	0.00014 (0.00011)	-0.00037** (0.00015)	-0.00005 (0.00018)	0.00007 (0.00017)	0.00009 (0.00015)	0.00065*** (0.00015)	0.00006 (0.00011)	-0.00027** (0.00012)	-0.00012 (0.00015)	-0.00008 (0.00012)	0.00130*** (0.00022)
liberal_lean	0.00095** (0.00045)	0.00054*** (0.00011)	0.00037** (0.00016)	0.00012 (0.00011)	-0.00033** (0.00015)	-0.00014 (0.00018)	-0.00013 (0.00017)	-0.00004 (0.00015)	0.00052*** (0.00015)	-0.00008 (0.00011)	-0.00038*** (0.00012)	-0.00017 (0.00015)	-0.00017 (0.00012)	0.00113*** (0.00022)
conservative_lean	0.00093** (0.00045)	0.00053*** (0.00011)	0.00038** (0.00016)	0.00013 (0.00011)	-0.00036** (0.00015)	-0.00003 (0.00018)	0.00002 (0.00017)	0.00004 (0.00015)	0.00061*** (0.00015)	0.00008 (0.00011)	-0.00024* (0.00013)	-0.00013 (0.00015)	-0.00009 (0.00012)	0.00126*** (0.00022)
traditional	0.00061 (0.00047)	0.00048*** (0.00012)	0.00017 (0.00017)	0.00004 (0.00012)	-0.00043*** (0.00016)	-0.00006 (0.00018)	-0.00001 (0.00017)	-0.00003 (0.00015)	0.00059*** (0.00015)	-0.00002 (0.00012)	-0.00033*** (0.00012)	-0.00008 (0.00016)	-0.00010 (0.00012)	0.00112*** (0.00022)

(表 7-2-6 モデル 1—ANES—FDI—他変数)

	untrust_gov	gov_for_few	gov_crooked	gov_not_car	gov_not_car	too_equal	intolerant	unprotect_ho	homosexuals	anti_abortion	anti_affirmative	limit_import	decrease_immigrant	immigrant_job
age	-0.00444 (0.00339)	0.01915*** (0.00080)	0.01744*** (0.00119)	0.00915*** (0.00078)	0.01685*** (0.00109)	-0.02089*** (0.00129)	-0.00950*** (0.00120)	-0.03290*** (0.00103)	-0.05279*** (0.00106)	-0.00794*** (0.00076)	-0.00976*** (0.00088)	-0.00880*** (0.00111)	-0.02499*** (0.00088)	-0.03635*** (0.00167)
male	-0.00472 (0.00339)	0.01931*** (0.00080)	0.01699*** (0.00119)	0.00951*** (0.00077)	0.01642*** (0.00109)	-0.01951*** (0.00128)	-0.00844*** (0.00119)	-0.03272*** (0.00103)	-0.05108*** (0.00105)	-0.00722*** (0.00075)	-0.00905*** (0.00088)	-0.00859*** (0.00111)	-0.02408*** (0.00088)	-0.03548*** (0.00166)
white	-0.00510 (0.00342)	0.02008*** (0.00081)	0.01668*** (0.00120)	0.00962*** (0.00078)	0.01631*** (0.00109)	-0.01694*** (0.00129)	-0.00714*** (0.00120)	-0.03248*** (0.00103)	-0.05051*** (0.00105)	-0.00722*** (0.00076)	-0.00893*** (0.00092)	-0.00791*** (0.00111)	-0.02397*** (0.00088)	-0.03664*** (0.00169)
black	-0.00469 (0.00340)	0.01931*** (0.00080)	0.01664*** (0.00119)	0.00970*** (0.00078)	0.01629*** (0.00110)	-0.01841*** (0.00129)	-0.00821*** (0.00120)	-0.03240*** (0.00103)	-0.05004*** (0.00105)	-0.00737*** (0.00076)	-0.01217*** (0.00092)	-0.00772*** (0.00111)	-0.02433*** (0.00088)	-0.03401*** (0.00169)
hispanic	-0.00466 (0.00341)	0.01970*** (0.00081)	0.01757*** (0.00120)	0.00965*** (0.00078)	0.01631*** (0.00109)	-0.01920*** (0.00128)	-0.00779*** (0.00120)	-0.03251*** (0.00103)	-0.05060*** (0.00105)	-0.00734*** (0.00076)	-0.00893*** (0.00088)	-0.00786*** (0.00111)	-0.02418*** (0.00088)	-0.03799*** (0.00169)
educ	-0.00279 (0.00346)	0.01782*** (0.00083)	0.01811*** (0.00121)	0.01333*** (0.00081)	0.01925*** (0.00113)	-0.01713*** (0.00130)	-0.00888*** (0.00122)	-0.02940*** (0.00107)	-0.04720*** (0.00108)	-0.00285*** (0.00079)	-0.01192*** (0.00092)	-0.00390*** (0.00115)	-0.02064*** (0.00091)	-0.02971*** (0.00171)
educ_jhs	-0.00353 (0.00345)	0.01909*** (0.00081)	0.01659*** (0.00120)	0.01012*** (0.00078)	0.01649*** (0.00110)	-0.01866*** (0.00121)	-0.00873*** (0.00121)	-0.03242*** (0.00104)	-0.05055*** (0.00106)	-0.00696*** (0.00076)	-0.00988*** (0.00089)	-0.00776*** (0.00112)	-0.02400*** (0.00088)	-0.03567*** (0.00167)
educ_hs	-0.00395 (0.00344)	0.01853*** (0.00083)	0.01789*** (0.00121)	0.01238*** (0.00080)	0.01880*** (0.00113)	-0.01799*** (0.00129)	-0.00862*** (0.00121)	-0.02995*** (0.00106)	-0.04793*** (0.00107)	-0.00409*** (0.00078)	-0.01039*** (0.00091)	-0.00381*** (0.00115)	-0.02074*** (0.00091)	-0.02953*** (0.00171)
educ_scoll	-0.00434 (0.00343)	0.01908*** (0.00081)	0.01638*** (0.00120)	0.00963*** (0.00078)	0.01620*** (0.00110)	-0.01889*** (0.00129)	-0.00856*** (0.00121)	-0.03257*** (0.00104)	-0.05085*** (0.00106)	-0.00751*** (0.00076)	-0.00983*** (0.00089)	-0.00845*** (0.00112)	-0.02451*** (0.00089)	-0.03589*** (0.00167)
educ_coll	-0.00400 (0.00343)	0.01909*** (0.00082)	0.01806*** (0.00121)	0.01217*** (0.00080)	0.01859*** (0.00112)	-0.01845*** (0.00129)	-0.00852*** (0.00121)	-0.03063*** (0.00105)	-0.04830*** (0.00107)	-0.00463*** (0.00077)	-0.00915*** (0.00090)	-0.00401*** (0.00114)	-0.02084*** (0.00090)	-0.02940*** (0.00170)
income_high	-0.00609* (0.00345)	0.01699*** (0.00085)	0.01546*** (0.00124)	0.00676*** (0.00082)	0.01502*** (0.00118)	-0.01943*** (0.00132)	-0.00794*** (0.00123)	-0.03224*** (0.00106)	-0.05064*** (0.00108)	-0.00722*** (0.00078)	-0.01043*** (0.00091)	-0.00881*** (0.00114)	-0.02423*** (0.00090)	-0.03451*** (0.00172)
income_low	-0.00571* (0.00343)	0.01710*** (0.00085)	0.01577*** (0.00124)	0.00675*** (0.00082)	0.01494*** (0.00118)	-0.01949*** (0.00131)	-0.00791*** (0.00123)	-0.03235*** (0.00106)	-0.05062*** (0.00108)	-0.00718*** (0.00078)	-0.01057*** (0.00092)	-0.00852*** (0.00114)	-0.02425*** (0.00090)	-0.03545*** (0.00172)
working	-0.00503 (0.00340)	0.01948*** (0.00080)	0.01693*** (0.00119)	0.00947*** (0.00078)	0.01635*** (0.00109)	-0.01981*** (0.00128)	-0.00848*** (0.00119)	-0.03270*** (0.00103)	-0.05104*** (0.00105)	-0.00745*** (0.00076)	-0.00892*** (0.00088)	-0.00827*** (0.00111)	-0.02417*** (0.00088)	-0.03543*** (0.00167)
ue	-0.00500 (0.00339)	0.01941*** (0.00080)	0.01689*** (0.00119)	0.00956*** (0.00078)	0.01638*** (0.00109)	-0.01927*** (0.00128)	-0.00821*** (0.00119)	-0.03256*** (0.00103)	-0.05074*** (0.00105)	-0.00726*** (0.00075)	-0.00900*** (0.00088)	-0.00790*** (0.00111)	-0.02409*** (0.00088)	-0.03528*** (0.00167)
economy_worse	0.00077 (0.00354)	0.02115*** (0.00082)	0.01546*** (0.00125)	0.00225*** (0.00078)	0.00989*** (0.00109)	-0.01701*** (0.00132)	-0.01859*** (0.00123)	-0.00649*** (0.00104)	-0.05128*** (0.00106)	-0.00719*** (0.00076)	-0.00959*** (0.00088)	-0.00779*** (0.00111)	-0.02420*** (0.00088)	-0.03510*** (0.00167)
church	-0.00480 (0.00341)	0.01852*** (0.00081)	0.01684*** (0.00119)	0.00910*** (0.00078)	0.01525*** (0.00110)	-0.01890*** (0.00128)	-0.00618*** (0.00122)	-0.03035*** (0.00105)	-0.04816*** (0.00107)	-0.00247*** (0.00078)	-0.00890*** (0.00089)	-0.00617*** (0.00112)	-0.02356*** (0.00088)	-0.03397*** (0.00168)
church_ew	-0.00457 (0.00341)	0.01904*** (0.00081)	0.01697*** (0.00119)	0.00934*** (0.00078)	0.01578*** (0.00110)	-0.01907*** (0.00128)	-0.00681*** (0.00122)	-0.03124*** (0.00104)	-0.05015*** (0.00107)	-0.00412*** (0.00078)	-0.00861*** (0.00088)	-0.00688*** (0.00111)	-0.02385*** (0.00088)	-0.03490*** (0.00167)
class_upper	-0.00804*** (0.00341)	0.00981*** (0.00112)	0.01491*** (0.00124)	0.00022 (0.00113)	0.02905*** (0.00176)	-0.01837*** (0.00132)	-0.00796*** (0.00123)	-0.02675*** (0.00149)	-0.03487*** (0.00139)	-0.00115 (0.00104)	-0.00197 (0.00123)	-0.00788*** (0.00182)	-0.02480*** (0.00121)	-0.03754*** (0.00256)
class_lower	-0.00775** (0.00342)	0.00992*** (0.00112)	0.01513*** (0.00124)	0.00015 (0.00113)	0.02928*** (0.00177)	-0.01865*** (0.00132)	-0.00812*** (0.00123)	-0.02688*** (0.00149)	-0.04501*** (0.00139)	-0.00145 (0.00104)	-0.00202* (0.00123)	-0.00077 (0.00182)	-0.01154*** (0.00121)	-0.01837*** (0.00256)
DEM	-0.00406 (0.00340)	0.01917*** (0.00080)	0.01690*** (0.00119)	0.00963*** (0.00078)	0.01643*** (0.00110)	-0.01916*** (0.00129)	-0.00844*** (0.00120)	-0.03358*** (0.00104)	-0.05180*** (0.00106)	-0.00760*** (0.00076)	-0.00968*** (0.00090)	-0.00788*** (0.00111)	-0.02480*** (0.00088)	-0.03754*** (0.00168)
DEM_lean	-0.00403 (0.00340)	0.01922*** (0.00080)	0.01685*** (0.00119)	0.00958*** (0.00078)	0.01618*** (0.00110)	-0.01950*** (0.00130)	-0.00904*** (0.00121)	-0.03513*** (0.00105)	-0.05422*** (0.00108)	-0.00834*** (0.00077)	-0.01044*** (0.00091)	-0.00823*** (0.00111)	-0.02567*** (0.00089)	-0.04025*** (0.00170)
REP	-0.00429 (0.00340)	0.01935*** (0.00080)	0.01670*** (0.00119)	0.00972*** (0.00078)	0.01693*** (0.00110)	-0.01912*** (0.00129)	-0.00860*** (0.00121)	-0.03487*** (0.00105)	-0.05416*** (0.00107)	-0.00823*** (0.00077)	-0.01037*** (0.00091)	-0.00833*** (0.00111)	-0.02538*** (0.00089)	-0.03963*** (0.00169)
REP_lean	-0.00414 (0.00340)	0.01924*** (0.00080)	0.01674*** (0.00119)	0.00966*** (0.00078)	0.01676*** (0.00110)	-0.01893*** (0.00130)	-0.00851*** (0.00122)	-0.03485*** (0.00105)	-0.05450*** (0.00108)	-0.00809*** (0.00077)	-0.01021*** (0.00092)	-0.00804*** (0.00111)	-0.02540*** (0.00089)	-0.04001*** (0.00170)
outsider	-0.00462 (0.00342)	0.01963*** (0.00081)	0.01705*** (0.00120)	0.00958*** (0.00078)	0.01656*** (0.00110)	-0.01823*** (0.00129)	-0.00708*** (0.00121)	-0.03253*** (0.00103)	-0.05064*** (0.00105)	-0.00716*** (0.00076)	-0.00924*** (0.00088)	-0.00781*** (0.00111)	-0.02431*** (0.00088)	-0.03586*** (0.00167)
outsider_lean	-0.00409 (0.00342)	0.02011*** (0.00081)	0.01756*** (0.00120)	0.00957*** (0.00078)	0.01648*** (0.00110)	-0.01763*** (0.00129)	-0.00696*** (0.00121)	-0.03266*** (0.00103)	-0.05101*** (0.00105)	-0.00725*** (0.00076)	-0.00925*** (0.00088)	-0.00816*** (0.00111)	-0.02443*** (0.00088)	-0.03631*** (0.00168)
liberal	-0.00431 (0.00345)	0.01876*** (0.00081)	0.01803*** (0.00120)	0.01015*** (0.00078)	0.01695*** (0.00111)	-0.01795*** (0.00130)	-0.00703*** (0.00121)	-0.03113*** (0.00105)	-0.04973*** (0.00107)	-0.00384*** (0.00078)	-0.00559*** (0.00090)	-0.00648*** (0.00112)	-0.02228*** (0.00089)	-0.03401*** (0.00169)
conservative	-0.00415 (0.00345)	0.01934*** (0.00081)	0.01769*** (0.00120)	0.00930*** (0.00078)	0.01646*** (0.00110)	-0.02133*** (0.00130)	-0.01109*** (0.00123)	-0.03566*** (0.00106)	-0.05601*** (0.00109)	-0.00985*** (0.00078)	-0.01048*** (0.00090)	-0.00851*** (0.00111)	-0.02537*** (0.00088)	-0.03818*** (0.00168)
liberal_lean	-0.00400 (0.00345)	0.01873*** (0.00081)	0.01823*** (0.00120)	0.01039*** (0.00078)	0.01715*** (0.00111)	-0.01774*** (0.00130)	-0.00665*** (0.00121)	-0.03113*** (0.00106)	-0.05007*** (0.00108)	-0.00326*** (0.00078)	-0.00582*** (0.00089)	-0.00632*** (0.00112)	-0.02215*** (0.00089)	-0.03346*** (0.00169)
conservative_lean	-0.00399 (0.00344)	0.01929*** (0.00081)	0.01786*** (0.00120)	0.00947*** (0.00077)	0.01631*** (0.00110)	-0.02086*** (0.00130)	-0.01010*** (0.00123)	-0.03411*** (0.00105)	-0.05419*** (0.00109)	-0.00829*** (0.00077)	-0.00961*** (0.00090)	-0.00774*** (0.00111)	-0.02478*** (0.00088)	-0.03729*** (0.00168)
traditional	-0.00495 (0.00358)	0.01780*** (0.00090)	0.01682*** (0.00128)	0.00995*** (0.00086)	0.01341*** (0.00118)	-0.01563*** (0.00130)	-0.00306*** (0.00123)	-0.02901*** (0.00108)	-0.04658*** (0.00111)	0.00005 (0.00086)	-0.00346*** (0.00091)	-0.00227* (0.00116)	-0.01955*** (0.00090)	-0.03137*** (0.00169)

(表 7-2-7 モデル 1—ANES—移民—他変数)

	untrust_gov	gov_for_few	gov_crooked	gov_not_car	gov_not_car	too_equal	intolerant	unprotect_ho	homosexuals	anti_abortion	anti_affirmative	limit_import	decrease_immigrant	immigrant_job
age	0.00509** (0.00234)	0.01609*** (0.00082)	0.00607*** (0.00095)	0.00557*** (0.00082)	0.00555*** (0.00095)	-0.01054*** (0.00110)	-0.01069*** (0.00117)	-0.02245*** (0.00118)	-0.02279*** (0.00108)	-0.02471*** (0.00084)	-0.00541*** (0.00101)	-0.01140*** (0.00124)	-0.01710*** (0.00104)	-0.01431*** (0.00124)
male	0.00490*** (0.00235)	0.01616*** (0.00082)	0.00617*** (0.00095)	0.00589*** (0.00082)	0.00548*** (0.00096)	-0.01044*** (0.00110)	-0.01065*** (0.00117)	-0.02286*** (0.00119)	-0.02319*** (0.00108)	-0.02447*** (0.00084)	-0.00557*** (0.00102)	-0.01087*** (0.00124)	-0.01699*** (0.00104)	-0.01453*** (0.00124)
white	0.00341 (0.00239)	0.01766*** (0.00084)	0.00433*** (0.00097)	0.00447*** (0.00083)	0.00444*** (0.00098)	-0.00610*** (0.00112)	-0.00823*** (0.00119)	-0.02252*** (0.00120)	-0.02498*** (0.00110)	-0.02507*** (0.00086)	0.00278*** (0.00107)	-0.01175*** (0.00126)	-0.01471*** (0.00106)	-0.01446*** (0.00126)
black	0.00540** (0.00235)	0.01629*** (0.00082)	0.00641*** (0.00096)	0.00630*** (0.00082)	0.00550*** (0.00096)	-0.01167*** (0.00111)	-0.01101*** (0.00117)	-0.02232*** (0.00119)	-0.02184*** (0.00109)	-0.02462*** (0.00085)	-0.00998*** (0.00106)	-0.01085*** (0.00125)	-0.01721*** (0.00105)	-0.01357*** (0.00125)
hispanic	0.00516** (0.00244)	0.01896*** (0.00086)	0.00704*** (0.00100)	0.00554*** (0.00084)	0.00501*** (0.00100)	-0.00997*** (0.00114)	-0.00852*** (0.00121)	-0.02327*** (0.00123)	-0.02521*** (0.00112)	-0.02750*** (0.00087)	-0.00305*** (0.00105)	-0.01162*** (0.00128)	-0.01465*** (0.00107)	-0.01231*** (0.00128)
educ	0.00755*** (0.00240)	0.01328*** (0.00084)	0.00732*** (0.00098)	0.01048*** (0.00085)	0.00717*** (0.00099)	-0.00789*** (0.00112)	-0.01092*** (0.00119)	-0.01922*** (0.00120)	-0.02049*** (0.00110)	-0.02071*** (0.00086)	-0.00678*** (0.00103)	-0.00796*** (0.00127)	-0.01466*** (0.00106)	-0.01286*** (0.00125)
educ_jhs	0.00651*** (0.00238)	0.01516*** (0.00083)	0.00569*** (0.00097)	0.00838*** (0.00083)	0.00621*** (0.00097)	-0.00986*** (0.00111)	-0.01072*** (0.00118)	-0.02192*** (0.00119)	-0.02264*** (0.00109)	-0.02369*** (0.00085)	-0.00576*** (0.00102)	-0.01089*** (0.00125)	-0.01698*** (0.00105)	-0.01448*** (0.00124)
educ_hs	0.00582** (0.00237)	0.01505*** (0.00083)	0.00697*** (0.00096)	0.00732*** (0.00083)	0.00607*** (0.00097)	-0.00865*** (0.00111)	-0.01073*** (0.00118)	-0.01979*** (0.00120)	-0.02085*** (0.00110)	-0.02213*** (0.00086)	-0.00592*** (0.00103)	-0.00812*** (0.00127)	-0.01470*** (0.00106)	-0.01274*** (0.00125)
educ_scoll	0.00557** (0.00237)	0.01555*** (0.00082)	0.00551*** (0.00096)	0.00627*** (0.00082)	0.00514*** (0.00096)	-0.00984*** (0.00111)	-0.01065*** (0.00118)	-0.02204*** (0.00119)	-0.02273*** (0.00109)	-0.02437*** (0.00085)	-0.00567*** (0.00102)	-0.01128*** (0.00125)	-0.01716*** (0.00105)	-0.01441*** (0.00124)
educ_coll	0.00650*** (0.00237)	0.01526*** (0.00083)	0.00766*** (0.00097)	0.00898*** (0.00083)	0.00718*** (0.00097)	-0.00904*** (0.00111)	-0.01068*** (0.00118)	-0.02031*** (0.00120)	-0.02104*** (0.00110)	-0.02202*** (0.00086)	-0.00527*** (0.00102)	-0.00772*** (0.00127)	-0.01470*** (0.00106)	-0.01239*** (0.00126)
income_high	0.00760*** (0.00250)	0.01756*** (0.00086)	0.00843*** (0.00101)	0.00873*** (0.00086)	0.00720*** (0.00099)	-0.01048*** (0.00114)	-0.01054*** (0.00121)	-0.02159*** (0.00122)	-0.02118*** (0.00111)	-0.02325*** (0.00087)	-0.00684*** (0.00105)	-0.00956*** (0.00127)	-0.01601*** (0.00107)	-0.01252*** (0.00127)
income_low	0.00748*** (0.00250)	0.01722*** (0.00086)	0.00804*** (0.00101)	0.00822*** (0.00086)	0.00715*** (0.00099)	-0.01046*** (0.00114)	-0.01065*** (0.00121)	-0.02173*** (0.00122)	-0.02139*** (0.00111)	-0.02359*** (0.00087)	-0.00740*** (0.00105)	-0.01030*** (0.00127)	-0.01642*** (0.00105)	-0.01304*** (0.00126)
working	0.00324 (0.00240)	0.01138*** (0.00084)	0.00388*** (0.00097)	0.00442*** (0.00084)	0.00365*** (0.00098)	-0.01026*** (0.00110)	-0.01051*** (0.00117)	-0.02250*** (0.00119)	-0.02296*** (0.00108)	-0.02454*** (0.00084)	-0.00531*** (0.00102)	-0.01144*** (0.00124)	-0.01709*** (0.00104)	-0.01459*** (0.00124)
ue	0.00304 (0.00241)	0.01143*** (0.00084)	0.00376*** (0.00098)	0.00421*** (0.00084)	0.00347*** (0.00098)	-0.01015*** (0.00117)	-0.01026*** (0.00119)	-0.02248*** (0.00119)	-0.02283*** (0.00108)	-0.02437*** (0.00084)	-0.00505*** (0.00102)	-0.01119*** (0.00124)	-0.01702*** (0.00104)	-0.01480*** (0.00124)
economy_worse	0.00245 (0.00270)	0.00743*** (0.00092)	0.00233*** (0.00107)	0.00264*** (0.00091)	-0.00168 (0.00106)	-0.01037*** (0.00111)	-0.01048*** (0.00118)	-0.02249*** (0.00119)	-0.02265*** (0.00108)	-0.02423*** (0.00085)	-0.00544*** (0.00102)	-0.01087*** (0.00124)	-0.01712*** (0.00104)	-0.01449*** (0.00124)
church	0.00365 (0.00242)	0.01141*** (0.00084)	0.00441*** (0.00097)	0.00350*** (0.00084)	0.00249*** (0.00099)	-0.00946*** (0.00111)	-0.00684*** (0.00119)	-0.01960*** (0.00120)	-0.01854*** (0.00111)	-0.01949*** (0.00087)	-0.00516*** (0.00103)	-0.00936*** (0.00126)	-0.01624*** (0.00105)	-0.01318*** (0.00125)
church_ew	0.00402* (0.00241)	0.01200*** (0.00084)	0.00457*** (0.00097)	0.00378*** (0.00084)	0.00289*** (0.00098)	-0.00943*** (0.00111)	-0.00690*** (0.00119)	-0.02024*** (0.00120)	-0.01932*** (0.00111)	-0.02047*** (0.00087)	-0.00481*** (0.00102)	-0.00986*** (0.00125)	-0.01662*** (0.00105)	-0.01369*** (0.00125)
class_upper	0.00544** (0.00263)	0.01444*** (0.00098)	0.00892*** (0.00104)	0.00530*** (0.00103)	0.00940*** (0.00118)	-0.01126*** (0.00124)	-0.01095*** (0.00131)	-0.02210*** (0.00147)	-0.02291*** (0.00130)	-0.02132*** (0.00106)	-0.00294*** (0.00131)	-0.00803*** (0.00176)	-0.01755*** (0.00132)	-0.01694*** (0.00155)
class_lower	0.00625** (0.00263)	0.01475*** (0.00098)	0.00942*** (0.00104)	0.00621*** (0.00103)	0.00990*** (0.00118)	-0.01161*** (0.00124)	-0.01124*** (0.00131)	-0.02207*** (0.00147)	-0.02300*** (0.00130)	-0.02167*** (0.00106)	-0.00310*** (0.00131)	-0.00807*** (0.00176)	-0.01756*** (0.00132)	-0.01682*** (0.00155)
DEM	0.00512** (0.00236)	0.01619*** (0.00082)	0.00591*** (0.00096)	0.00598*** (0.00082)	0.00549*** (0.00096)	-0.01012*** (0.00111)	-0.01028*** (0.00118)	-0.02235*** (0.00120)	-0.02228*** (0.00109)	-0.02421*** (0.00085)	-0.00384*** (0.00104)	-0.01069*** (0.00124)	-0.01643*** (0.00105)	-0.01384*** (0.00125)
DEM_lean	0.00526** (0.00236)	0.01618*** (0.00082)	0.00591*** (0.00096)	0.00598*** (0.00082)	0.00561*** (0.00096)	-0.00985*** (0.00112)	-0.01011*** (0.00119)	-0.02214*** (0.00120)	-0.02191*** (0.00109)	-0.02416*** (0.00085)	-0.00340*** (0.00105)	-0.01037*** (0.00125)	-0.01625*** (0.00105)	-0.01331*** (0.00125)
REP	0.00553** (0.00236)	0.01624*** (0.00082)	0.00602*** (0.00096)	0.00606*** (0.00082)	0.00553*** (0.00096)	-0.01066*** (0.00111)	-0.01076*** (0.00119)	-0.02226*** (0.00120)	-0.02203*** (0.00109)	-0.02455*** (0.00085)	-0.00407*** (0.00104)	-0.01051*** (0.00125)	-0.01646*** (0.00105)	-0.01343*** (0.00125)
REP_lean	0.00551** (0.00236)	0.01621*** (0.00082)	0.00596*** (0.00096)	0.00602*** (0.00082)	0.00552*** (0.00096)	-0.01020*** (0.00112)	-0.01026*** (0.00119)	-0.02196*** (0.00120)	-0.02168*** (0.00109)	-0.02429*** (0.00085)	-0.00333*** (0.00105)	-0.01035*** (0.00125)	-0.01621*** (0.00105)	-0.01320*** (0.00125)
outsider	0.00510** (0.00236)	0.01651*** (0.00082)	0.00604*** (0.00096)	0.00595*** (0.00082)	0.00542*** (0.00096)	-0.01008*** (0.00110)	-0.00989*** (0.00118)	-0.02257*** (0.00119)	-0.02274*** (0.00108)	-0.02434*** (0.00084)	-0.00530*** (0.00102)	-0.01084*** (0.00124)	-0.01698*** (0.00104)	-0.01440*** (0.00124)
outsider_lean	0.00526** (0.00236)	0.01659*** (0.00082)	0.00613*** (0.00096)	0.00598*** (0.00082)	0.00549*** (0.00096)	-0.01000*** (0.00118)	-0.00984*** (0.00119)	-0.02258*** (0.00119)	-0.02277*** (0.00108)	-0.02442*** (0.00084)	-0.00530*** (0.00102)	-0.01087*** (0.00125)	-0.01701*** (0.00104)	-0.01442*** (0.00124)
liberal	0.00298 (0.00246)	0.01063*** (0.00087)	0.00420*** (0.00099)	0.00473*** (0.00086)	0.00432*** (0.00101)	-0.00803*** (0.00113)	-0.00867*** (0.00120)	-0.02116*** (0.00124)	-0.02095*** (0.00114)	-0.02092*** (0.00088)	-0.00227** (0.00105)	-0.00915*** (0.00126)	-0.01457*** (0.00106)	-0.01249*** (0.00126)
conservative	0.00348 (0.00245)	0.01176*** (0.00086)	0.00418*** (0.00099)	0.00431*** (0.00085)	0.00377*** (0.00100)	-0.01059*** (0.00113)	-0.01077*** (0.00122)	-0.02283*** (0.00124)	-0.02179*** (0.00114)	-0.02460*** (0.00087)	-0.00485*** (0.00104)	-0.01041*** (0.00125)	-0.01631*** (0.00105)	-0.01287*** (0.00125)
liberal_lean	0.00355 (0.00246)	0.01062*** (0.00087)	0.00448*** (0.00100)	0.00523*** (0.00086)	0.00465*** (0.00101)	-0.00752*** (0.00114)	-0.00825*** (0.00120)	-0.02068*** (0.00125)	-0.02054*** (0.00115)	-0.02028*** (0.00088)	-0.00242** (0.00105)	-0.00878*** (0.00126)	-0.01426*** (0.00106)	-0.01207*** (0.00126)
conservative_lean	0.00373 (0.00245)	0.01178*** (0.00086)	0.00430*** (0.00099)	0.00434*** (0.00085)	0.00377*** (0.00100)	-0.01071*** (0.00113)	-0.01087*** (0.00122)	-0.02291*** (0.00124)	-0.02224*** (0.00114)	-0.02476*** (0.00087)	-0.00469*** (0.00105)	-0.01049*** (0.00125)	-0.01637*** (0.00105)	-0.01343*** (0.00125)
traditional	0.00544* (0.00302)	0.00319*** (0.00104)	0.00153 (0.00118)	0.00100 (0.00101)	-0.00313*** (0.00117)	-0.00773*** (0.00115)	-0.00781*** (0.00119)	-0.02066*** (0.00125)	-0.02041*** (0.00117)	-0.01916*** (0.00096)	-0.00210** (0.00104)	-0.00758*** (0.00127)	-0.01413*** (0.00106)	-0.01241*** (0.00126)

(表 7-2-8 モデル 1—ANES—FDI(式 4)—他変数)

	decrease_im migrant	immigrant_j ab	untrust_gov	gov_for_few	gov_croocke d	gov_not_car e	gov_not_car e2	limit_import	too_equal	intolerant	unprotect_ho mosexuals	homosexuals _not_adoptio n	anti_abortio n	anti_affirmat ive
age	-0.02298*** (0.00090)	-0.03646*** (0.00167)	-0.00613* (0.00353)	0.01965*** (0.00083)	0.01869*** (0.00124)	0.00999*** (0.00080)	0.01760*** (0.00111)	-0.00749*** (0.00113)	-0.01969*** (0.00133)	-0.00734*** (0.00124)	-0.03105*** (0.00105)	-0.05083*** (0.00107)	-0.00387*** (0.00078)	-0.00917*** (0.00091)
male	-0.02205*** (0.00090)	-0.03561*** (0.00167)	-0.00642* (0.00353)	0.01982*** (0.00083)	0.01819*** (0.00123)	0.01039*** (0.00080)	0.01714*** (0.00111)	-0.00733*** (0.00113)	-0.01821*** (0.00132)	-0.00620*** (0.00123)	-0.03082*** (0.00105)	-0.04907*** (0.00106)	-0.00310*** (0.00078)	-0.00838*** (0.00090)
white	-0.02239*** (0.00090)	-0.03636*** (0.00169)	-0.0066* (0.00354)	0.02010*** (0.00083)	0.01792*** (0.00124)	0.01048*** (0.00080)	0.01707*** (0.00111)	-0.00656*** (0.00113)	-0.01658*** (0.00133)	-0.00553*** (0.00124)	-0.03062*** (0.00105)	-0.04823*** (0.00106)	-0.00314*** (0.00078)	-0.00992*** (0.00094)
black	-0.02230*** (0.00090)	-0.03436*** (0.00169)	-0.00654* (0.00354)	0.01987*** (0.00083)	0.01773*** (0.00124)	0.01052*** (0.00080)	0.01701*** (0.00111)	-0.00645*** (0.00113)	-0.01665*** (0.00134)	-0.00585*** (0.00123)	-0.03060*** (0.00105)	-0.04820*** (0.00106)	-0.00325*** (0.00078)	-0.01083*** (0.00095)
hispanic	-0.02264*** (0.00090)	-0.03765*** (0.00169)	-0.00626* (0.00353)	0.01959*** (0.00083)	0.01831*** (0.00124)	0.01049*** (0.00080)	0.01707*** (0.00111)	-0.00649*** (0.00113)	-0.01801*** (0.00132)	-0.00618*** (0.00123)	-0.03060*** (0.00105)	-0.04830*** (0.00106)	-0.00270*** (0.00079)	-0.00877*** (0.00091)
educ	-0.01893*** (0.00092)	-0.03004*** (0.00171)	-0.00488 (0.00359)	0.01839*** (0.00085)	0.01905*** (0.00125)	0.01385*** (0.00083)	0.01980*** (0.00114)	-0.00294*** (0.00116)	-0.01622*** (0.00134)	-0.00676*** (0.00126)	-0.02790*** (0.00108)	-0.04553*** (0.00109)	0.00073 (0.00081)	-0.01118*** (0.00094)
educ_jhs	-0.02197*** (0.00090)	-0.03583*** (0.00167)	-0.00536 (0.00358)	0.01960*** (0.00083)	0.01777*** (0.00125)	0.01093*** (0.00081)	0.01722*** (0.00111)	-0.00648*** (0.00114)	-0.01740*** (0.00134)	-0.00654*** (0.00125)	-0.03063*** (0.00105)	-0.04861*** (0.00107)	-0.00292*** (0.00079)	-0.00923*** (0.00091)
educ_hs	-0.01903*** (0.00092)	-0.02990*** (0.00171)	-0.00586 (0.00357)	0.01906*** (0.00085)	0.01884*** (0.00125)	0.01299*** (0.00083)	0.01937*** (0.00114)	-0.00286*** (0.00116)	-0.01700*** (0.00134)	-0.00649*** (0.00125)	-0.02842*** (0.00108)	-0.04623*** (0.00109)	-0.00042 (0.00081)	-0.00972*** (0.00093)
educ_scoll	-0.02248*** (0.00091)	-0.03604*** (0.00168)	-0.00612* (0.00356)	0.01958*** (0.00083)	0.01760*** (0.00125)	0.01049*** (0.00081)	0.01693*** (0.00111)	-0.00715*** (0.00114)	-0.01766*** (0.00133)	-0.00638*** (0.00124)	-0.03078*** (0.00106)	-0.04890*** (0.00107)	-0.00345*** (0.00079)	-0.00918*** (0.00091)
educ_coll	-0.01912*** (0.00092)	-0.02968*** (0.00171)	-0.00589* (0.00357)	0.01959*** (0.00084)	0.01899*** (0.00125)	0.01278*** (0.00082)	0.01914*** (0.00113)	-0.00309*** (0.00116)	-0.01736*** (0.00133)	-0.00636*** (0.00124)	-0.02903*** (0.00107)	-0.04656*** (0.00108)	-0.00088 (0.00080)	-0.00855*** (0.00092)
income_high	-0.02239*** (0.00092)	-0.03466*** (0.00172)	-0.00786** (0.00360)	0.01762*** (0.00088)	0.01647*** (0.00129)	0.00737*** (0.00085)	0.01561*** (0.00119)	-0.00775*** (0.00116)	-0.01806*** (0.00136)	-0.00570*** (0.00127)	0.03052*** (0.00108)	-0.04888*** (0.00109)	-0.00342*** (0.00081)	-0.00958*** (0.00094)
income_low	-0.02234*** (0.00092)	-0.03554*** (0.00172)	-0.00731** (0.00358)	0.01780*** (0.00088)	0.01690*** (0.00129)	0.00747*** (0.00085)	0.01554*** (0.00119)	-0.00732*** (0.00116)	-0.01813*** (0.00136)	-0.00565*** (0.00127)	-0.03060*** (0.00108)	-0.04883*** (0.00109)	-0.00329*** (0.00081)	-0.00962*** (0.00094)
working	-0.02213*** (0.00090)	-0.03556*** (0.00167)	-0.00677* (0.00353)	0.01998*** (0.00083)	0.01815*** (0.00124)	0.01033*** (0.00080)	0.01707*** (0.00111)	-0.00692*** (0.00113)	-0.01855*** (0.00133)	-0.00628*** (0.00123)	0.03084*** (0.00105)	-0.04905*** (0.00106)	-0.00334*** (0.00078)	-0.00829*** (0.00090)
ue	-0.02205*** (0.00090)	-0.03540*** (0.00167)	-0.00666* (0.00353)	0.01991*** (0.00083)	0.01814*** (0.00124)	0.01042*** (0.00080)	0.01713*** (0.00111)	-0.00657*** (0.00113)	-0.01805*** (0.00132)	-0.00607*** (0.00123)	-0.03070*** (0.00105)	-0.04876*** (0.00106)	-0.00320*** (0.00078)	-0.00843*** (0.00090)
economy_wd	-0.02215*** (0.00090)	-0.03521*** (0.00168)	-0.00092 (0.00368)	0.02177*** (0.00085)	0.02415*** (0.00130)	0.01075*** (0.00081)	0.01774*** (0.00110)	-0.00651*** (0.00113)	-0.01721*** (0.00137)	-0.00414*** (0.00127)	0.03113*** (0.00106)	-0.04931*** (0.00107)	-0.00316*** (0.00078)	-0.00898*** (0.00090)
church	-0.02171*** (0.00090)	-0.03429*** (0.00168)	-0.00641* (0.00355)	0.01915*** (0.00083)	0.01810*** (0.00124)	0.01001*** (0.00081)	0.01608*** (0.00111)	-0.00516*** (0.00114)	-0.01788*** (0.00133)	-0.00477*** (0.00125)	-0.02892*** (0.00106)	-0.04673*** (0.00108)	0.00079 (0.00081)	-0.00832*** (0.00091)
church_ew	-0.02192*** (0.00090)	-0.03512*** (0.00167)	-0.00631* (0.00355)	0.01961*** (0.00083)	0.01819*** (0.00124)	0.01023*** (0.00081)	0.01661*** (0.00111)	-0.00579*** (0.00113)	-0.01806*** (0.00133)	-0.00540*** (0.00125)	0.02972*** (0.00106)	-0.04863*** (0.00109)	-0.00074 (0.00081)	-0.00807*** (0.00091)
class_upper	-0.00798*** (0.00125)	-0.01885*** (0.00257)	-0.00958*** (0.00359)	0.01076*** (0.00117)	0.01604*** (0.00129)	0.00085 (0.00118)	0.03013*** (0.00179)	0.00098 (0.00188)	-0.01701*** (0.00137)	-0.00570*** (0.00128)	-0.02426*** (0.00152)	-0.04209*** (0.00142)	0.00378*** (0.00109)	-0.00135 (0.00127)
class_lower	-0.00801*** (0.00125)	-0.01873*** (0.00257)	-0.00944*** (0.00361)	0.01084*** (0.00117)	0.01624*** (0.00129)	0.00074 (0.00118)	0.03035*** (0.00179)	0.00102 (0.00188)	-0.01724*** (0.00137)	-0.00580*** (0.00128)	-0.02437*** (0.00152)	-0.04212*** (0.00142)	0.00355*** (0.00109)	-0.00136 (0.00127)
DEM	-0.02290*** (0.00090)	-0.03765*** (0.00169)	-0.00579 (0.00354)	0.01967*** (0.00083)	0.01814*** (0.00124)	0.01047*** (0.00080)	0.01707*** (0.00111)	-0.00665*** (0.00113)	-0.01803*** (0.00134)	-0.00636*** (0.00124)	-0.03180*** (0.00106)	-0.04990*** (0.00107)	-0.00367*** (0.00079)	-0.00941*** (0.00093)
DEM_lean	-0.02384*** (0.00091)	-0.04031*** (0.00170)	-0.00576 (0.00353)	0.01975*** (0.00083)	0.01809*** (0.00124)	0.01042*** (0.00080)	0.01682*** (0.00111)	-0.00707*** (0.00113)	-0.01847*** (0.00134)	-0.00706*** (0.00125)	-0.03344*** (0.00107)	-0.05239*** (0.00109)	-0.00447*** (0.00080)	-0.01032*** (0.00094)
REP	-0.02349*** (0.00091)	-0.03971*** (0.00170)	-0.00603* (0.00354)	0.01992*** (0.00083)	0.01798*** (0.00124)	0.01062*** (0.00080)	0.01773*** (0.00111)	-0.00716*** (0.00113)	-0.01785*** (0.00134)	-0.00647*** (0.00125)	-0.03316*** (0.00106)	-0.05231*** (0.00109)	-0.00427*** (0.00080)	-0.01011*** (0.00093)
REP_lean	-0.02357*** (0.00091)	-0.04008*** (0.00170)	-0.00586* (0.00354)	0.01979*** (0.00083)	0.01801*** (0.00124)	0.01054*** (0.00080)	0.01754*** (0.00111)	-0.00688*** (0.00113)	-0.01778*** (0.00134)	-0.00650*** (0.00125)	-0.03318*** (0.00106)	-0.05269*** (0.00109)	-0.00419*** (0.00080)	-0.01009*** (0.00094)
outsider	-0.02230*** (0.00090)	-0.03601*** (0.00168)	-0.00636* (0.00355)	0.02015*** (0.00083)	0.01831*** (0.00124)	0.01045*** (0.00080)	0.01728*** (0.00111)	-0.00655*** (0.00113)	-0.01697*** (0.00133)	-0.00499*** (0.00124)	-0.03065*** (0.00105)	-0.04867*** (0.00106)	-0.00310*** (0.00078)	-0.00864*** (0.00090)
outsider_lean	-0.02241*** (0.00090)	-0.03647*** (0.00168)	-0.00582 (0.00355)	0.02064*** (0.00084)	0.01883*** (0.00125)	0.01044*** (0.00080)	0.01720*** (0.00111)	-0.00691*** (0.00113)	-0.01639*** (0.00133)	-0.00491*** (0.00124)	-0.03079*** (0.00105)	-0.04904*** (0.00107)	-0.00318*** (0.00078)	-0.00865*** (0.00090)
liberal	-0.02064*** (0.00091)	-0.03416*** (0.00169)	-0.00611* (0.00359)	0.01932*** (0.00084)	0.01928*** (0.00125)	0.01090*** (0.00081)	0.01754*** (0.00112)	-0.00546*** (0.00114)	-0.01725*** (0.00134)	-0.00519*** (0.00125)	0.02951*** (0.00107)	-0.04806*** (0.00109)	-0.00032 (0.00080)	-0.00539*** (0.00092)
conservative	-0.02351*** (0.00090)	-0.03823*** (0.00168)	-0.00607* (0.0036)	0.01984*** (0.00084)	0.01898*** (0.00125)	0.01015*** (0.00081)	0.01722*** (0.00112)	-0.00735*** (0.00113)	-0.02029*** (0.00135)	-0.00915*** (0.00127)	-0.03397*** (0.00108)	-0.05427*** (0.00111)	-0.00609*** (0.00080)	-0.01007*** (0.00092)
liberal_lean	-0.02056*** (0.00091)	-0.03361*** (0.00170)	-0.00591* (0.00359)	0.01930*** (0.00084)	0.01941*** (0.00125)	0.01109*** (0.00081)	0.01771*** (0.00112)	-0.00535*** (0.00114)	-0.01721*** (0.00135)	-0.00491*** (0.00125)	0.02959*** (0.00107)	-0.04844*** (0.00110)	0.00013 (0.00081)	-0.00560*** (0.00092)
conservative_lean	-0.02289*** (0.00090)	-0.03738*** (0.00168)	-0.00591* (0.00359)	0.01979*** (0.00083)	0.01917*** (0.00125)	0.01033*** (0.00080)	0.01705*** (0.00111)	-0.00655*** (0.00113)	-0.01976*** (0.00135)	-0.00802*** (0.00127)	-0.03236*** (0.00107)	-0.05239*** (0.00110)	-0.00440*** (0.00080)	-0.00918*** (0.00093)
traditional	-0.01788*** (0.00091)	-0.03157*** (0.00170)	-0.00698* (0.00372)	0.01826*** (0.00093)	0.01773*** (0.00132)	0.01053*** (0.00088)	0.01416*** (0.00119)	-0.00136 (0.00118)	-0.01483*** (0.00135)	-0.00125 (0.00127)	-0.02736*** (0.00110)	-0.04486*** (0.00112)	0.00368*** (0.00089)	-0.00317*** (0.00093)

(表 7-2-9 モデル 1—ANES—移民(式 4)—他変数)

	decrease_im migrant	immigrant_j ab	untrust_gov	gov_for_few	gov_croocke d	gov_not_car e	gov_not_car e2	limit_import	too_equal	intolerant	unprotect_ho mosexuals	homosexuals _not_adoptio n	anti_abortio n	anti_affirmat ive
age	-0.01147*** (0.00107)	-0.01440*** (0.00125)	0.00575* (0.00328)	-0.00251** (0.00103)	-0.00462*** (0.00121)	-0.00424*** (0.00104)	-0.00498*** (0.00117)	-0.00839*** (0.00132)	-0.00451*** (0.00129)	-0.00925*** (0.00131)	-0.01285*** (0.00126)	-0.01542*** (0.00112)	-0.02045*** (0.00097)	-0.00314*** (0.00106)
male	-0.01156*** (0.00107)	-0.01465*** (0.00125)	0.00576* (0.00329)	-0.00261** (0.00103)	-0.00443*** (0.00121)	-0.00438*** (0.00104)	-0.00480*** (0.00117)	-0.00798*** (0.00132)	-0.00493*** (0.00129)	-0.00965*** (0.00131)	-0.01327*** (0.00127)	-0.01610*** (0.00112)	-0.02067*** (0.00097)	-0.00354*** (0.00106)
white	-0.00911*** (0.00109)	-0.01399*** (0.00126)	0.00547 (0.00333)	-0.00013 (0.00105)	-0.00492*** (0.00122)	-0.00446*** (0.00106)	-0.00516*** (0.00119)	-0.00896*** (0.00134)	-0.00145 (0.00131)	-0.00733*** (0.00133)	-0.01288*** (0.00128)	-0.01759*** (0.00113)	-0.02117*** (0.00099)	0.00523*** (0.00112)
black	-0.01182*** (0.00107)	-0.01397*** (0.00125)	0.00628* (0.00330)	-0.00290*** (0.00103)	-0.00397*** (0.00122)	-0.00416*** (0.00105)	-0.00491*** (0.00117)	-0.00818*** (0.00132)	-0.00657*** (0.00130)	-0.01015*** (0.00131)	-0.01275*** (0.00127)	-0.01498*** (0.00112)	-0.02088*** (0.00098)	-0.00735*** (0.00110)
hispanic	-0.00869*** (0.00111)	-0.01162*** (0.00129)	0.00600* (0.00339)	0.00057 (0.00107)	-0.00299** (0.00125)	-0.00431*** (0.00108)	-0.00510*** (0.00121)	-0.00883*** (0.00136)	-0.00490*** (0.00134)	-0.00735*** (0.00135)	-0.01300*** (0.00131)	-0.01734*** (0.00116)	-0.02396*** (0.00101)	-0.00085 (0.00110)
educ	-0.01055*** (0.00108)	-0.01322*** (0.00126)	0.00736** (0.00332)	-0.00309*** (0.00103)	-0.00366*** (0.00122)	-0.00288*** (0.00106)	-0.00411*** (0.00118)	-0.00666*** (0.00134)	-0.00360*** (0.00130)	-0.00977*** (0.00132)	-0.01147*** (0.00127)	-0.01472*** (0.00112)	-0.01935*** (0.00098)	-0.00436*** (0.00107)
educ_jhs	-0.01166*** (0.00107)	-0.01464*** (0.00125)	0.00628* (0.00331)	-0.00257** (0.00103)	-0.00439*** (0.00121)	-0.00414*** (0.00105)	-0.00492*** (0.00117)	-0.00827*** (0.00133)	-0.00480*** (0.00130)	-0.00950*** (0.00131)	-0.01258*** (0.00127)	-0.01575*** (0.00112)	-0.02056*** (0.00098)	-0.00349*** (0.00107)
educ_hs	-0.01052*** (0.00108)	-0.01314*** (0.00126)	0.00666** (0.00331)	-0.00282*** (0.00103)	-0.00363*** (0.00122)	-0.00329*** (0.00105)	-0.00425*** (0.00118)	-0.00668*** (0.00134)	-0.00384*** (0.00130)	-0.00967*** (0.00132)	-0.01168*** (0.00127)	-0.01493*** (0.00112)	-0.01967*** (0.00098)	-0.00385*** (0.00107)
educ_scoll	-0.01176*** (0.00107)	-0.01455*** (0.00125)	0.00616* (0.00331)	-0.00254** (0.00103)	-0.00455*** (0.00121)	-0.00436*** (0.00105)	-0.00497*** (0.00117)	-0.00836*** (0.00133)	-0.00468*** (0.00130)	-0.00954*** (0.00131)	-0.01265*** (0.00127)	-0.01580*** (0.00112)	-0.02068*** (0.00098)	-0.00346*** (0.00107)
educ_coll	-0.01029*** (0.00108)	-0.01270*** (0.00127)	0.00649** (0.00331)	-0.00262*** (0.00103)	-0.00351*** (0.00122)	-0.00320*** (0.00106)	-0.00400*** (0.00118)	-0.00620*** (0.00135)	-0.00420*** (0.00130)	-0.00958*** (0.00131)	-0.01176*** (0.00127)	-0.01479*** (0.00112)	-0.01961*** (0.00098)	-0.00340*** (0.00107)
income_high	-0.01063*** (0.00109)	-0.01268*** (0.00127)	0.00589* (0.00350)	-0.00319*** (0.00109)	-0.00371*** (0.00130)	-0.00307*** (0.00111)	-0.00409*** (0.00122)	-0.00677*** (0.00135)	-0.00520*** (0.00134)	-0.00983*** (0.00135)	-0.01222*** (0.00130)	-0.01421*** (0.00115)	-0.01932*** (0.00100)	-0.00463*** (0.00110)
income_low	-0.01104*** (0.00109)	-0.01312*** (0.00127)	0.00538 (0.00350)	-0.00355*** (0.00109)	-0.00419*** (0.00130)	-0.00356*** (0.00110)	-0.00411*** (0.00122)	-0.00767*** (0.00135)	-0.00518*** (0.00134)	-0.00990*** (0.00135)	-0.01224*** (0.00130)	-0.01444*** (0.00115)	-0.01975*** (0.00100)	-0.00517*** (0.00110)
working	-0.01165*** (0.00107)	-0.01471*** (0.00125)	0.00592* (0.00329)	-0.00258** (0.00103)	-0.00453*** (0.00121)	-0.00432*** (0.00105)	-0.00491*** (0.00117)	-0.00864*** (0.00132)	-0.00474*** (0.00129)	-0.00950*** (0.00131)	-0.01296*** (0.00126)	-0.01583*** (0.00112)	-0.02076*** (0.00097)	-0.00334*** (0.00106)
ue	-0.01158*** (0.00107)	-0.01490*** (0.00125)	0.00569* (0.00329)	-0.00253*** (0.00103)	-0.00463*** (0.00121)	-0.00433*** (0.00105)	-0.00509*** (0.00117)	-0.00850*** (0.00132)	-0.00462*** (0.00129)	-0.00926*** (0.00131)	-0.01297*** (0.00126)	-0.01571*** (0.00111)	-0.02047*** (0.00097)	-0.00301*** (0.00106)
economy_wd	-0.01171*** (0.00107)	-0.01458*** (0.00125)	0.00572* (0.00332)	-0.00312*** (0.00104)	-0.00560*** (0.00122)	-0.00435*** (0.00105)	-0.00495*** (0.00117)	-0.00823*** (0.00132)	-0.00503*** (0.00130)	-0.00996*** (0.00131)	-0.01297*** (0.00127)	-0.01558*** (0.00111)	-0.02043*** (0.00097)	-0.00327*** (0.00107)
church	-0.01121*** (0.00107)	-0.01358*** (0.00126)	0.00554* (0.00332)	-0.00342*** (0.00103)	-0.00477*** (0.00122)	-0.00482*** (0.00105)	-0.00614*** (0.00118)	-0.00700*** (0.00133)	-0.00392*** (0.00130)	-0.00627*** (0.00133)	-0.01062*** (0.00128)	-0.01196*** (0.00114)	-0.01698*** (0.00100)	-0.00329*** (0.00107)
church_ew	-0.01140*** (0.00107)	-0.01394*** (0.00125)	0.00597* (0.00332)	-0.00297*** (0.00103)	-0.00456*** (0.00122)	-0.00464*** (0.00105)	-0.00592*** (0.00118)	-0.00733*** (0.00133)	-0.00386*** (0.00130)	-0.00615*** (0.00133)	-0.01090*** (0.00127)	-0.01230*** (0.00114)	-0.01731*** (0.00100)	-0.00294*** (0.00107)
class_upper	-0.01542*** (0.00136)	-0.01708*** (0.00155)	0.00512 (0.00372)	-0.00377*** (0.00131)	-0.00407*** (0.00137)	-0.00252* (0.00139)	-0.00577*** (0.00154)	-0.00718*** (0.00197)	-0.00501*** (0.00142)	-0.00964*** (0.00141)	-0.01324*** (0.00160)	-0.01612*** (0.00133)	-0.01950*** (0.00124)	-0.00256* (0.00135)
class_lower	-0.01542*** (0.00136)	-0.01696*** (0.00155)	0.00555 (0.00373)	-0.00366*** (0.00131)	-0.00399*** (0.00137)	-0.00238* (0.00139)	-0.00569*** (0.00154)	-0.00744*** (0.00197)	-0.00523*** (0.00142)	-0.00989*** (0.00142)	-0.01330*** (0.00160)	-0.01618*** (0.00133)	-0.01973*** (0.00124)	-0.00273*** (0.00135)
DEM	-0.01077*** (0.00108)	-0.01393*** (0.00126)	0.00593* (0.00330)	-0.00253** (0.00103)	-0.00458*** (0.00121)	-0.00420*** (0.00105)	-0.00434*** (0.00117)	-0.00782*** (0.00132)	-0.00426*** (0.00131)	-0.00897*** (0.00132)	-0.01241*** (0.00128)	-0.01499*** (0.00112)	-0.01967*** (0.00098)	-0.00140 (0.00109)
DEM_lean	-0.01032*** (0.00108)	-0.01335*** (0.00126)	0.00594* (0.00330)	-0.00270*** (0.00103)	-0.00458*** (0.00121)	-0.00421*** (0.00105)	-0.00429*** (0.00117)	-0.00734*** (0.00133)	-0.00383*** (0.00131)	-0.00855*** (0.00133)	-0.01175*** (0.00128)	-0.01420*** (0.00113)	-0.01924*** (0.00099)	-0.00065 (0.00110)
REP	-0.01064*** (0.00108)	-0.01349*** (0.00126)	0.00588* (0.00330)	-0.00288*** (0.00103)	-0.00471*** (0.00121)	-0.00453*** (0.00105)	-0.00530*** (0.00117)	-0.00740*** (0.00133)	-0.00476*** (0.00131)	-0.00920*** (0.00133)	-0.01194*** (0.00128)	-0.01430*** (0.00113)	-0.01968*** (0.00099)	-0.00132 (0.00109)
REP_lean	-0.01036*** (0.00108)	-0.01325*** (0.00126)	0.00583* (0.00330)	-0.00279*** (0.00103)	-0.00471*** (0.00121)	-0.00442*** (0.00105)	-0.00518*** (0.00117)	-0.00731*** (0.00133)	-0.00431*** (0.00131)	-0.00872*** (0.00134)	-0.01160*** (0.00128)	-0.01386*** (0.00113)	-0.01934*** (0.00099)	-0.00058 (0.00111)
outsider	-0.01151*** (0.00107)	-0.01454*** (0.00125)	0.00591* (0.00330)	-0.00265** (0.00103)	-0.00466*** (0.00121)	-0.00438*** (0.00105)	-0.00488*** (0.00117)	-0.00800*** (0.00132)	-0.00476*** (0.00130)	-0.00910*** (0.00132)	-0.01305*** (0.00126)	-0.01566*** (0.00111)	-0.02051*** (0.00097)	-0.00317*** (0.00107)
outsider_lean	-0.01151*** (0.00107)	-0.01457*** (0.00125)	0.00586* (0.00329)	-0.00268*** (0.00103)	-0.00466*** (0.00121)	-0.00438*** (0.00105)	-0.00487*** (0.00117)	-0.00794*** (0.00133)	-0.00470*** (0.00130)	-0.00896*** (0.00132)	-0.01303*** (0.00126)	-0.01570*** (0.00111)	-0.02053*** (0.00097)	-0.00317*** (0.00107)
liberal	-0.00954*** (0.00108)	-0.01264*** (0.00126)	0.00607* (0.00338)	-0.00295*** (0.00106)	-0.00463*** (0.00124)	-0.00391*** (0.00106)	-0.00417*** (0.00120)	-0.00677*** (0.00133)	-0.0026* (0.00134)	-0.00797*** (0.00135)	-0.01157*** (0.00133)	-0.01378*** (0.00117)	-0.01799*** (0.00102)	-0.00111 (0.00110)
conservative	-0.01046*** (0.00107)	-0.01290*** (0.00126)	0.00641* (0.00337)	-0.00252** (0.00105)	-0.00470*** (0.00124)	-0.00423*** (0.00106)	-0.00508*** (0.00120)	-0.00724*** (0.00133)	-0.00382*** (0.00134)	-0.00838*** (0.00137)	-0.01169*** (0.00133)	-0.01335*** (0.00118)	-0.01855*** (0.00102)	-0.00159 (0.00108)
liberal_lean	-0.00926*** (0.00108)	-0.01225*** (0.00127)	0.00646* (0.00338)	-0.00302*** (0.00106)	-0.00440*** (0.00124)	-0.00365*** (0.00107)	-0.00396*** (0.00121)	-0.00641*** (0.00134)	-0.00196 (0.00134)	-0.00752*** (0.00135)	-0.01103*** (0.00133)	-0.01331*** (0.00118)	-0.01736*** (0.00103)	-0.00121 (0.00110)
conservative	-0.01071*** (0.00107)	-0.01352*** (0.00126)	0.00638* (0.00337)	-0.00250*** (0.00105)	-0.00480*** (0.00124)	-0.00434*** (0.00106)	-0.00499*** (0.00120)	-0.00761*** (0.00133)	-0.00407*** (0.00134)	-0.00897*** (0.00137)	-0.01232*** (0.00133)	-0.01430*** (0.00118)	-0.01944*** (0.00102)	-0.00227*** (0.00111)
traditional	-0.01000*** (0.00108)	-0.01264*** (0.00127)	0.00718** (0.00348)	-0.00247** (0.00111)	-0.00348*** (0.00128)	-0.00308*** (0.00110)	-0.00539*** (0.00124)	-0.00635*** (0.00134)	-0.00309** (0.00131)	-0.00798*** (0.00133)	-0.01176*** (0.00133)	-0.01348*** (0.00121)	-0.01885*** (0.00105)	-0.00159 (0.00108)

7-2-2. モデル 2—ANES

※移民・資本移動の係数のみを表示しており、時間・州のダミー変数を削除している。

(表 7-2-10 モデル 2—ANES—交差項)

		Dependent variable:						
	decrease_immigrant	immigrant_job	untrust_gov	gov_for_few	gov_crooked	gov_not_care	gov_not_care2	
immigrate	-0.00121 (0.00867)	-0.05389*** (0.01339)	-0.00170 (0.00208)	-0.02983*** (0.00813)	-0.00272 (0.01113)	-0.00931 (0.00992)	0.00646 (0.00666)	
fdiout_s	-0.00573*** (0.00179)	-0.01758*** (0.00280)	-0.00085* (0.00049)	0.00604*** (0.00162)	0.00231 (0.00260)	0.00740*** (0.00206)	0.00594*** (0.00126)	
immigrate:fdiout_s	-0.00023 (0.00016)	0.00065*** (0.00024)	0.00006 (0.00005)	0.00043*** (0.00015)	0.00024 (0.00027)	-0.00014 (0.00019)	-0.00007 (0.00012)	
Observations	354	216	379	480	379	481	416	
R ²	0.24959	0.40899	0.00966	0.13299	0.02891	0.03180	0.15210	
Note:							*p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01	

		Dependent variable:						
	limit_import	too_equal	intolerant	unprotect_homosexuals	homosexuals_not_adoption	anti_abortion	anti_affirmative	
immigrate	0.02391* (0.01243)	0.01626 (0.01050)	-0.00269 (0.00756)	-0.00896 (0.00843)	-0.02016** (0.00849)	0.00144 (0.00800)	0.00140 (0.00677)	
fdiout_s	-0.00659*** (0.00253)	-0.00356 (0.00241)	-0.00034 (0.00162)	-0.01083*** (0.00164)	-0.02092*** (0.00182)	0.00148 (0.00152)	-0.00139 (0.00128)	
immigrate:fdiout_s	0.00006 (0.00023)	-0.00048* (0.00025)	-0.00007 (0.00016)	0.00017 (0.00015)	0.00038** (0.00016)	-0.00022 (0.00015)	-0.00010 (0.00012)	
Observations	356	331	382	340	298	433	433	
R ²	0.01506	0.10014	0.02109	0.33373	0.64634	0.01722	0.03278	
Note:							*p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01	

(表 7-2-11 モデル 2—ANES—FDI)

		Dependent variable:						
	decrease_immigrant	immigrant_job	untrust_gov	gov_for_few	gov_crooked	gov_not_care	gov_not_care2	
fdiout_s	-0.01930*** (0.00117)	-0.05029*** (0.00371)	0.00043 (0.00454)	0.01744*** (0.00131)	0.02076*** (0.00173)	0.00334*** (0.00124)	0.00892*** (0.00146)	
Constant	0.48477 (0.38394)	1.93072*** (0.40697)	-5.58968 (973.50090)	3.79573 (14.91817)	-0.23214 (0.75057)	4.31621 (19.25965)	-0.72237** (0.33303)	
Observations	26,426	19,610	16,800	33,027	20,283	27,848	29,536	
Note:							*p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01	

		Dependent variable:						
	limit_import	too_equal	intolerant	unprotect_homosexuals	homosexuals_not_adoption	anti_abortion	anti_affirmative	
fdiout_s	-0.01181*** (0.00132)	-0.01808*** (0.00224)	-0.00706*** (0.00234)	-0.03272*** (0.00124)	-0.05287*** (0.00123)	-0.01160*** (0.00122)	-0.00341** (0.00170)	
Constant	1.02494** (0.50495)	0.14652 (0.75195)	0.14495 (0.63136)	-0.26275 (0.51950)	1.01908*** (0.37615)	0.45369 (0.32760)	4.45890 (17.36805)	
Observations	16,655	18,044	21,648	23,948	25,587	31,385	29,164	
Note:							*p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01	

(表 7-2-12 モデル 2—ANES—移民)

		Dependent variable:						
	decrease_immigrant	immigrant_job	untrust_gov	gov_for_few	gov_crooked	gov_not_care	gov_not_care2	
immigrate	-0.00935 (0.00998)	-0.04378* (0.02458)	0.01323 (0.00977)	-0.00057 (0.00298)	-0.00684* (0.00350)	0.00328 (0.00294)	-0.00582 (0.00385)	
Constant	0.27069 (0.38330)	0.78742* (0.40512)	-5.26197 (605.10230)	3.02522 (14.91884)	-0.59223 (0.74968)	3.37020 (12.15980)	-0.77075** (0.33249)	
Observations	26,426	19,610	37,064	52,109	36,681	48,281	46,352	
Note:							*p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01	

		Dependent variable:						
	limit_import	too_equal	intolerant	unprotect_homosexuals	homosexuals_not_adoption	anti_abortion	anti_affirmative	
immigrate	0.00663 (0.01152)	0.01596** (0.00713)	0.01890* (0.00999)	0.01325 (0.01062)	0.00162 (0.01239)	-0.00213 (0.00483)	0.03028*** (0.00934)	
Constant	0.85555* (0.50465)	-0.19208 (0.74926)	0.04128 (0.62826)	-0.67512 (0.51922)	0.37156 (0.37570)	0.35272 (0.32621)	4.40382 (17.37270)	
Observations	17,997	24,226	25,576	25,696	25,587	40,815	30,246	
Note:							*p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01	

(表 7-2-13 モデル 2—ANES—FDI・移民)

Dependent variable:							
	decrease_immigrant	immigrant_job	untrust_gov	gov_for_few	gov_crooked	gov_not_care	gov_not_care2
immigrate	-0.00935 (0.00998)	-0.04378* (0.02458)	0.06574** (0.03020)	0.00994 (0.00923)	0.00207 (0.01111)	0.00388 (0.00881)	-0.02123 (0.01357)
fdiout_s	-0.01738*** (0.00236)	-0.04110*** (0.00636)	-0.01625* (0.00897)	0.01542*** (0.00228)	0.02025*** (0.00323)	0.00256 (0.00217)	0.01322*** (0.00313)
Constant	0.48243 (0.38397)	1.91145*** (0.40723)	-5.51306 (973.49430)	3.79759 (14.91722)	-0.23029 (0.75063)	4.31658 (19.25937)	-0.72590** (0.33305)
Observations	26,426	19,610	16,800	33,027	20,283	27,848	29,536

Note: *p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01

Dependent variable:							
	limit_import	too_equal	intolerant	unprotect_homosexuals	homosexuals_not_adoption	anti_abortion	anti_affirmative
immigrate	0.01534 (0.01332)	-0.00162 (0.01179)	0.02004* (0.01165)	0.00428 (0.01242)	0.00162 (0.01239)	-0.01047 (0.00846)	0.03180*** (0.00989)
fdiout_s	-0.01499*** (0.00306)	-0.01768*** (0.00364)	-0.01170*** (0.00356)	-0.03360*** (0.00282)	-0.05320*** (0.00284)	-0.00950*** (0.00209)	-0.00987*** (0.00263)
Constant	1.02921** (0.50497)	0.14517 (0.75201)	0.15608 (0.63137)	-0.26197 (0.51950)	1.01957*** (0.37617)	0.45277 (0.32761)	4.46391 (17.37268)
Observations	16,655	18,044	21,648	23,948	25,587	31,385	29,164

Note: *p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01

7-2-3. モデル 3—ANES

(表 7-2-14 モデル 3—ANES—交差項)

		Dependent variable:						
		decrease_immigrant	immigrant_job	untrust_gov	gov_for_few	gov_crooked	gov_not_care	gov_not_care2
immigrate		-0.00121 (0.00867)	-0.05389*** (0.01339)	-0.00170 (0.00208)	-0.02983*** (0.00813)	-0.00272 (0.01113)	-0.00931 (0.00992)	0.00646 (0.00666)
fdiout_s		-0.00573*** (0.00179)	-0.01758*** (0.00280)	-0.00085* (0.00049)	0.00604*** (0.00162)	0.00231 (0.00260)	0.00740*** (0.00206)	0.00594*** (0.00126)
immigrate:fdiout_s		-0.00023 (0.00016)	0.00065*** (0.00024)	0.00006 (0.00005)	0.00043*** (0.00015)	0.00024 (0.00027)	-0.00014 (0.00019)	-0.00007 (0.00012)
Observations		354	216	379	480	379	481	416
R ²		0.24959	0.40899	0.00966	0.13299	0.02891	0.03180	0.15210
Note:		*p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01						

		Dependent variable:						
		limit_import	too_equal	intolerant	unprotect_homosexuals	homosexuals_not_adoption	anti_abortion	anti_affirmative
immigrate		0.02391* (0.01243)	0.01626 (0.01050)	-0.00269 (0.00756)	-0.00896 (0.00843)	-0.02016** (0.00849)	0.00144 (0.00800)	0.00140 (0.00677)
fdiout_s		-0.00659*** (0.00253)	-0.00356 (0.00241)	-0.00034 (0.00162)	-0.01083*** (0.00164)	-0.02092*** (0.00182)	0.00148 (0.00152)	-0.00139 (0.00128)
immigrate:fdiout_s		0.00006 (0.00023)	-0.00048* (0.00025)	-0.00007 (0.00016)	0.00017 (0.00015)	0.00038** (0.00016)	-0.00022 (0.00015)	-0.00010 (0.00012)
Observations		356	331	382	340	298	433	433
R ²		0.01506	0.10014	0.02109	0.33373	0.64634	0.01722	0.03278
Note:		*p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01						

(表 7-2-15 モデル 3—ANES—FDI)

		Dependent variable:						
		decrease_immigrant	immigrant_job	untrust_gov	gov_for_few	gov_crooked	gov_not_care	gov_not_care2
fdiout_s		-0.00875*** (0.00094)	-0.01406*** (0.00146)	-0.00048* (0.00028)	0.00615*** (0.00086)	0.00451*** (0.00147)	0.00418*** (0.00108)	0.00601*** (0.00068)
Observations		354	216	379	480	379	481	416
R ²		0.24061	0.34513	0.00616	0.10361	0.02386	0.02944	0.15084
Note:		*p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01						

		Dependent variable:						
		limit_import	too_equal	intolerant	unprotect_homosexuals	homosexuals_not_adoption	anti_abortion	anti_affirmative
fdiout_s		-0.00229* (0.00134)	-0.00579*** (0.00134)	-0.00168* (0.00088)	-0.01011*** (0.00086)	-0.01961*** (0.00095)	-0.00092 (0.00082)	-0.00233*** (0.00069)
Observations		356	331	382	340	298	433	433
R ²		0.00354	0.09921	0.02249	0.32717	0.63664	0.01220	0.03181
Note:		*p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01						

(表 7-2-16 モデル 3—ANES—移民)

		Dependent variable:						
		decrease_immigrant	immigrant_job	untrust_gov	gov_for_few	gov_crooked	gov_not_care	gov_not_care2
immigrate		-0.03414*** (0.00436)	-0.06976*** (0.01039)	-0.00042 (0.00045)	0.01931*** (0.00203)	0.01198*** (0.00236)	0.01683*** (0.00197)	0.00934*** (0.00124)
Observations		354	216	813	881	705	915	779
R ²		0.17069	0.22539	0.00108	0.11488	0.03933	0.07696	0.05736
Note:		*p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01						

		Dependent variable:						
		limit_import	too_equal	intolerant	unprotect_homosexuals	homosexuals_not_adoption	anti_abortion	anti_affirmative
immigrate		-0.00478 (0.00517)	-0.01253*** (0.00325)	-0.00814*** (0.00309)	-0.03604*** (0.00386)	-0.07048*** (0.00548)	-0.01312*** (0.00241)	-0.00530* (0.00274)
Observations		386	424	445	370	298	603	466
R ²		0.00222	0.03528	0.01350	0.22702	0.42132	0.04612	0.00803
Note:		*p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01						

(表 7-2-17 モデル 3—ANES—FDI・移民)

	Dependent variable:						
	decrease_immigrant	immigrant_job	untrust_gov	gov_for_few	gov_croocked	gov_not_care	gov_not_care2
immigrate	-0.00918 (0.00662)	-0.03170*** (0.01067)	0.00009 (0.00145)	-0.01476** (0.00623)	0.00433 (0.00775)	-0.01397* (0.00768)	0.00393 (0.00525)
fdiout_s	-0.00718*** (0.00147)	-0.01153*** (0.00166)	-0.00049 (0.00039)	0.00863*** (0.00135)	0.00370* (0.00207)	0.00650*** (0.00167)	0.00546*** (0.00100)
Observations	354	216	379	480	379	481	416
R ²	0.24317	0.38910	0.00598	0.11312	0.02598	0.03268	0.15086
Note:							*p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01

	Dependent variable:						
	limit_import	too_equal	intolerant	unprotect_homosexuals	homosexuals_not_adoption	anti_abortion	anti_affirmative
immigrate	0.02608*** (0.00984)	0.00203 (0.00746)	-0.00499 (0.00542)	-0.00275 (0.00655)	-0.00752 (0.00659)	-0.00693 (0.00572)	-0.00235 (0.00484)
fdiout_s	-0.00613*** (0.00196)	-0.00619*** (0.00199)	-0.00072 (0.00136)	-0.00969*** (0.00132)	-0.01834*** (0.00146)	0.00028 (0.00129)	-0.00192* (0.00109)
Observations	356	331	382	340	298	433	433
R ²	0.01565	0.09767	0.02035	0.32776	0.64128	0.01318	0.03026
Note:							*p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01

7-2-4. モデル 4—ANES

(表 7-2-18 モデル 4—ANES—交差項)

	Dependent variable:						
	decrease_immigrant	immigrant_job	untrust_gov	gov_for_few	gov_crooked	gov_not_care	gov_not_care2
immigrate	-0.01387** (0.00599)	-0.04841*** (0.01841)	-0.00214 (0.00140)	-0.01658*** (0.00539)	-0.00350 (0.00815)	-0.01364** (0.00634)	0.01768*** (0.00613)
fdiout_s	-0.01249*** (0.00149)	-0.01822*** (0.00231)	-0.00052 (0.00036)	0.00497*** (0.00119)	0.00417** (0.00208)	0.00567*** (0.00139)	0.00695*** (0.00133)
decrease_immigrant_lag	-0.02821 (0.05902)						
immigrant_job_lag		-0.10857 (0.07256)					
untrust_gov_lag			-0.05736 (0.04214)				
gov_for_few_lag				0.29532*** (0.04300)			
gov_crooked_lag					0.25071*** (0.06078)		
gov_not_care_lag						0.02014 (0.04412)	
gov_not_care2_lag							-0.08694* (0.05093)
immigrate:fdiout_s	0.00014 (0.00010)	0.00052*** (0.00015)	0.00005* (0.00003)	0.00021** (0.00009)	0.00015 (0.00018)	0.00004 (0.00011)	-0.00015 (0.00009)
Observations	262	165	370	467	359	474	333
R ²	0.53479	0.47631	0.03143	0.16466	0.02878	0.03970	0.22699
Note:							*p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01

	Dependent variable:						
	limit_import	too_equal	intolerant	unprotect_homosexuals	homosexuals_not_adoption	anti_abortion	anti_affirmative
immigrate	0.05820*** (0.01265)	-0.00141 (0.00664)	-0.00015 (0.00493)	-0.01590 (0.01279)	-0.04231** (0.01738)	0.00636 (0.00496)	0.00292 (0.00481)
fdiout_s	-0.00480 (0.00317)	-0.00363** (0.00168)	-0.00077 (0.00116)	-0.01124*** (0.00199)	-0.01863*** (0.00235)	-0.00250** (0.00109)	-0.00228** (0.00110)
limit_import_lag	-0.12075* (0.06561)						
too_equal_lag		0.15223*** (0.05647)					
intolerant_lag			0.00974 (0.04954)				
unprotect_homosexuals_lag				-0.14301** (0.05826)			
homosexuals_not_adoption_lag					0.06626 (0.06042)		
anti_abortion_lag						0.05699 (0.04899)	
anti_affirmative_lag							0.00583 (0.05141)
immigrate:fdiout_s	-0.00007 (0.00021)	-0.00014 (0.00013)	-0.00007 (0.00009)	0.00021 (0.00013)	0.00036** (0.00014)	-0.00010 (0.00008)	-0.00011 (0.00008)
Observations	226	265	316	180	166	376	337
R ²	0.15968	0.12013	0.01954	0.38876	0.66909	0.03264	0.07485
Note:							*p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01

(表 7-2-19 モデル 4—ANES—FDI)

	Dependent variable:						
	decrease_immigrant	immigrant_job	untrust_gov	gov_for_few	gov_crooked	gov_not_care	gov_not_care2
fdiout_s	-0.01293*** (0.00076)	-0.01328*** (0.00122)	-0.00028 (0.00019)	0.00470*** (0.00062)	0.00543*** (0.00112)	0.00376*** (0.00069)	0.00683*** (0.00077)
decrease_immigrant_lag	-0.05305 (0.05806)						
immigrant_job_lag		-0.08686 (0.07563)					
untrust_gov_lag			-0.05264 (0.04202)				
gov_for_few_lag				0.31702*** (0.04284)			
gov_crooked_lag					0.26178*** (0.05932)		
gov_not_care_lag						0.01298 (0.04420)	
gov_not_care2_lag							-0.07811 (0.05140)
Observations	262	165	370	467	359	474	333
R ²	0.52998	0.42864	0.02849	0.14716	0.02687	0.03321	0.20775
Note:							*p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01

	Dependent variable:						
	limit_import	too_equal	intolerant	unprotect_homosexuals	homosexuals_not_adoption	anti_abortion	anti_affirmative
fdiout_s	0.00072 (0.00163)	-0.00597*** (0.00087)	-0.00177*** (0.00056)	-0.00928*** (0.00095)	-0.01503*** (0.00134)	-0.00262*** (0.00052)	-0.00333*** (0.00051)
limit_import_lag	-0.07590 (0.06873)						
too_equal_lag		0.16248*** (0.05596)					
intolerant_lag			0.01187 (0.04923)				
unprotect_homosexuals_lag				-0.12474** (0.05764)			
homosexuals_not_adoption_lag					0.11796* (0.06005)		
anti_abortion_lag						0.05629 (0.04898)	
anti_affirmative_lag							0.01029 (0.05044)
Observations	226	265	316	180	166	376	337
R ²	0.05606	0.10802	0.01942	0.37677	0.63581	0.02867	0.07274
Note:							*p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01

(表 7-2-20 モデル 4—ANES—移民)

	Dependent variable:						
	decrease_immigrant	immigrant_job	untrust_gov	gov_for_few	gov_crooked	gov_not_care	gov_not_care2
immigrate	-0.04709*** (0.00391)	-0.12095*** (0.01947)	-0.00014 (0.00033)	0.01193*** (0.00144)	0.00908*** (0.00190)	0.01286*** (0.00143)	0.00780*** (0.00097)
decrease_immigrant_lag	0.12480* (0.06596)						
immigrant_job_lag		0.01628 (0.09304)					
untrust_gov_lag			0.00657 (0.03231)				
gov_for_few_lag				0.47508*** (0.02803)			
gov_crooked_lag					0.27705*** (0.04360)		
gov_not_care_lag						0.16585*** (0.03164)	
gov_not_care2_lag							0.16349*** (0.03556)
Observations	262	165	799	834	586	904	635
R ²	0.35667	0.22749	0.00015	0.27373	0.04430	0.08486	0.10586
Note:	*p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01						

	Dependent variable:						
	limit_import	too_equal	intolerant	unprotect_homosexuals	homosexuals_not_adoption	anti_abortion	anti_affirmative
immigrate	0.03593*** (0.00869)	-0.01483*** (0.00261)	-0.00539*** (0.00191)	-0.06715*** (0.01202)	-0.10214*** (0.02062)	-0.01156*** (0.00160)	-0.01220*** (0.00225)
limit_import_lag	-0.14727** (0.06534)						
too_equal_lag		0.15799*** (0.05253)					
intolerant_lag			0.02526 (0.04725)				
unprotect_homosexuals_lag				-0.06938 (0.06850)			
homosexuals_not_adoption_lag					0.36697*** (0.07117)		
anti_abortion_lag						0.09962** (0.04251)	
anti_affirmative_lag							0.04022 (0.05158)
Observations	226	325	346	180	166	504	337
R ²	0.15579	0.06956	0.01620	0.15362	0.40514	0.06478	0.04854
Note:	*p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01						

(表 7-2-21 モデル 4—ANES—FDI・移民)

	Dependent variable:						
	decrease_immigrant	immigrant_job	untrust_gov	gov_for_few	gov_crooked	gov_not_care	gov_not_care2
immigrate	-0.00958* (0.00510)	-0.03504* (0.01893)	-0.00057 (0.00106)	-0.00910** (0.00435)	0.00108 (0.00613)	-0.01216** (0.00512)	0.01265** (0.00530)
fdiout_s	-0.01123*** (0.00117)	-0.01174*** (0.00147)	-0.00016 (0.00030)	0.00642*** (0.00103)	0.00520*** (0.00170)	0.00597*** (0.00116)	0.00545*** (0.00096)
decrease_immigrant_lag	-0.04465 (0.05788)						
immigrant_job_lag		-0.11352 (0.07620)					
untrust_gov_lag			-0.05146 (0.04212)				
gov_for_few_lag				0.30786*** (0.04289)			
gov_crooked_lag					0.26138*** (0.05946)		
gov_not_care_lag						0.02038 (0.04407)	
gov_not_care2_lag							-0.08592* (0.05108)
Observations	262	165	370	467	359	474	333
R ²	0.53299	0.44050	0.02851	0.15671	0.02718	0.03962	0.21788
Note:	*p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01						

	Dependent variable:						
	limit_import	too_equal	intolerant	unprotect_homosexuals	homosexuals_not_adoption	anti_abortion	anti_affirmative
immigrate	0.05609*** (0.01105)	-0.00611 (0.00501)	-0.00258 (0.00376)	-0.01196 (0.01264)	-0.03126* (0.01725)	0.00276 (0.00398)	-0.00101 (0.00395)
fdiout_s	-0.00565*** (0.00197)	-0.00456*** (0.00145)	-0.00119 (0.00102)	-0.00861*** (0.00118)	-0.01386*** (0.00148)	-0.00316*** (0.00094)	-0.00314*** (0.00092)
limit_import_lag	-0.11773* (0.06486)						
too_equal_lag		0.15252*** (0.05649)					
intolerant_lag			0.01305 (0.04931)				
unprotect_homosexuals_lag				-0.13307** (0.05833)			
homosexuals_not_adoption_lag					0.09376 (0.06094)		
anti_abortion_lag						0.05592 (0.04902)	
anti_affirmative_lag							0.01253 (0.05128)
Observations	226	265	316	180	166	376	337
R ²	0.15679	0.11627	0.02043	0.37553	0.64615	0.02815	0.07276
Note:	*p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01						

7-2-5. モデル 1—WVS

(表 7-2-22 モデル 1—WVS—入移民・出資本—交差項)

Dependent variable:						
	anti_immig	trust_people	untrust_gov	anti_homosexuals	anti_abortion	anti_divorce
immigrate	0.00164*** (0.00052)	-0.00188** (0.00078)	0.00340*** (0.00030)	-0.00882*** (0.00032)	-0.00239*** (0.00029)	-0.00211*** (0.00028)
fdiout	-0.00032*** (0.00005)	0.00050*** (0.00010)	0.00186*** (0.00005)	-0.00177*** (0.00005)	-0.00124*** (0.00005)	-0.00163*** (0.00005)
immigrate:fdiout	0.00004*** (0.000003)	-0.00004*** (0.00001)	-0.00011*** (0.000003)	0.00010*** (0.000003)	0.00007*** (0.000003)	0.00009*** (0.000003)
Constant	-0.06677*** (0.00732)	-1.39347*** (0.01069)	-0.03001*** (0.00506)	0.43791*** (0.00520)	0.43057*** (0.00499)	0.07634*** (0.00486)
Observations	90,421	90,421	131,089	141,674	143,326	143,354

Note: *p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01

(表 7-2-23 モデル 1—WVS—入移民・出資本—FDI)

Dependent variable:						
	anti_immig	trust_people	untrust_gov	anti_homosexuals	anti_abortion	anti_divorce
fdiout	0.00033*** (0.00002)	-0.00022*** (0.00004)	0.00004** (0.00002)	-0.00021*** (0.00002)	-0.00008*** (0.00002)	-0.00021*** (0.00002)
Constant	-0.02293*** (0.00434)	-1.43148*** (0.00649)	-0.00177 (0.00361)	0.35144*** (0.00354)	0.42354*** (0.00356)	0.07239*** (0.00345)
Observations	93,648	93,648	135,546	146,131	147,785	147,808

Note: *p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01

(表 7-2-24 モデル 1—WVS—入移民・出資本—移民)

Dependent variable:						
	anti_immig	trust_people	untrust_gov	anti_homosexuals	anti_abortion	anti_divorce
immigrate	0.00677*** (0.00042)	-0.00584*** (0.00064)	-0.00240*** (0.00026)	-0.00367*** (0.00027)	0.00121*** (0.00025)	0.00197*** (0.00024)
Constant	-0.10165*** (0.00666)	-1.36346*** (0.00970)	0.03159*** (0.00478)	0.38745*** (0.00485)	0.39274*** (0.00472)	0.03043*** (0.00459)
Observations	90,421	90,421	131,089	145,035	146,687	146,715

Note: *p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01

(表 7-2-25 モデル 1—WVS—入移民・出資本—FDI・移民)

Dependent variable:						
	anti_immig	trust_people	untrust_gov	anti_homosexuals	anti_abortion	anti_divorce
immigrate	0.00550*** (0.00043)	-0.00514*** (0.00066)	-0.00254*** (0.00026)	-0.00298*** (0.00028)	0.00126*** (0.00025)	0.00240*** (0.00025)
fdiout	0.00028*** (0.00002)	-0.00016*** (0.00004)	0.00006*** (0.00002)	-0.00017*** (0.00002)	-0.00008*** (0.00002)	-0.00022*** (0.00002)
Constant	-0.10582*** (0.00667)	-1.36111*** (0.00972)	0.02910*** (0.00484)	0.37860*** (0.00491)	0.39351*** (0.00481)	0.03123*** (0.00467)
Observations	90,421	90,421	131,089	141,674	143,326	143,354

Note: *p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01

(表 7-2-26 モデル 1—WVS—出移民・入資本—交差項)

Dependent variable:						
	anti_immig	trust_people	untrust_gov	anti_homosexuals	anti_abortion	anti_divorce
emmigrate	-0.01221*** (0.00089)	0.01604*** (0.00102)	0.00032 (0.00079)	0.00382*** (0.00093)	-0.02779*** (0.00082)	-0.00855*** (0.00079)
fdiin	0.00899*** (0.00049)	-0.00300*** (0.00065)	0.00802*** (0.00044)	-0.01701*** (0.00047)	-0.01038*** (0.00046)	-0.01000*** (0.00043)
emmigrate:fdiin	0.00001 (0.00003)	-0.00015*** (0.00004)	-0.00039*** (0.00002)	0.00093*** (0.00003)	0.00079*** (0.00003)	0.00062*** (0.00002)
Constant	-0.24164*** (0.01513)	-1.20125*** (0.01888)	0.21406*** (0.01315)	0.91542*** (0.01408)	1.05859*** (0.01372)	0.41214*** (0.01306)
Observations	67,773	67,773	96,182	97,396	97,587	94,577

Note: *p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01

(表 7-2-27 モデル 1—WVS—出移民・入資本—FDI)

Dependent variable:						
	anti_immig	trust_people	untrust_gov	anti_homosexuals	anti_abortion	anti_divorce
fdiin	0.00944*** (0.00024)	-0.00598*** (0.00031)	0.00135*** (0.00020)	-0.00245*** (0.00021)	0.00142*** (0.00021)	-0.00001 (0.00020)
Constant	-0.40175*** (0.00807)	-0.96318*** (0.00990)	0.26491*** (0.00707)	0.85619*** (0.00773)	0.66847*** (0.00750)	0.24999*** (0.00707)
Observations	67,773	67,773	96,182	97,396	97,587	94,577

Note: *p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01

(表 7-2-28 モデル 1—WVS—出移民・入資本—移民)

Dependent variable:						
	anti_immig	trust_people	untrust_gov	anti_homosexuals	anti_abortion	anti_divorce
emmigrate	-0.00540*** (0.00043)	0.01027*** (0.00051)	-0.00456*** (0.00039)	0.01289*** (0.00046)	-0.00028 (0.00041)	0.00476*** (0.00039)
Constant	-0.06797*** (0.00761)	-1.27747*** (0.00968)	0.36284*** (0.00650)	0.57812*** (0.00702)	0.68071*** (0.00681)	0.15512*** (0.00650)
Observations	74,454	74,454	104,277	106,380	106,609	103,609

Note: *p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01

(表 7-2-29 モデル 1—WVS—出移民・入資本—FDI・移民)

Dependent variable:						
	anti_immig	trust_people	untrust_gov	anti_homosexuals	anti_abortion	anti_divorce
emmigrate	-0.01190*** (0.00058)	0.01292*** (0.00068)	-0.00947*** (0.00049)	0.02761*** (0.00063)	-0.00876*** (0.00052)	0.00719*** (0.00050)
fdiin	0.00919*** (0.00024)	-0.00537*** (0.00031)	0.00181*** (0.00020)	-0.00400*** (0.00023)	0.00176*** (0.00021)	-0.00032 (0.00020)
Constant	-0.24639*** (0.01101)	-1.14891*** (0.01393)	0.36765*** (0.00890)	0.58968*** (0.00963)	0.76575*** (0.00941)	0.17097*** (0.00895)
Observations	67,773	67,773	96,182	97,396	97,587	94,577

Note: *p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01

(表 7-2-30 モデル 1—WVS—入移民・入資本—交差項)

Dependent variable:						
	anti_immig	trust_people	untrust_gov	anti_homosexuals	anti_abortion	anti_divorce
immigrate	-0.01422*** (0.00106)	-0.02121*** (0.00162)	0.00417*** (0.00093)	-0.05798*** (0.00106)	-0.06931*** (0.00108)	-0.05612*** (0.00097)
fdiin	0.00120*** (0.00015)	-0.00036* (0.00019)	0.00458*** (0.00015)	-0.00314*** (0.00017)	-0.00335*** (0.00017)	-0.00504*** (0.00014)
immigrate:fdiin	0.00024*** (0.00001)	0.00002 (0.00002)	-0.00014*** (0.00001)	0.00065*** (0.00001)	0.00081*** (0.00002)	0.00068*** (0.00001)
Constant	-0.01341** (0.00629)	-1.03811*** (0.00807)	-0.17910*** (0.00532)	1.25962*** (0.00697)	1.31113*** (0.00677)	0.82807*** (0.00568)
Observations	106,695	106,695	145,388	130,880	142,834	149,094

Note: *p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01

(表 7-2-31 モデル 1—WVS—入移民・入資本—FDI)

Dependent variable:						
	anti_immig	trust_people	untrust_gov	anti_homosexuals	anti_abortion	anti_divorce
fdiin	0.00270*** (0.00012)	-0.00192*** (0.00017)	0.00294*** (0.00011)	-0.00124*** (0.00013)	-0.00073*** (0.00013)	-0.00240*** (0.00011)
Constant	-0.06755*** (0.00525)	-1.07694*** (0.00669)	-0.15156*** (0.00443)	1.05802*** (0.00567)	1.07525*** (0.00550)	0.64755*** (0.00469)
Observations	106,695	106,695	145,388	130,880	142,834	149,094

Note: *p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01

(表 7-2-32 モデル 1—WVS—入移民・入資本—移民)

Dependent variable:						
	anti_immig	trust_people	untrust_gov	anti_homosexuals	anti_abortion	anti_divorce
immigrate	0.00480*** (0.00041)	-0.01836*** (0.00070)	0.00096*** (0.00036)	-0.01339*** (0.00040)	-0.01539*** (0.00039)	-0.01227*** (0.00036)
Constant	-0.01800*** (0.00433)	-1.04494*** (0.00554)	-0.06624*** (0.00372)	1.09660*** (0.00486)	1.11026*** (0.00464)	0.63101*** (0.00391)
Observations	110,368	110,368	149,073	135,546	147,491	153,751

Note: *p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01

(表 7-2-33 モデル 1—WVS—入移民・入資本—FDI・移民)

Dependent variable:						
	anti_immig	trust_people	untrust_gov	anti_homosexuals	anti_abortion	anti_divorce
immigrate	0.00206*** (0.00044)	-0.01971*** (0.00077)	-0.00568*** (0.00041)	-0.01446*** (0.00046)	-0.01585*** (0.00046)	-0.00987*** (0.00041)
fdiin	0.00247*** (0.00013)	-0.00027 (0.00017)	0.00374*** (0.00013)	0.00091*** (0.00016)	0.00153*** (0.00016)	-0.00105*** (0.00013)
Constant	-0.07092*** (0.00530)	-1.04264*** (0.00680)	-0.14539*** (0.00446)	1.08279*** (0.00577)	1.10167*** (0.00559)	0.65988*** (0.00472)
Observations	106,695	106,695	145,388	130,880	142,834	149,094

Note: *p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01

7-2-6. モデル 2—WVS

(表 7-2-34 モデル 2—WVS—入移民・出資本—交差項)

Dependent variable:						
	anti_immig	trust_people	untrust_gov	anti_homosexuals	anti_abortion	anti_divorce
immigrate	0.02029** (0.00917)	-0.06956*** (0.01421)	-0.01978*** (0.00551)	-0.01062* (0.00559)	-0.03287*** (0.00537)	-0.01137** (0.00535)
fdiout	0.00113 (0.00182)	0.00811*** (0.00282)	0.00011 (0.00036)	-0.00089** (0.00039)	-0.00311*** (0.00037)	-0.00260*** (0.00037)
immigrate:fdiout	-0.00032*** (0.00006)	0.00003 (0.00009)	0.00001 (0.00001)	0.00006*** (0.00001)	0.00016*** (0.00001)	0.00011*** (0.00001)
Constant	-0.50967** (0.20652)	-0.25678 (0.31844)	0.75915*** (0.12663)	0.83547*** (0.12984)	0.47513*** (0.12648)	0.04300 (0.12690)
Observations	60,273	60,273	82,790	84,824	86,339	86,343

Note: *p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01

(表 7-2-35 モデル 2—WVS—入移民・出資本—FDI)

Dependent variable:						
	anti_immig	trust_people	untrust_gov	anti_homosexuals	anti_abortion	anti_divorce
fdiout	-0.00722*** (0.00091)	0.00770*** (0.00146)	0.00032** (0.00014)	0.00079*** (0.00015)	0.00099*** (0.00015)	0.00048*** (0.00014)
Constant	-0.07439*** (0.02792)	-1.79525*** (0.04543)	0.32736*** (0.03307)	0.63711*** (0.03291)	-0.18491*** (0.03002)	-0.15282*** (0.02920)
Observations	60,273	60,273	82,790	84,824	86,339	86,343

Note: *p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01

(表 7-2-36 モデル 2—WVS—入移民・出資本—移民)

Dependent variable:						
	anti_immig	trust_people	untrust_gov	anti_homosexuals	anti_abortion	anti_divorce
immigrate	0.01018 (0.00909)	-0.05706*** (0.01402)	-0.01763*** (0.00547)	-0.00661 (0.00554)	-0.02732*** (0.00533)	-0.00869 (0.00531)
Constant	-0.41542** (0.20612)	-0.40111 (0.31634)	0.72382*** (0.12589)	1.07703*** (0.14434)	1.33700*** (0.14054)	0.68379*** (0.13939)
Observations	60,273	60,273	82,790	86,224	87,739	87,743

Note: *p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01

(表 7-2-37 モデル 2—WVS—入移民・出資本—FDI・移民)

Dependent variable:						
	anti_immig	trust_people	untrust_gov	anti_homosexuals	anti_abortion	anti_divorce
immigrate	0.02024** (0.00917)	-0.06979*** (0.01418)	-0.01961*** (0.00551)	-0.01054* (0.00559)	-0.03194*** (0.00536)	-0.01098** (0.00535)
fdiout	-0.00750*** (0.00092)	0.00883*** (0.00149)	0.00039*** (0.00014)	0.00083*** (0.00015)	0.00109*** (0.00015)	0.00052*** (0.00014)
Constant	-0.52604** (0.20665)	-0.24878 (0.31711)	0.76270*** (0.12656)	0.87377*** (0.12965)	0.54638*** (0.12635)	0.10048 (0.12674)
Observations	60,273	60,273	82,790	84,824	86,339	86,343

Note: *p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01

(表 7-2-38 モデル 2—WVS—出移民・入資本—交差項)

	Dependent variable:					
	anti_immig	trust_people	untrust_gov	anti_homosexuals	anti_abortion	anti_divorce
emmigrate	-0.02889*** (0.00596)	0.05758*** (0.00858)	-0.03406*** (0.00446)	-0.03378*** (0.00507)	0.00916** (0.00451)	-0.01476*** (0.00413)
fdiin	-0.00777*** (0.00225)	0.01193*** (0.00331)	0.01153*** (0.00119)	-0.01421*** (0.00143)	-0.00978*** (0.00129)	-0.00751*** (0.00121)
emmigrate:fdiin	0.00097*** (0.00011)	-0.00142*** (0.00018)	-0.00045*** (0.00005)	0.00076*** (0.00007)	0.00054*** (0.00006)	0.00041*** (0.00005)
Constant	0.02246 (0.15699)	-2.38367*** (0.21255)	1.54773*** (0.12347)	1.95996*** (0.13287)	-0.57497*** (0.12155)	0.18190* (0.11055)
Observations	67,773	67,773	96,182	97,396	97,587	94,577

Note: *p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01

(表 7-2-39 モデル 2—WVS—出移民・入資本—FDI)

	Dependent variable:					
	anti_immig	trust_people	untrust_gov	anti_homosexuals	anti_abortion	anti_divorce
fdiin	0.00959*** (0.00126)	-0.01121*** (0.00170)	0.00235*** (0.00082)	-0.00276*** (0.00091)	-0.00045 (0.00087)	-0.00122 (0.00089)
Constant	-0.57917*** (0.04247)	-1.13066*** (0.05098)	0.56811*** (0.05511)	1.27032*** (0.06123)	-0.22785*** (0.05386)	-0.10366** (0.05141)
Observations	67,773	67,773	96,182	97,396	97,587	94,577

Note: *p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01

(表 7-2-40 モデル 2—WVS—出移民・入資本—移民)

	Dependent variable:					
	anti_immig	trust_people	untrust_gov	anti_homosexuals	anti_abortion	anti_divorce
emmigrate	-0.01228*** (0.00344)	0.01716*** (0.00437)	-0.02632*** (0.00326)	-0.00430 (0.00340)	0.02452*** (0.00335)	-0.00523* (0.00301)
Constant	0.07545 (0.05959)	-2.65941*** (0.08874)	0.48165*** (0.04886)	0.13221 (0.08199)	-0.23704*** (0.06617)	-0.55650*** (0.06651)
Observations	74,454	74,454	104,277	106,380	106,609	103,609

Note: *p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01

(表 7-2-41 モデル 2—WVS—出移民・入資本—FDI・移民)

	Dependent variable:					
	anti_immig	trust_people	untrust_gov	anti_homosexuals	anti_abortion	anti_divorce
emmigrate	0.01025** (0.00416)	0.00419 (0.00537)	-0.05062*** (0.00404)	-0.00526 (0.00426)	0.02902*** (0.00397)	-0.00005 (0.00364)
fdiin	0.00933*** (0.00126)	-0.01133*** (0.00171)	0.00416*** (0.00084)	-0.00267*** (0.00091)	-0.00091 (0.00087)	-0.00122 (0.00089)
Constant	-0.86467*** (0.12349)	-1.24768*** (0.15868)	1.87184*** (0.11787)	1.40015*** (0.12141)	-0.96420*** (0.11414)	-0.10247 (0.10397)
Observations	67,773	67,773	96,182	97,396	97,587	94,577

Note: *p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01

(表 7-2-42 モデル 2—WVS—入移民・入資本—交差項)

	Dependent variable:					
	anti_immig	trust_people	untrust_gov	anti_homosexuals	anti_abortion	anti_divorce
immigrate	0.02431*** (0.00546)	-0.04708*** (0.00837)	-0.05803*** (0.00442)	0.03015*** (0.00717)	0.02867*** (0.00589)	0.00538 (0.00508)
fdiin	-0.00660*** (0.00125)	0.00802*** (0.00151)	0.00500*** (0.00109)	-0.00360** (0.00171)	0.00195 (0.00139)	-0.00374*** (0.00112)
immigrate:fdiin	0.00008** (0.00004)	-0.00018*** (0.00006)	-0.00006 (0.00004)	0.00026*** (0.00008)	-0.00001 (0.00005)	0.00005 (0.00004)
Constant	-0.17824*** (0.04482)	-1.30014*** (0.06286)	1.04344*** (0.03969)	0.49095*** (0.05690)	0.41420*** (0.04677)	-0.16320*** (0.04115)
Observations	106,695	106,695	145,388	130,880	142,834	149,094

Note: *p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01

(表 7-2-43 モデル 2—WVS—入移民・入資本—FDI)

<i>Dependent variable:</i>						
	anti_immig	trust_people	untrust_gov	anti_homosexuals	anti_abortion	anti_divorce
fdiin	-0.00442*** (0.00075)	0.00437*** (0.00111)	0.00366*** (0.00068)	-0.00014 (0.00127)	0.00163 (0.00102)	-0.00262*** (0.00078)
Constant	-0.09972*** (0.03301)	-1.45522*** (0.04665)	0.78733*** (0.03332)	0.59922*** (0.04309)	0.54063*** (0.03698)	-0.14758*** (0.03373)
Observations	106,695	106,695	145,388	130,880	142,834	149,094

Note: *p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01

(表 7-2-44 モデル 2—WVS—入移民・入資本—移民)

<i>Dependent variable:</i>						
	anti_immig	trust_people	untrust_gov	anti_homosexuals	anti_abortion	anti_divorce
immigrate	0.01941*** (0.00528)	-0.03564*** (0.00815)	-0.06175*** (0.00420)	0.05038*** (0.00668)	0.02621*** (0.00551)	0.00639 (0.00480)
Constant	-0.26112*** (0.03825)	-1.16950*** (0.05446)	1.05158*** (0.03707)	0.28853*** (0.04748)	0.36821*** (0.04113)	-0.23740*** (0.03702)
Observations	110,368	110,368	149,073	135,546	147,491	153,751

Note: *p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01

(表 7-2-45 モデル 2—WVS—入移民・入資本—FDI・移民)

<i>Dependent variable:</i>						
	anti_immig	trust_people	untrust_gov	anti_homosexuals	anti_abortion	anti_divorce
immigrate	0.02650*** (0.00536)	-0.05116*** (0.00827)	-0.05998*** (0.00423)	0.03865*** (0.00674)	0.02840*** (0.00556)	0.00759 (0.00482)
fdiin	-0.00452*** (0.00075)	0.00493*** (0.00116)	0.00372*** (0.00069)	0.00008 (0.00131)	0.00183* (0.00104)	-0.00264*** (0.00078)
Constant	-0.21752*** (0.04074)	-1.23571*** (0.05883)	1.05850*** (0.03844)	0.42700*** (0.05312)	0.41607*** (0.04456)	-0.17914*** (0.03938)
Observations	106,695	106,695	145,388	130,880	142,834	149,094

Note: *p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01

※モデル 3、4 については結果を掲載していない。WVS のデータの性質上、年度・国ごとの平均値を取るとサンプルサイズが非常に小さくなるため、有意な結果がほとんど得られない。

8. 参考文献

- American National Election Studies. (2022). *ANES Time Series Cumulative Data File*. Retrieved May 23, 2024, from <https://electionstudies.org/data-center/anes-time-series-cumulative-data-file/>
- Arzheimer, K. (2018). Explaining electoral support for the radical right. In Rydgren, J. (Eds.), *The Oxford Handbook of the Radical Right*, 143-165. New York, NY: Oxford University Press. doi:<https://doi.org/10.1093/oxfordhb/9780190274559.013.8>
- Barone, G., D'Ignazio, A., de Blasio, G. & Naticchioni, P. (2016). Mr. Rossi, Mr. Hu and politics. The role of immigration in shaping natives' voting behavior. *Journal of Public Economics*, 136(1), 1-13. doi:<https://doi.org/10.1016/j.jpubeco.2016.03.002>
- Bayerlein, M. & Metten, A. (2023). Existential anxieties and right-wing populism in Europe—why people unconcerned by globalisation vote against it. *Z Vgl Polit Wiss*, 17, 1–30. doi:<https://doi.org/10.1007/s12286-023-00569-5>
- Bhagwati, J. (1991). *Political Economy and International Economics*. Cambridge, MA: MIT Press.
- Borjas, G. J. and Hilton, L. (1996). Immigration and the Welfare State: Immigrant Participation in Means-Tested Entitlement Programs. *The Quarterly Journal of Economics*, 111, 576-604.
- Borjas, G. J. (2003). The Labor Demand Curve is Downward Sloping: Reexamining the Impact of Immigration on the Labor Market. *NBER Working Paper Series*. Cambridge, MA: National Bureau of Economic Research. Retrieved May 15, 2024, from https://www.nber.org/system/files/working_papers/w9755/w9755.pdf
- Borjas, G. J. (2006). Native Internal Migration and the Labor Market Impact of Immigration. *Journal of Human Resources*, 41, 221-258.
- Borrelli, S. A. & Miller, A. H. (1991). Confidence in Government During the 1980s. *American Politics Quarterly*, 19(2), 147-173. doi:<https://doi.org/10.1177/1532673X9101900201>
- Card, D. (2001). Immigrant Inflows, Native Outflows, and the Local Labor Market Impacts of Higher Immigration. *Journal of Labor Economics*, 19 (1), 22–64.
- Card, D. (2005). Is the New Immigration Really So Bad?. *The Economic Journal*, 115(507), 300–323.
- Chanley, V. A., Rudolph, T. J. & Rahn, W. M. (2000). The Origins and Consequences of Public Trust in Government: A Time Series Analysis. *Public Opinion Quarterly*, 64(3),

239–256. <https://doi.org/10.1086/317987>

- Citrin, J., & Green, D. P. (1986). Presidential Leadership and the Resurgence of Trust in Government. *British Journal of Political Science*, 16(4), 431–453. doi:10.1017/S0007123400004518
- Citrin, J. & Luks, S. (2001). Political Trust Revisited: Deja Vu All Over Again? In Hibbing, J. R. & Theiss-Morse, E. (Eds.), *What Is it about Government that Americans Dislike?* (pp. 9-27). Cambridge, UK: Cambridge University Press.
- Collins, W., O'Rourke, K., & Williamson, J. (1999). Were trade and factor mobility substitutes in history. In R. Faini, J. De Melo, & K. Zimmermann (Eds.), *Migration: the controversies and the evidence*, 227–260. Cambridge University Press. <https://doi.org/10.1017/CBO9780511628405.017>.
- Dancygier, R., Dehdari, S. H., Laitin, D. D., Marbach, M. & Vernby, K. (2024). Emigration and radical right populism. *American Journal of Political Science*, 1–16. <https://doi.org/10.1111/ajps.12852>
- Dorobantu, S. P. R. (2010). *Political Competition and the Regulation of Foreign Direct Investment*, Durham, NC: Duke University.
- Dustmann, C. & Preston, I. (2007). Racial and Economic Factors in Attitudes to Immigration. *Berkeley Electronic Journal in Economic Analysis and Policy*, 7(1), 1-41. doi: 10.2202/1935-1682.1655
- Dustmann, C., Kastis, Y. & Preston, I. (2023). Inequality and Immigration. *CESifo Working Paper*, 10486. <http://dx.doi.org/10.2139/ssrn.4472930>
- Facchini, G. & Mayda, A. M. (2006). Individual Attitudes towards Immigrants: Welfare-State Determinants Across Countries. *Working Papers*, Georgetown University, Department of Economics.
- Foster, C., & Frieden, J. (2017). Crisis of trust: Socio-economic determinants of Europeans' confidence in government. *European Union Politics*, 18(4), 511-535. <https://doi.org/10.1177/1465116517723499>
- Ghose, A. K. (2002). *Trade and international labour mobility*. Geneva, Switzerland: ILO.
- Gibson, C. and Jung, K. (2006). Nativity of the Population, for Regions, Divisions, and States: 1850 to 2000. In *Historical Census Statistics on the Foreign-Born Population of the United States: 1850 to 2000*. Retrieved May 28, 2024, from <https://www.census.gov/library/working-papers/2006/demo/POP-twps0081.html>
- Guiso, L., Herrera, H., Morelli, M. & Sonno, T. (2017). Demand and Supply of Populism. *EIEF Working Papers Series 1703*. Einaudi Institute for Economics and Finance.
- Guo, Y. (2023). Labour mobility and international trade. *Catallaxy*, 8(1), 7-20. <https://doi.org/10.24136/cxy.2023.001>.

- Haerpfer, C., Inglehart, R., Moreno, A., Welzel, C., Kizilova, K., Diez-Medrano J., M. Lagos, P. Norris, E. Ponarin & B. Puranen et al. (Eds.). (2022). World Values Survey Trend File (1981-2022) Cross-National Data-Set. Madrid, Spain & Vienna, Austria: JD Systems Institute & WVSA Secretariat. Data File Version 3.0.0, doi:10.14281/18241.23
- Hainmueller, J. & Hiscox, M. J. (2010). Attitudes toward Highly Skilled and Low Skilled Immigration: Evidence from a Survey Experiment. *American Political Science Review*, 104, 61-84.
- Halla, M., Wagner, A. F. & Zweimüller, J. (2017). Immigration and Voting for the Far Right. *Journal of the European Economic Association*, 15(6), 1341–1385. doi:<https://doi.org/10.1093/jeea/jvx003>
- Harmon, N. (2018). Immigration, Ethnic Diversity, and Political Outcomes: Evidence from Denmark. *Scandinavian Journal of Economics*, 120 (4), 1043- 1074.
- Hawkins, K. & Kaltwasser, C. (2017). The Ideational Approach to Populism. *Latin American Research Review*, 52(1). doi:10.25222/larr.85.
- Hetherington, M. J. (1998). The Political Relevance of Political Trust. *American Political Science Review*, 92(4), 791–808. doi:10.2307/2586304
- Helleiner, G. K. (1977). Transnational enterprises in the new political economy of US trade policy. *Oxford Economic Papers*, 29(1), 102–116. doi: <https://doi.org/10.1093/oxfordjournals.oep.a041355>
- Hiscox, M. J. (2001). Class versus Industry Cleavages: Inter-Industry Factor Mobility and the Politics of Trade. *International Organization*, 55(1), 1–46. <http://www.jstor.org/stable/3078596>
- Hiscox, M. J. (2004). International Capital Mobility And Trade Politics: Capital Flows, Political Coalitions, And Lobbying. *Economics and Politics*, 16(3), 253-285. doi: 10.1111/j.1468-0343.2004.00140.x
- Hlavac, M. (2022). stargazer: Well-Formatted Regression and Summary Statistics Tables. R package version 5.2.3. <https://CRAN.R-project.org/package=stargazer>
- Inglehart, R., & Norris, P. (2017). Trump and the Populist Authoritarian Parties: The Silent Revolution in Reverse. *Perspectives on Politics*, 15(2), 443–454. doi:10.1017/S1537592717000111
- Kaya, A. (2023). Influence of Populism on the European Migration Agenda. European Institute of the Mediterranean. Retrieved August 13, 2024, from <https://www.iemed.org/publication/influence-of-populism-on-the-european-migration-agenda/>
- Krugman, P. (1995). Increasing returns, imperfect competition and the positive theory of

- inter- national trade. In G.M. Grossman, & K. Rogof (Eds.), *Handbook of international economics*, 3, 1243–1277. Elsevier. [https://doi.org/10.1016/S1573-4404\(05\)80004-8](https://doi.org/10.1016/S1573-4404(05)80004-8).
- Li, X., & Zeng, K. (2017). Individual Preferences for FDI in Developing Countries: Experimental Evidence from China. *Journal of Experimental Political Science*, 4(3), 195–205. doi:10.1017/XPS.2017.15
- Linsi, L. (2016). *How the beast became a beauty: the social construction of the economic meaning of foreign direct investment inflows in advanced economies, 1960-2007*. PhD thesis, London School of Economics and Political Science.
- Margalit, Y. (2019). Economic Insecurity and the Causes of Populism, Reconsidered. *The Journal of Economic Perspectives*, 33(4), 152–170. <https://www.jstor.org/stable/26796840>
- Mayda, A. M. (2006). Who Is against Immigration? A Cross-Country Investigation of Individual Attitudes toward Immigrants. *The Review of Economics and Statistics*, 88(3), 510-530.
- McLaren, L. (2007). Explaining Mass-Level Euroscepticism: Identity, Interests, and Institutional Distrust. *Acta Politica*, 42(1), 233-251.
- Milner, H. V. (1988). *Resisting Protectionism: Global Industries and the Politics of International Trade*. Princeton, NJ: Princeton University Press.
- Milner, H. V. & Tingley, D. H. (2011). *The Economic and Political Influences on Different Dimensions of United States Immigration Policy*. <http://dx.doi.org/10.2139/ssrn.2182086>
- Mundell, R. A. (1957). International trade and factor mobility. *American Economic Review*, 47(3), 321-335.
- Norris, P. (2020). Measuring populism worldwide. *Party Politics*, 26(6), 697-717. <https://doi.org/10.1177/1354068820927686>
- Otto, A. H. & Steinhardt, M. F. (2014). Immigration and election outcomes — Evidence from city districts in Hamburg. *Regional Science and Urban Economics*, 45(1), 67-79. doi:<https://doi.org/10.1016/j.regsciurbeco.2014.01.004>.
- Owen, E. (2013). Unionization and Restrictions on Foreign Direct Investment. *International Interactions*, 39(5), 723–747. <https://doi.org/10.1080/03050629.2013.834258>
- Owen, E. (2015). The Political Power of Organized Labor and the Politics of Foreign Direct Investment in Developed Democracies. *Comparative Political Studies*, 48(13), 1746-1780. <https://doi.org/10.1177/0010414015592641>
- Pandya, S. S. (2007). *Trading Spaces: The Political Economy of Foreign Direct Investment Regulation*. Cambridge, MA: Harvard University.

- Pandya, S. S. (2010). Labor Markets and the Demand for Foreign Direct Investment. *International Organization*, 64(3), 389-409. doi: <https://doi.org/10.1017/S0020818310000160>
- Pew Research Center. (2022). Americans' Views of Government: Decades of Distrust, Enduring Support for Its Role. Retrieved August 13, 2024, from <https://www.pewresearch.org/politics/2022/06/06/americans-views-of-government-decades-of-distrust-enduring-support-for-its-role/>
- Ro, H. Y. (2022). *FDI Entry modes and the demand for regulations on inward FDI*. Technical report, Santa Clara University.
- Rommel, T. (2023). Foreign Direct Investment and Political Preferences in Non-Democratic Regimes. *Comparative Political Studies*, 57(8), 1276-1309. <https://doi.org/10.1177/00104140231194058>
- Scheve, K. F. & Slaughter, M. J. (2001). Labor Market Competition and Individual Preferences Over Immigration Policy. *The Review of Economics and Statistics* 83(1), 133-145. doi: <https://doi.org/10.1162/003465301750160108>
- Schuknecht, L. (1999). A Trade Policy Perspective on Capital Control. *Finance & Development*, 36(1), IMF.
- Svensson, L.E.O. (1984). Factor trade and goods trade. *Journal of International Economics*, 16(3), 365–378. [https://doi.org/10.1016/S0022-1996\(84\)80013-6](https://doi.org/10.1016/S0022-1996(84)80013-6).
- United Nations Conference on Trade and Development. (2024). Foreign direct investment: Inward and outward flows and stock, annual. Retrieved May 30, 2024, from <https://unctadstat.unctad.org/datacentre/dataviewer/US.FdiFlowsStock>
- United Nations, Department of Economic and Social Affairs, Population Division. (2020). International Migrant Stock 2020. Retrieved August 22, 2024, from <https://www.un.org/development/desa/pd/content/international-migrant-stock>
- United Nations, Department of Economic and Social Affairs, Population Division. (2024). World Population Prospects 2024, Online Edition. Retrieved August 22, 2024, from <https://population.un.org/wpp/>
- United States Census Bureau. (2010). Selected Characteristics of the Native and Foreign-born Populations. In *American Community Survey, ACS 5-Year Estimates Subject Tables*, Table S0501. Retrieved May 30, 2024, [https://data.census.gov/table/ACSST5Y2010.S0501?q=S0501: Selected Characteristics of the Native and Foreign-Born Populations&g=010XX00US\\$0400000](https://data.census.gov/table/ACSST5Y2010.S0501?q=S0501:Selected%20Characteristics%20of%20the%20Native%20and%20Foreign-Born%20Populations&g=010XX00US$0400000)
- United States Census Bureau. (2012). Selected Characteristics of the Native and Foreign-

born Populations. In *American Community Survey*, ACS 5-Year Estimates Subject Tables, Table S0501. Retrieved May 30, 2024, [https://data.census.gov/table/ACSST5Y2012.S0501?q=S0501: Selected Characteristics of the Native and Foreign-Born Populations&g=010XX00US\\$0400000](https://data.census.gov/table/ACSST5Y2012.S0501?q=S0501:Selected%20Characteristics%20of%20the%20Native%20and%20Foreign-Born%20Populations&g=010XX00US$0400000)

United States Census Bureau. (2016). Selected Characteristics of the Native and Foreign-born Populations. In *American Community Survey*, ACS 5-Year Estimates Subject Tables, Table S0501. Retrieved May 30, 2024, [https://data.census.gov/table/ACSST5Y2016.S0501?q=S0501: Selected Characteristics of the Native and Foreign-Born Populations&g=010XX00US\\$0400000](https://data.census.gov/table/ACSST5Y2016.S0501?q=S0501:Selected%20Characteristics%20of%20the%20Native%20and%20Foreign-Born%20Populations&g=010XX00US$0400000)

United States Census Bureau. (2020). Selected Characteristics of the Native and Foreign-born Populations. In *American Community Survey*, ACS 5-Year Estimates Subject Tables, Table S0501. Retrieved May 30, 2024, [https://data.census.gov/table/ACSST5Y2020.S0501?q=S0501: Selected Characteristics of the Native and Foreign-Born Populations&g=010XX00US\\$0400000](https://data.census.gov/table/ACSST5Y2020.S0501?q=S0501:Selected%20Characteristics%20of%20the%20Native%20and%20Foreign-Born%20Populations&g=010XX00US$0400000)